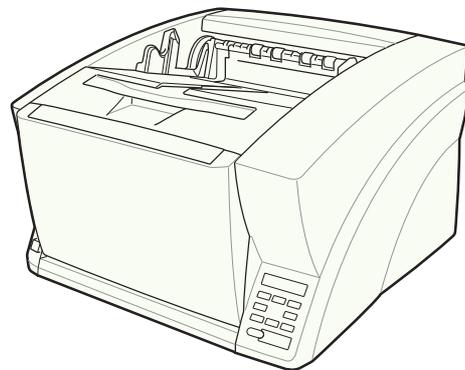


Canon

 **imageFORMULA**

DR-X10C

ユーザーマニュアル（機能詳細編）



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■ JIS C 61000-3-2 準用品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 を準用しています。

■ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

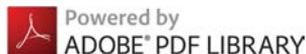
■ 複製についてのご注意

以下のもの（全てを網羅している訳ではありません。）を本物と偽って使用する目的で複製（スキャン）すること、あるいは、複製（スキャン）によりその本物と紛らわしいものを作成すると、法律により罰せられることがあります。

- 紙幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便切手、印紙、その他の金券
- 株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券
- 公務員または役所が作成したパスポート、免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 権利、義務もしくは事実証明に関する私人が作成する文書、図画
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

■ 商標および登録商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint および SharePoint は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ISIS は、Open Text の米国における商標です。
- Adobe、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ、および Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。



- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中には™、® マークは明記していません。

■ 免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

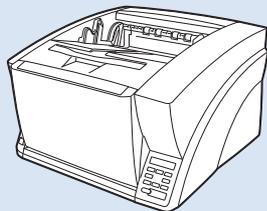
なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

セットアップガイド

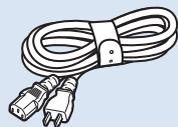
はじめにお読みください

STEP 1 付属品を確認する

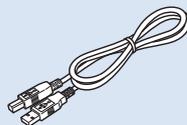
不足品や損傷品がある場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



DR-X10C



電源コード
(コード長：1.5m)



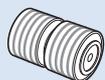
USB ケーブル
(コード長：2m)



アースコード



ピックアップローラ



フィードローラ



セットアップガイド



DR-X10C
セットアップディスク



ローラー
クリーニングシート
(4シート)



クリーニングクロス
(1枚)

- クリーニングクロスはスキャナーの内部を清掃するためのクロスです。
- ローラークリーニングシートは搬送ローラーの汚れを取り除くための剥離紙付の粘着性シートで、スキャナーのクリーニングモードを実行する際に使用します。(剥離紙は使用するときまで剥がさないでください)
- 付属品は予告なく変更されることがあります。
- 梱包箱および梱包材は本機の保管や輸送の際に必要となりますので、捨てないで保管してください。

セットアップディスクの内容

同梱されているセットアップディスクから、スキャナーを使用するために必要となる次のソフトウェアをインストールします。

- **CaptureOnTouch**
DR シリーズスキャナー用スキャニングアプリケーションです。
- **CapturePerfect 3.1**
DR シリーズスキャナー用スキャニングアプリケーションです。
- **スキャナードライバー**
本製品のスキャナードライバーです。

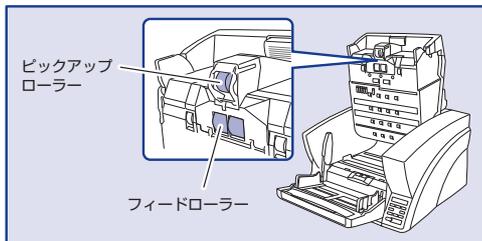
STEP 2

ローラーの取り付け

付属のピックアップローラーとフィードローラーを本体に取り付けます。

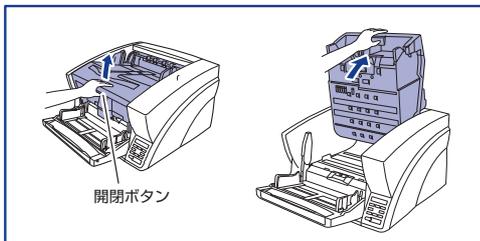
❗ 重要

- ピックアップローラーとフィードローラーは、上部ユニットを開き、以下の場所に取り付けます。

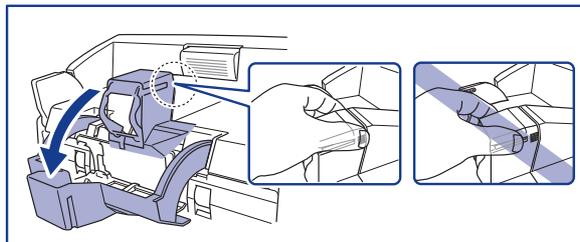


- ピックアップローラーとフィードローラーの取り付けを忘れると、原稿が搬送されないので注意してください。

- 1 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。

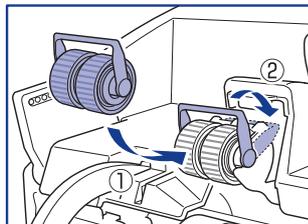


- 2 ローラーカバーを下図のように持ち、手前に倒します。

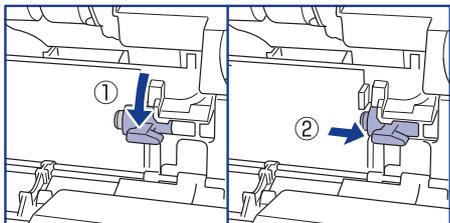


ローラーカバーを開閉する際にガラスの部分を持たないように注意してください。

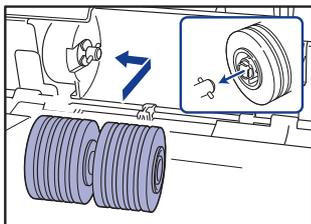
- 3 ピックアップローラーをセットし①、固定レバーを奥に倒してピックアップローラーを固定します②。



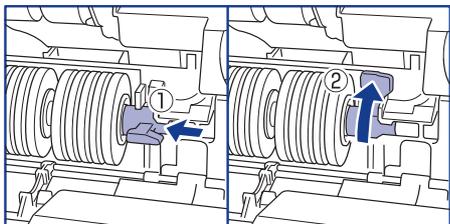
- 4** フィードローラーの固定レバーを ① → ② の順に動かします。



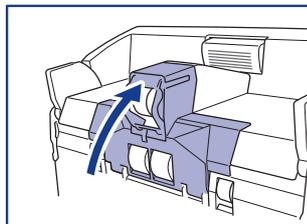
- 5** ローラーの軸の切り欠き部を本体の軸に合わせて、フィードローラーをセットします。



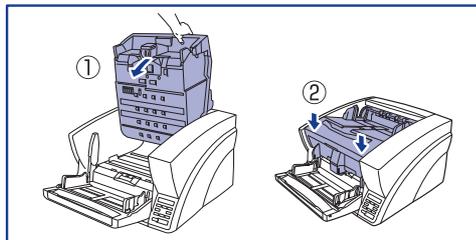
- 6** ローラー固定レバーを ① → ② の順に動かして、フィードローラーを固定します。



- 7** ローラーカバーを閉めます。カチッと音がしてカバーが元の位置に戻ったことを確認します。



- 8** 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください (②)。



STEP 3

ソフトウェアをインストールする

本書に記載されている仕様を満たし、DR-X10C を快適にお使いいただくためには次のシステム要件を推奨します。

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 7 Service Pack 1 以上 (32ビット版/64ビット版)
- Microsoft Windows 8.1 (32ビット版/64ビット版)
- Microsoft Windows 10 (32ビット版/64ビット版)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Service Pack 1 以上
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019

2019年3月現在の環境です。

最新のソフトウェアサポート状況はキャノンホームページの製品ページをご参照ください。

パーソナルコンピューター

- CPU : Pentium4 3.2GHz 以上
- メモリ : 1GB 以上
- ハードディスク : 1GB 以上の空き容量
- CD-ROM ドライブ
- インタフェース : コンピューターに標準搭載された USB ポート (Hi-Speed USB 2.0) または、拡張 SCSI カード
- モニタ : 解像度 1024×768(XGA) 以上

拡張 SCSI カードは、本機が推奨する以下の SCSI カードをお使いください。

Adaptec 社製 SCSI カード (PCI バス用)

- AHA-2930U
- AHA-2940AU
- ASC-19160
- ASC-29160N

Adaptec 社製 SCSI カード (Card bus 用)

- APA-1480

上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア。

重要

- お使いのコンピューターのシステム要件が不明な場合には、コンピューターをお買い求めになった販売店または、コンピューターメーカーのサポート窓口にお問い合わせください。
- USB ケーブルと SCSI ケーブルは同時に接続しないでください。
- コンピューターに標準搭載の USB ポートに接続して使用する場合、以下の点に注意してください。
 - USB インタフェースは Hi-Speed USB 2.0 インタフェースを使用してください。
 - コンピューターに標準装備された USB ポートが USB Full-Speed (USB 1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。この場合、SCSI カードでのご使用をお勧めします。
 - USB 2.0 ドライバーはマイクロソフト社から提供されている最新のドライバーをお使いください。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
 - コンピューターに標準装備されたすべての USB インタフェースにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
 - USB ケーブルは、同梱品または Hi-Speed USB 2.0 対応のケーブルをお使いください。

- SCSI カードで使用する場合、以下の点に注意してください。
 - SCSI カードのコンピューターへの取り付けは、必ずお使いの SCSI カードおよびコンピューターの取扱説明書に記載されている手順にしたがって行ってください。
 - 使用できる SCSI ケーブルの総延長は、SCSI の規格によって決められています。詳細は、お使いの SCSI カードの取扱説明書を参照してください。
- CPU、メモリ、インタフェースカード等、コンピューターの推奨仕様を満たさない場合、スキャン速度が大幅に低下したり転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピューターの推奨仕様を満たしている場合でも、読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されている ISIS/TWAIN ドライバーは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。

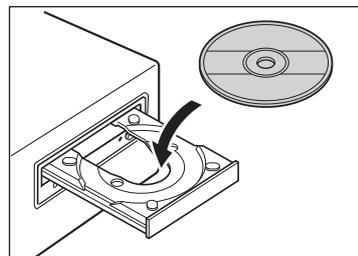
インストール方法

！ 重要

- USB ケーブルで接続する場合、ソフトウェアのインストールは、本機とコンピューターを接続する前に行ってください。
- Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。
- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

1 セットアップディスクをコンピューターのディスクドライブにセットします。

自動的にセットアップメニューが起動します（起動しないときは、ディスク内の setup.exe を実行してください）。



次の画面が表示されたら [はい] または [許可] をクリックしてください。



2 [おまかせインストール] をクリックします。



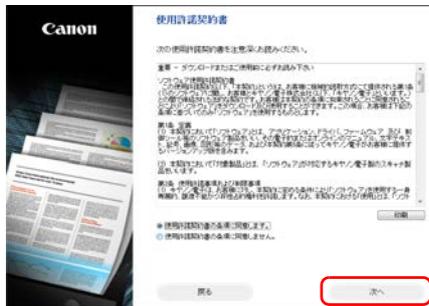
ヒント

アンインストールしたソフトウェアを再インストールするときは、「選んでインストール」をクリックし、アンインストールしたソフトウェアを指定してください。

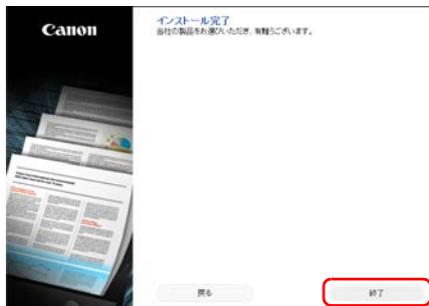
3 [インストール] をクリックします。



4 画面の指示に従ってインストールを完了させます。



5 [終了] をクリックしてソフトウェアのインストールを終了します。



※ 最新版ソフトウェアはウェブサイトよりダウンロードください。

ヒント

システム環境によっては、インストール中に Web ブラウザーがフルスクリーンで起動することがあります。その場合は、ブラウザー上での処理を終了後、デスクトップに戻ってインストール処理を継続してください。

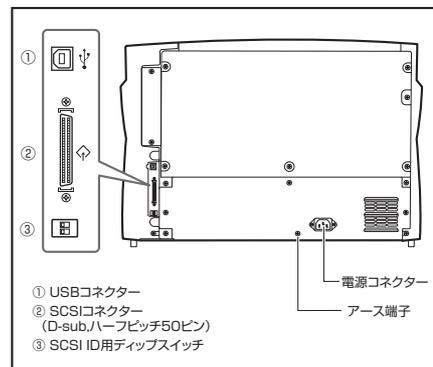
STEP 4

コンピューターとの接続

本機とコンピューターを接続する方法としてコンピューターに標準装備されている USB ポートを使用する「USB 接続」と、コンピューターの拡張スロットに SCSI カードを装着して使用する「SCSI 接続」の 2 つの接続方法があります。お使いのコンピューターの環境にあわせて接続方法を選択してください。

インターフェースコネクターの位置

USB コネクターおよび SCSI コネクターは背面の以下の場所に配置されています。



重要

- USB ケーブルと、SCSI ケーブルは同時に接続しないでください。
- 電源コード、アースコードは必ず付属品をお使いください。
- コンピューターとの接続はスキャナーとコンピューターの電源がオフの状態で行ってください。
- SCSI ケーブルで接続する場合は、コンピューターの電源をオフにしてから行ってください。コンピューターの電源をオンにしたまま本機を接続すると、本機の認識が正常に行われません。

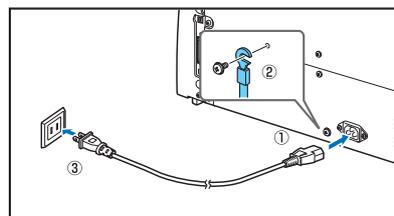
- SCSI ケーブルは付属されていません。本機と SCSI カードのコネクター形状に適合した SCSI ケーブルを用意してください。
- アースコードを接続する際は、絶対にガス管や水道管には接続しないでください。スキャナー使用時に引火や爆発および感電の恐れがあります。

コンピューターとの接続

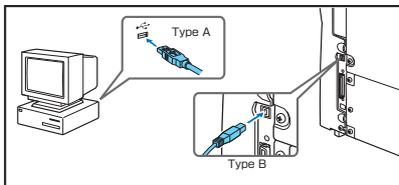
接続方法に合わせた手順でコンピューターと接続します。

USB 接続で使用する場合

- 1 付属の電源コードを本体背面の電源コネクターに差し込みます。(①)
- 2 本体背面のアース端子のビスをゆるめ、付属のアースコードを接続します。(②)
- 3 電源プラグをコンセントに差し込みます。(③)



- 4** 付属の USB ケーブルでコンピューターと接続します。
USB ケーブルは、四角いプラグ (Type B) をスキャナー側に差し込みます。

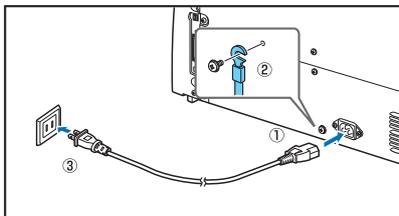


SCSI 接続で使用する場合

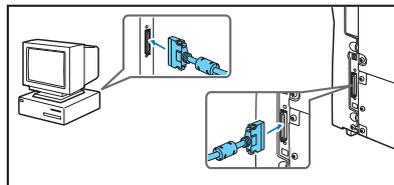
❗ 重要

SCSI ケーブルで接続するときは、必ずコンピューターの電源をオフにしてください。コンピューターの電源をオンにした状態でスキャナーを接続すると、コンピューターがスキャナーを正常に認識できない場合があります。

- 1** Windows をシャットダウンしてコンピューターの電源をオフにします。
- 2** 付属の電源コードを本体背面の電源コネクタに差し込みます。(①)
- 3** 本体背面のアース端子のビスをゆるめ、付属のアースコードを接続します。(②)
- 4** 電源プラグをコンセントに差し込みます。(③)



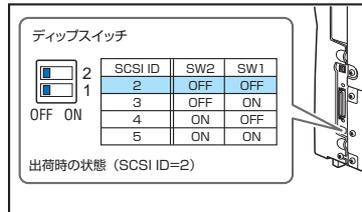
- 5** 用意した SCSI ケーブルでコンピューターと接続します。



❗ 重要

本機を他の SCSI 機器とディジーチェーン接続で使用する場合、以下の点に注意してください。

- SCSI ID は、工場出荷時に「SCSI ID=2」に設定されています。他の SCSI 機器とディジーチェーン接続で使用する場合には、他の SCSI 機器と SCSI ID が重複しないようにディップスイッチを設定してください。



- 本機はターミネータを内蔵し、[ON] に固定されています。他の SCSI 機器とディジーチェーン接続で使用する場合には、必ず本機が終端になるように接続し、他の SCSI 機器のターミネータは全て [OFF] にしてください。

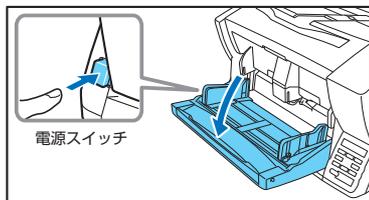
STEP 5

電源を入れる

本機の電源は、正面の電源スイッチで操作します。

1 本機とコンピューターの接続を確認します。

2 電源スイッチを押します。

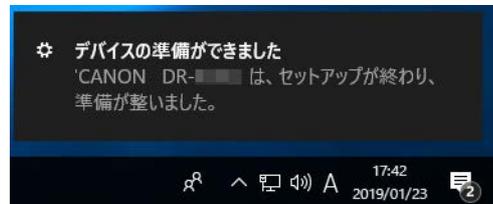
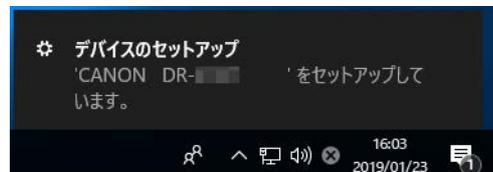


重要

- SCSI ケーブルで接続している場合は、必ずスキャナー→コンピューターの順に電源をオンにしてください。コンピューターの電源を先にオンにするとスキャナーを正常に認識できない場合があります。
- 電源をオフにするときは、電源スイッチを再度押してオフにします。
- USB 連動スイッチがオンになっている場合、コンピューターの電源のオン/オフに連動して本機の電源がオン/オフします。(→ P.28)
- 電源をオフし、再度電源をオンするときは10秒以上待ってから電源をオンにしてください。
- 長時間ご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ヒント

- 国または地域によっては、工場出荷時に自動電源オフ機能が有効に設定されています。この機能を有効にすると、スキャンなどの操作をしないまま4時間経過すると自動的に電源がオフになります。「ユーザーモード」(→ P.67)
- USB ケーブルで接続した場合は、初めて本機の電源を入れたときにタスクバーに次のようにバレーンが表示されます。しばらく待つと自動的にスキャナーの認識が終了し、本機が使用できるようになります。



- スキャナーがコンピューターに正常に接続されているときは、タスクバーの (CaptureOnTouch) アイコンが次のように表示されます。



タスクバーのアイコンの表示が  になっているときは、スキャナーが正常にコンピュータに接続されていません。スキャナーの電源スイッチと USB ケーブルの状態を確認してください。

電源を切るには

電源スイッチを再度押してオフにします。

重要

- 本機の電源を入れ直すときは、電源を切った後で10秒以上待ってから電源を入れてください。
- 長時間ご使用にならないときは安全のため、必ず電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。

ヒント

出荷時は、スキャンなどの操作をしないまま4時間経過すると自動的に電源が切れる設定がオンになっています。

この設定を無効にするには、「[自動電源オフ機能について](#)」(→ P.29) の手順をご覧ください。

これでセットアップが完了しました。

はじめに

このたびは、キヤノン imageFORMULA DR-X10C をお買い求めいただき、ありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

マニュアルの構成

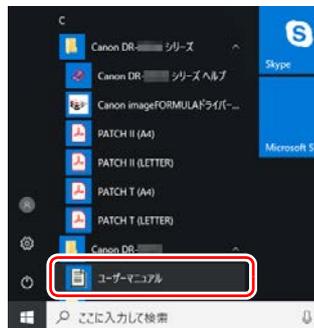
本製品には、下記のマニュアルが用意されています。

- **セットアップガイド**
本機のセットアップ方法を説明したマニュアルです。本機を使い始めるときにお読みください。
- **ユーザーマニュアル（機能詳細編）（本書）**
本機の操作方法が記載されたマニュアルです。
- **CapturePerfect 3.1 操作ガイド（電子マニュアル）**

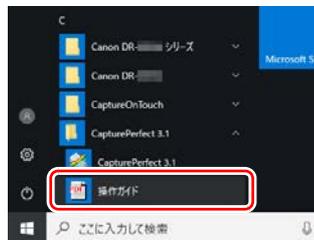
ヒント

- 本製品のマニュアル（機能詳細編）は、PDF 形式の電子マニュアルとしてセットアップディスクに収録されています。
- ユーザーマニュアル（電子マニュアル）が、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されます。

ユーザーマニュアル機能詳細編



CapturePerfect 3.1 操作ガイド



💡 ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P. xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。

⚠️ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠️ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

❗ 重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

💡 ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

目次

セットアップガイド	3	給紙方法の選択	39
インターフェースコネクタの位置	10	スキャン	42
コンピューターとの接続	10	ジョブ機能について	42
電源を切るには	13	CapturePerfect 3.1 について	43
はじめに	14	CaptureOnTouch について	49
マニュアル内の表記について	15	バッチ区切り	50
お使いになる前に	18	白紙を用いたバッチ区切り	50
安全にお使いいただくために	18	バッチコードシートを用いたバッチ区切り（オプション）	50
設置場所について	18	バッチコードシートの使い方	52
電源について	18	スキャンが途中で停止したときの処理	54
スキャナーの移動	19	エラーメッセージの確認	54
日常の取り扱いについて	19	紙詰まり・斜行・ステープル検知の処理	54
廃棄について	20	重送を検知したときの処理	56
特長	21	Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールについて	58
各部の名称と機能	25	Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールとは	58
前面、給排紙部	25	Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの起動	58
背面	26	その他の機能	59
操作パネル	27	その他の機能および設定	59
基本的な使用方法	28	機能説明	61
電源のオン / オフについて	28	ユーザーモード	67
電源スイッチについて	28	ユーザーモードの操作手順	67
自動電源オフ機能について	29	ユーザーモードの機能	69
原稿について	30	メンテナンス	74
搬送できる原稿のサイズ	30	日常のお手入れ	74
給紙トレイ、排紙トレイの準備	33	本体の清掃	74
給紙トレイの準備	33	ガラスとローラーの清掃	75
原稿ガイドの調整	35	上部ユニットの開閉	76
排紙トレイの準備	38	クリーニングシートによるローラーの清掃	77
給紙方法について	39	ガラスの清掃	79

ブラテンローラーの清掃	80
ピックアップローラーとフィードローラーの清掃	81
リタードローラーの清掃	85
給紙ローラーの交換	88
ローラーの交換時期	88
カウンター（搬送枚数）の確認とリセット	89
インクカートリッジの交換と清掃 （インプリンターをお使いの場合）	90
インプリンターについて	90
インクカートリッジの交換	91
インプリンターの清掃	96
インプリンターテスト	97
こんなときは	99
メッセージ	99
ステータス表示	99
エラーメッセージ	100
困ったときは	103
トラブルの種類	103
現象と対処方法	103
ソフトウェアのアンインストール	107
ISIS/TWAIN ドライバーのアンインストール	107
付録	109
仕 様	109
本体仕様	109
別売品	110
消耗品	110
外形寸法図	111
オプション仕様	112
インプリンター仕様	112
薄紙対応キット（DR-X10C 用）仕様	112
保証とアフターサービス	113
保証とアフターサービス	113

サービス&サポートのご案内	114
保守サービスのご案内	114
ISIS/TWAIN ドライバーの設定	116
スキャナードライバーの設定	116
スキャナードライバーの構成と機能	116
基本的なスキャン条件の設定	119
こんなときは	122
用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り	122
スキャン領域の指定	124
目的に合わせたスキャナー設定	125
設定の登録	133
カラーモードの設定による機能制限	134
索引	137

お使いになる前に

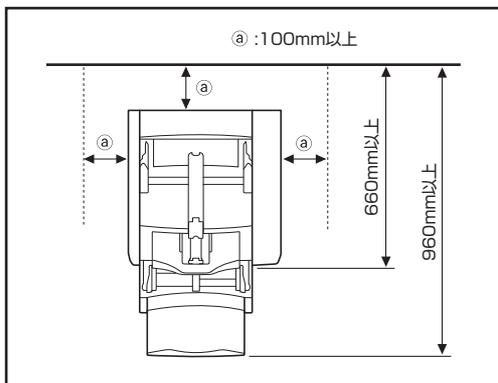
安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 直射日光の当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。

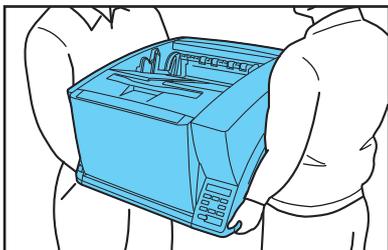
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。
室温 10℃—32.5℃
湿度 20%—80%RH
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

電源について

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- 電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。
- 安全のため、必ずアース線を接続してください。アース線は絶対にガス管や水道管には接続しないでください。アース線の接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

スキャナーの移動

- 本製品は、質量が約 39kg あります。本製品を持ち上げたり移動させるときは、必ず両側から 2 人で持ち、絶対に 1 人で持ち上げたりしないでください。落としたり手をはさんだりして大ケガをすることがあります。また、移動の際は十分注意して移動させてください。



- スキャナーを移動する場合は、インターフェイスケーブルや電源コードを必ず外してください。ケーブル類を接続したまま持ち運ぶと、無理な力がかかってプラグやコネクタが損傷したり、本体を落としてけがをする原因になります。

日常の取り扱いについて



警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- リール式の延長コードを使用するときは全てのコードを引き出して使用してください。コードをリールに巻き込んだ状態で長時間使用した場合、発熱や火災の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。
- 本機の分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 清掃する箇所によっては電源をオンにした状態で行うことがあります。感電に十分注意して清掃をおこなってください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 通気孔をふさがないようにください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステーブルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源コードが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源コードが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などにご注意ください。万一巻き込まれた場合は、直ちに電源スイッチを切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄について

本機および付属品を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するかお買い求めの販売店にご相談ください。

特長

本機の主な特長は以下のとおりです。

スキャナー本体の特長

- **高速原稿給紙**
白黒、グレースケール、カラー全ての読み取りモードで A4 サイズの原稿を最大 100 枚 / 分で読み取ります。
* 読取条件：A4 縦 / 両面 / 200dpi
- **多様な読み取りモード**
読み取りモードとして、「白黒」、「誤差拡散」、「アドバンステキストエンハンスメント」、「アドバンステキストエンハンスメント II」、「256 階調グレー」、「24 ビットカラー」の 6 種類の読み取りモードが用意されています。
* アドバンステキストエンハンスメントは、原稿の背景や地色を処理して文字を読みやすくするモードです。
- **500 枚給紙**
給紙トレイには普通紙で最大 500 枚の原稿をセットすることができます。
- **USB 連動スイッチ**
ユーザーモードの設定により、コンピューターの電源のオン / オフに連動して、スキャナーの電源をオン / オフすることができます。[「電源スイッチについて」](#) (→ P.28)
- **カウントオンリーモード**
スキャナー単体で動作し、セットした原稿の枚数をカウントします。[「カウントオンリーモード」](#) (→ P.61)
- **給紙トレイ位置の変更**
給紙トレイのホームポジションの高さを原稿の枚数に合わせて変更することができます。[「給紙トレイの準備」](#) (→ P.33)
- **長尺モード**
ユーザーモードの設定により、最大 3,000mm までの長さの原稿を自動サイズ検知でスキャンすることができます。[「長尺モードの設定」](#) (→ P.31)
- **ジョブ機能**
スキャン条件、画像ファイルの保存先をジョブに登録し、操作パネルのキー操作のみでスキャンを実行することができます。
[「ジョブ機能について」](#) (→ P.42)
- **背景色指定**
原稿の背景色を白と黒から選択できます。
[「背景色設定」](#) (→ P.64)
- **フレキシブル原稿ガイド**
左右の原稿ガイドを任意の位置にそれぞれ設定することにより、原稿を左右に寄せてスキャンすることができます。
[「原稿ガイドの調整」](#) (→ P.35)
- **ユーザーモード**
ユーザーモードの各機能により、スキャナーの機能を任意に変更することができます。[「ユーザーモード」](#) (→ P.67)

検知機能

- **カラー白黒検知**
スキャンした原稿が白黒原稿か、カラー原稿かを自動検知します。
- **自動原稿サイズ検知**
スキャンした原稿のサイズを検知してスキャンします。

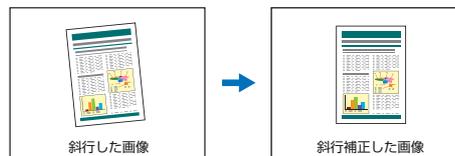


- **斜行検知機能**
原稿が斜めに搬送され、原稿が搬送路の端に接触したことを検知して搬送を停止します。「[斜行検知機能](#)」(→ P.63)
- **ステーブル検知**
ステーブルで綴じられた原稿を検知して搬送を停止します。
「[ステーブル検知機能](#)」(→ P.63)
- **超音波重送検知機能**
超音波センサーによって原稿の重なりを検知して搬送を停止します。「[重送検知機能](#)」(→ P.62)
* 原稿に貼られたラベルなどを重送として検知させないようにするための非検知領域を設定できます。
- **長さによる重送検知機能**
原稿の長さの比較によって原稿の重なりを検知し、搬送を停止します。「[重送検知機能](#)」(→ P.62)
* 1枚目の原稿の長さを基準とし、長さの異なる原稿が搬送されたときに重送を検知します。

- **プレスキャン**
スキャンを開始したときに原稿を1枚スキャンして中断し、1枚目の画像で明るさとコントラストを調整してからスキャンを行います。
- **ペリフェイスキャン**
カウントオンリーモードでカウントした枚数または、あらかじめ設定した枚数と、スキャンした枚数を照合しながらスキャンします。「[ペリフェイスキャン](#)」(→ P.61)
- **文字向き検知**
原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を90度単位で回転します。

画像処理

- **裏写り / 地色除去**
薄い原稿をスキャンした時に起きる原稿の裏写りや原稿の地色を除去します。
- **画像回転**
スキャンした画像を90度単位で回転または、原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を90度単位で回転します。
- **斜行補正**
スキャンした画像から原稿が斜めに搬送されたと判断したときに、画像をまっすぐに補正します。



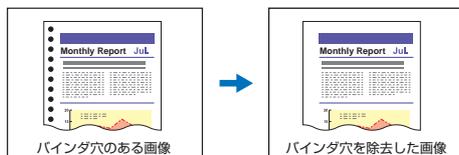
- **ドロップアウト / 色強調機能**

スキャン時に赤、青、緑色から 1 色を指定または中間色を色の範囲で指定して読み取らないようにするドロップアウト機能または、指定した色を強調する機能を備えています。



- **バインダ穴除去**

背景色を黒にしたときにバインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分を除去します。



- **白紙スキップ**

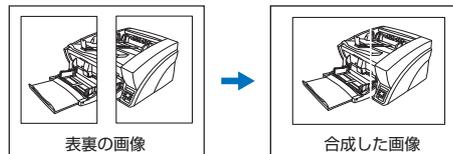
原稿の両面をスキャンして、白紙として判断した面の画像の保存をスキップします。



- **半折りスキャン**

給紙口にセットできない原稿を半折りにして両面をスキャンし、スキャンした表裏の画像を 1 枚の画像に合成します。

「半折りスキャン」(→ P.65)



- **マルチストリーム機能**

用途に合わせて読み取り条件の異なる 2 つの画像を 1 回のスキャンで同時に出力することのできるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能は本機に付属している「CapturePerfect 3.1」または、お使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合のみ使用できます。



- **背景スムージング**

スキャンした画像の背景部分が滑らかに処理されます。[基本] タブの [カラーモード] で [自動で検知する] または [256 階調グレー]、[24 ビットカラー] を選択している場合に使用できます。

- **文字・線を太くする**

スキャンした画像の文字や絵が判別しにくい場合に、文字や絵の太さを補正してスキャンする機能を備えています。

その他

● 継続モード

紙詰まりや重送など、原稿が正常に搬送されなかったことをセンサーが検知して搬送を停止したときに、スキャンを中断状態にするモードで、原稿を処理した後、異常を検知した原稿からスキャンを継続します。[「スキャンが途中で停止したときの処理」](#) (→ P.54)

* 継続モードは、「紙詰まり」、「重送」、「斜行」、「ステーブル」を検知して搬送が停止したときに有効です。

● ゴミ対策

読み取りガラスに紙粉などが付着したことによる画像への影響に対して以下の機能が設けられています。

ブロー：本体内部に設けられた専用のファンからの送風により、読み取りガラスへの紙粉の付着を防止します。

ゴミワイパー：読み取りガラスの対面に位置するローラーに設けられたブラシをスキャン前に回転させることにより、読み取りガラス上の紙粉を除去します。

ゴミ回避処理：読み取りガラスに付着したゴミをセンサーで検知したときにセンサーの位置をずらして画像への写り込みを防ぎます。[「ユーザーモード」](#) (→ P.67)

オプション

● インプリンター

オプションとして、スキャン前の原稿に印字する「ブレインプリンター」、スキャンした原稿に印字する「ポストインプリンター」が用意されています。
* 「ブレインプリンター」と「ポストインプリンター」は併用して使用できません。

● バーコード検知

オプションのバーコードモジュールをインストールすることにより、原稿内のバーコードを検知することができます。

● パッチコード対応

オプションのパッチコードデコーダを装着することにより、原稿内に挿入されたパッチコードシートを検知してパッチ区切りを行うことができます。[「パッチ区切り」](#) (→ P.50)

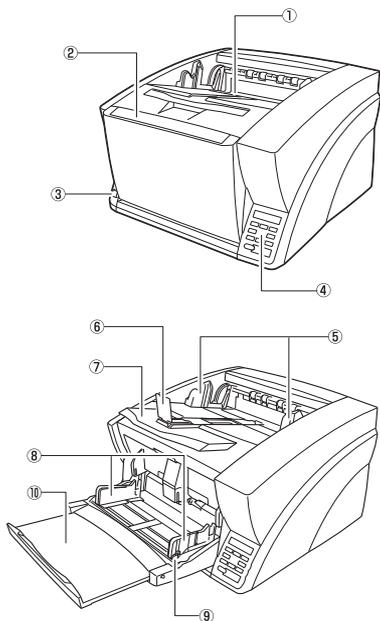
● 薄紙対応キット (DR-X10C 用)

オプションの薄紙対応キット (DR-X10C 用) をインストールすることにより、通常より薄い紙の原稿をスキャンすることができます。[「薄紙対応キット \(DR-X10C 用\) 仕様」](#) (→ P.112)

各部の名称と機能

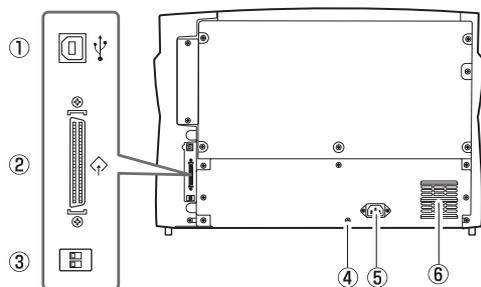
各部の名称と機能は以下のとおりです。

前面、給排紙部



- ① 排紙トレイ
スキャンした原稿が排出されます。(→ P.38)
- ② 給紙トレイ
スキャンする原稿をセットします。(→ P.33)
- ③ 電源スイッチ
スキャナーの電源をオン/オフします。(→ P.28)
- ④ 操作パネル (→ P.27)
- ⑤ 排紙原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調整することで、排出される原稿をそろえます。
(→ P.38)
- ⑥ 排紙ストッパー
原稿の長さに合わせて調整することで、原稿の飛び出しを防ぎます。
(→ P.38)
- ⑦ 排紙補助トレイ
原稿の長さに合わせて引き出します。(→ P.38)
- ⑧ 給紙原稿ガイド
原稿の幅に合わせて調整します。(→ P.35)
- ⑨ 原稿ガイドロックレバー
原稿ガイドをロックします。(→ P.35)
- ⑩ 給紙補助トレイ
原稿の長さに合わせて引き出します。(→ P.35)

背面

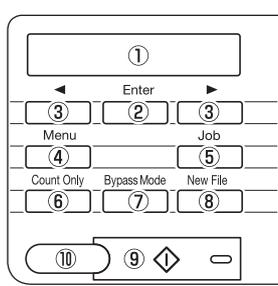


- ① **USB コネクター (Type B)**
付属の USB ケーブルを接続します。(→P.10)
- ② **SCSI コネクター (D-sub ハーフピッチ 50 ピン)**
SCSI コネクターを接続します。(→P.11)
- ③ **ディップスイッチ (SCSI ID)**
SCSI ID を設定します。(→P.11)
- ④ **アース端子**
付属のアースを接続します。(→P.10)
- ⑤ **電源コネクター**
付属の電源コードを接続します。(→P.10)
- ⑥ **通気孔 (排気ファン)**
本機内部の熱を排熱します。

注意

通気孔はふさがらないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

操作パネル



- ① **表示パネル**
ユーザーモードやジョブ、メッセージなどを表示します。
- ② **Enter キー**
ユーザーモードを選択、確定します。
- ③ **◀▶ キー**
ユーザーモードやジョブなどの機能を選択します。
- ④ **Menu キー**
ユーザーモードを表示します。(→ P.67)
- ⑤ **Job キー**
ジョブ機能でスキャンします。(→ P.42)
- ⑥ **Count Only キー**
カウントオンリーモードになり、原稿の枚数をカウントします。(→ P.61)
- ⑦ **Bypass Mode キー**
原稿台が上昇して手差し給紙になります。(→ P.39)
- ⑧ **New file キー**
キー操作によるバッチ区切りを選択した時にバッチを区切ります。
- ⑨ **スタートキー**
スキャンを開始します。
- ⑩ **ストップキー**
スキャンを終了または、パネルの表示をクリアします。

基本的な使用方法

電源のオン / オフについて

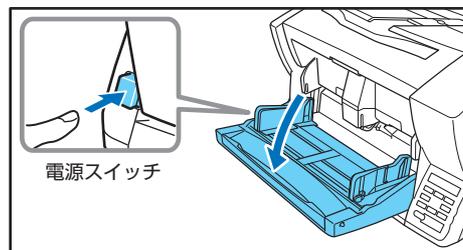
本機の電源のオン / オフについて説明します。

⚠ 注意

- 本機の電源をオフにしたときは、約10秒待ってから電源をオンにしてください。
- SCSI ケーブルで接続しているときは、必ず本機→コンピューターの順番で電源をオンにしてください。コンピューター→本機の順に電源をオンにするとコンピューターが本機を正常に認識できない場合があります。

電源スイッチについて

電源スイッチは本機の前面左下にあり、電源スイッチをオンにすると給紙トレイが自動で開きます。(→ P.33)

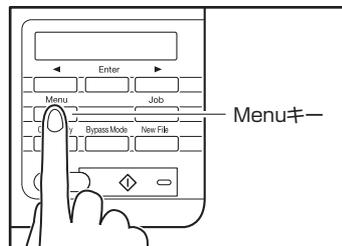


USB 連動スイッチの設定(USB で接続している場合)

本機には、コンピューターの電源のオン / オフに連動して本機の電源がオン / オフする「USB 連動スイッチ」が用意されています。

USB 連動スイッチを設定するときは、ユーザーモードの「USB レンドウ スイッチ」で設定を変更します。

1 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

```
フ ザ ー セ ッ テ ィ  
[ ON 2 ] ON 1 OFF
```

2 [◀]キーを5回押して[USB レンドウ スイッチ]を表示させます。(→ P.67)

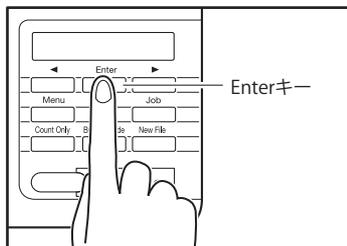
```
USB レ ン ト ウ ス イ ッ チ  
ON [ OFF ]
```

3 設定を確認します。

[ON] : USB で接続されたコンピューターの電源のオン / オフに連動してスキャナーの電源がオン / オフします。

[OFF] : 電源スイッチで電源をオン / オフします。

4 [Enter] キーを押します。



設定値の [] が点滅します。

5 [◀], [▶] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。

6 ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

自動電源オフ機能について

本機には自動電源オフ機能が搭載されています。自動電源オフ機能を有効にすると、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源がオフになります。

自動電源オフ機能はユーザーモードで設定できます。[「ユーザーモード」](#) (→ P.67)。

ヒント

国または地域によっては、工場出荷時に自動電源オフ機能が有効に設定されています。

原稿について

DR-X10Cは、名刺、小切手などの小さいものから、A3 サイズまでの原稿をスキャンすることができ、搬送できる原稿は給紙方法によって以下のサイズ、紙厚の原稿が使用できます。

搬送できる原稿のサイズ

本機では、以下のサイズの原稿を搬送することができます。

サイズ

幅 : 50.8 ~ 305 mm

長さ : 70.0 ~ 432 mm (長尺モードが [OFF] の場合)

70.0 ~ 1,000 mm (長尺モードが [ON1] の場合)

70.0 ~ 3,000 mm (長尺モードが [ON2] の場合)

ヒント

ユーザーモードで本機を「長尺モード」にした場合、用紙サイズ検知でスキャンすることにより最大 3,000mm の長さの原稿をスキャンすることができます。

[「長尺モードの設定」](#) (→ P.31)

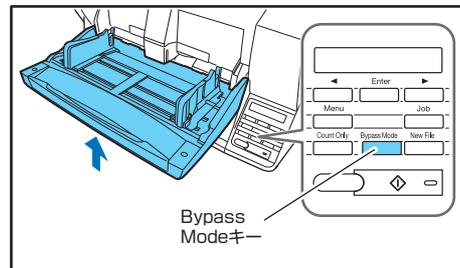
紙厚

連続給紙 : 52 ~ 128 g/m² (0.06 ~ 0.15mm)

手差し給紙 : 42 ~ 255 g/m² (0.05 ~ 0.30mm)

ヒント

- 連続給紙は、原稿の束を給紙トレイにセットして、フィードローラーとリタードローラーで原稿を 1 枚ずつ分離しながら連続給紙を行います。
- 手差し給紙は、操作パネルの [Bypass Mode] キーが点灯し、給紙トレイが上昇した状態で原稿を 1 枚ずつセットします。

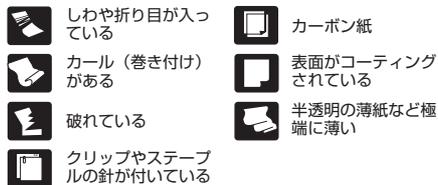


重要

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚の原稿を一度に読み取るときは、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナーの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで背景色の色や読み取る明るさを調整してから実行してください。

- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙詰まりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから行ってください。



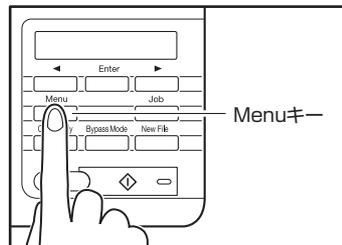
- 複数枚綴りの伝票をスキャンするときは、綴じられている側を給紙口に向けて、「手差し給紙」でスキャンします。
- 長尺モードの場合、手差し給紙で 1 枚ずつスキャンします。

長尺モードの設定

本機を長尺モードにすると、最大 3,000mm までの原稿を自動サイズ検知でスキャンすることができます。

長尺モードの設定を変更するときは、ユーザーモードの「チョウジャクモード」で設定を変更します。

1 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

```
フ ー セッティ
[ ON 2 ] ON 1 OFF
```

2 [▶] キーを 5 回押して [チョウジャクモード] を表示させます。(→ P.67)

```
チョウシヤク モード
ON 2 ON 1 [ OFF ]
```

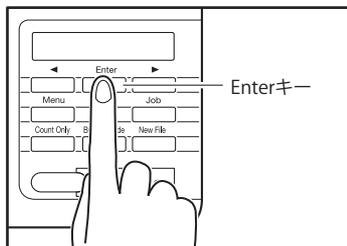
3 設定を確認します。

[ON2]：用紙サイズの設定を [自動検知] または最大サイズにしたときに、最大 3,000mm までの長さの原稿を検知します。

[ON1]：用紙サイズの設定を [自動検知] または最大サイズにしたときに、最大 1,000mm までの長さの原稿を検知します。

[OFF]：用紙サイズの設定を [自動検知] にしたときに、432mm までの長さの原稿を検知します。

4 [Enter] キーを押します。



設定値の [] が点滅します。

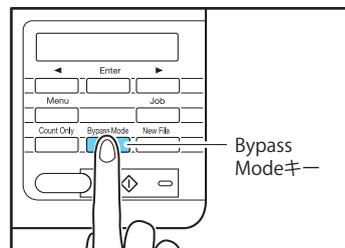
5 [◀]、[▶] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。

6 ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

❗ 重要

- 長尺モードでスキャンする場合、処理速度が低下することがあります。
- 長尺モードを [ON1] に設定してスキャンする場合、読み取りモードをカラー、画像品質を「画質優先」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、白黒にしたり、画像品質を低くしてスキャンしてください。
- 長尺モードを [ON2] に設定してスキャンする場合、400/600dpi でスキャンしたり、読み取りモードをカラー、読み取り面を「両面」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、解像度を低くしたり、白黒にしたり、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。
- 読み取りモード、解像度の設定によっては画像が欠けることがあります。このような時は、解像度を低くしたり、カラーのときは白黒にしてスキャンしてください。

- 長い原稿をスキャンする場合、原稿が傾いてセットされると原稿の後部が給紙部の両端に当たり原稿を破損する場合があります。原稿の傾きには十分注意してください。
- 長い原稿をスキャンする場合、紙詰まりの検知が遅れて原稿を破損する場合があります。紙詰まりには十分注意してください。
- 長い原稿をスキャンする場合、操作パネルにある [Bypass Mode] キーを押して、手差しで 1 枚ずつ給紙してください。



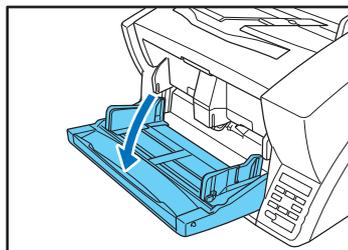
給紙トレイ、排紙トレイの準備

原稿をスキャンする前に、原稿に合わせて給紙トレイと排紙トレイの準備を行います。

給紙トレイの準備

給紙トレイの開き方

給紙トレイは、本体の電源がオンになると自動で開き、設定されているホームポジションの高さに移動します。



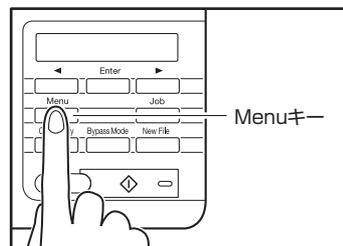
ヒント

給紙トレイを手で開く時は、給紙トレイの両端の凹みに指を掛けて静かに開きます。

ホームポジションの設定

ホームポジションの高さはセットする原稿の量によって3段階に調整することができ、初期値では 500 枚セットできる一番低い位置に設定されています。ホームポジションの高さは、ユーザーモードの「トレイ イチ」で設定し、セットする原稿の枚数に適した位置に設定することにより搬送を開始するまでの時間が短くなります。

1 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

```
フ ザ ー セッティ  
[ ON 2 ] ON 1 OFF
```

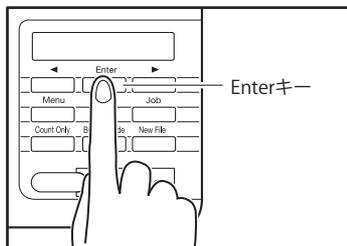
2 [◀]キーを7回押して[トレイ イチ]を表示させます。(→ P.67)

```
トレイ イチ  
2 1 [ 0 ]
```

3 設定を確認します。

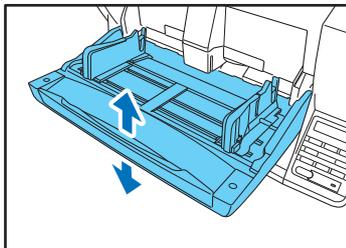
- [0] : 原稿のセット枚数が 500 枚以下
- [1] : 原稿のセット枚数が 300 枚以下
- [2] : 原稿のセット枚数が 100 枚以下

4 [Enter] キーを押します。



設定値の [] が点滅します。

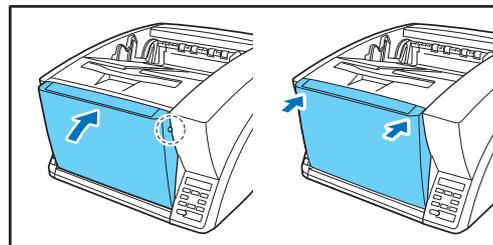
5 [◀], [▶] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。 給紙トレイが設定した高さに移動します。



6 ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

給紙トレイの閉じ方

給紙トレイを閉じるときは、給紙トレイを静かに持ち上げ、給紙トレイの両側にある凸部が本体にフックするように給紙トレイの両端を押し込みます。

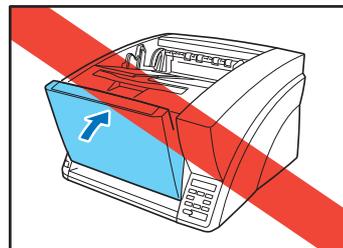


ヒント

ホームポジションの位置が高く設定されている場合、電源をオフしたときに給紙トレイを最下位の位置に下げてから電源がオフになります。

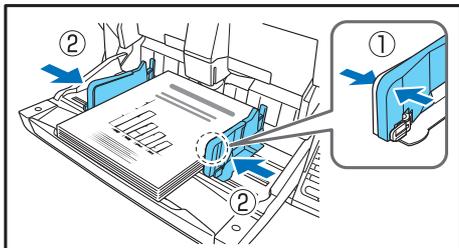
注意

ホームポジションの位置を高くしている場合は、必ず電源をオフにしてから給紙トレイを閉じてください。電源がオンの状態で給紙トレイを閉じると本機の破損の原因になります。



原稿ガイド

原稿ガイドは両側から押さえ(①)、原稿の幅に合わせて原稿ガイドの位置を調整します(②)。

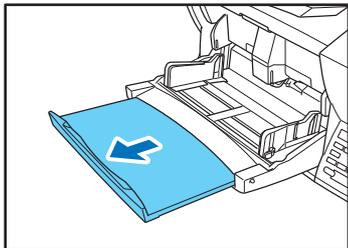


ヒント

原稿ガイドをロックして左右の位置を変えることができます。詳細については「[原稿ガイドの調整](#)」(→ P.35)を参照してください。

給紙補助トレイ

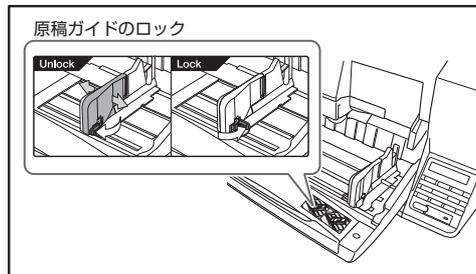
原稿の長さに合わせて給紙補助トレイを引き出します。



原稿ガイドの調整

原稿ガイドは給紙口中心に対して左右均等に開き、原稿を給紙口の中心にセットします。

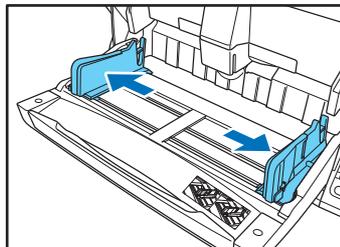
原稿ガイドにはロックレバーがあり、原稿を右または、左に寄せてセットするときは、原稿ガイドをロックして原稿ガイドの左右の位置を変更することができます。



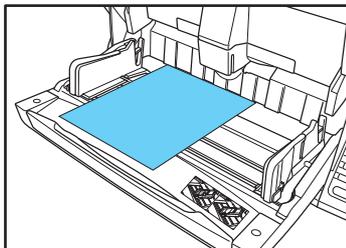
原稿を左に寄せる場合の調整手順

原稿を左に寄せてセットする手順を一例として説明します。

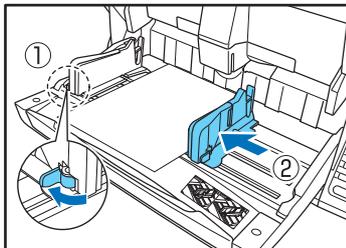
- 1 原稿ガイドを左右いっぱいに開きます。



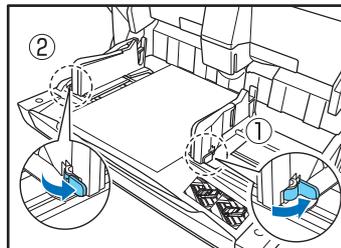
2 原稿をセットします。



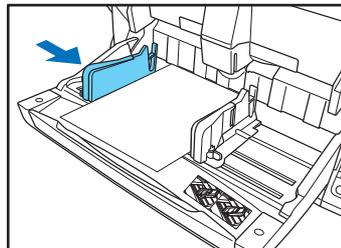
3 左側の原稿ガイドをロックし(①)、右側の原稿ガイドを原稿に合わせます(②)。



4 右側の原稿ガイドをロックし(①)、左側の原稿ガイドのロックを解除します(②)。



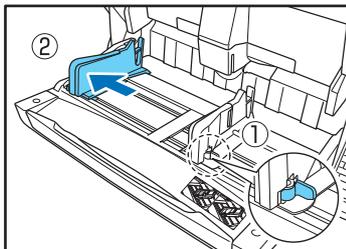
5 左側の原稿ガイドを原稿に合わせます。



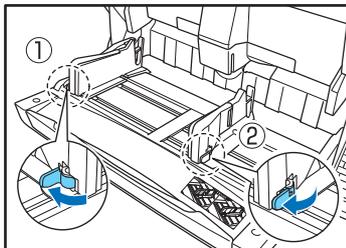
原稿ガイドのリセット

原稿ガイドを左右均等の位置に戻すときは、以下の手順で原稿ガイドを左右いっぱいに開きます。

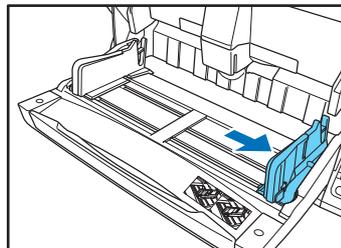
- 1 右側の原稿ガイドのロックを確認し (①)、左側の原稿ガイドを左側いっぱいまで開きます (②)。



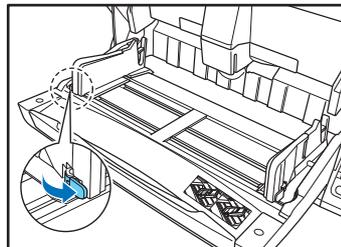
- 2 左側の原稿ガイドをロックし (①)、右側の原稿ガイドのロックを解除します (②)。



- 3 右側の原稿ガイドを右側いっぱいまで開きます。



- 4 左側の原稿ガイドのロックを解除します。

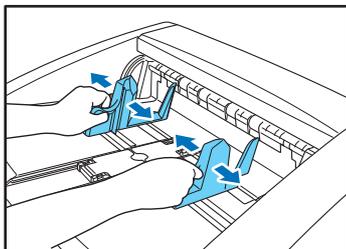


排紙トレイの準備

排紙トレイには、原稿ガイドと排紙補助トレイ、排紙ストッパーがあり、それぞれセットした原稿の長さに合わせて調整します。

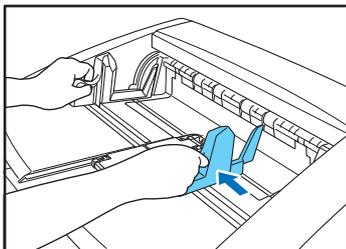
原稿ガイド

両側の原稿ガイドを持ち、セットする原稿の幅に合わせて位置を調整します。



ヒント

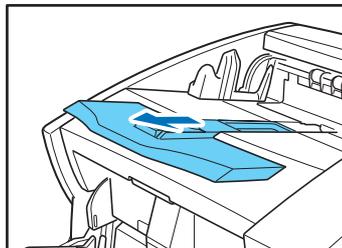
- 原稿ガイドは、片側を押さえて反対側の原稿ガイドを動かすことにより左右の位置を変えることができます。



- 原稿ガイドを左右均等の位置に戻すときは、両側のガイドをそれぞれ左右いっばいに開きます。

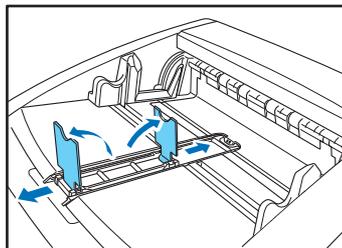
排紙補助トレイ

原稿の長さに合わせて排紙補助トレイを引き出します。



排紙ストッパー

原稿が排紙トレイから飛び出して落下するようなときは、排紙ストッパーを立てて原稿が飛び出さないようにします。



ヒント

排紙ストッパーは排紙補助トレイに設けられており、原稿の長さに合わせて位置を調整します。

給紙方法について

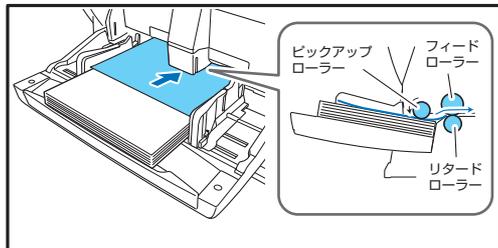
原稿の給紙方法には、給紙トレイにセットした原稿をピックアップローラーで連続して搬送する「連続給紙」と、ピックアップローラーを停止させ、原稿がフィードローラーで搬送される位置まで1枚ずつ手で差し込む「手差し給紙」があります。

給紙方法の選択

給紙方法は標準で「連続給紙」に設定されており、ISIS/TWAIN ドライバーの「給紙オプション」で「手差し給紙」を選択または、操作パネルの「Bypass Mode」キーを押したときに「手差し給紙」になります。また、滑りの悪い原稿の束をスキャンする際に原稿の分離を確実にを行う方法として、「連続手差しモード」が用意されています。

連続給紙

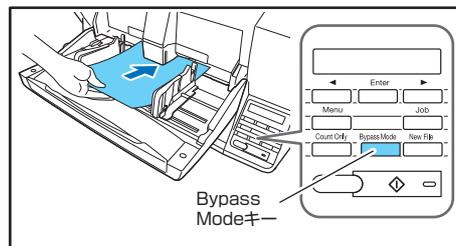
連続給紙では、ピックアップローラーで引き込まれた原稿を、フィードローラーで搬送するとともに、原稿が重送しないようにリタードローラーで原稿を1枚ずつ分離します。



手差し給紙

[Bypass Mode] キーが点灯し、給紙トレイが上昇して1枚ずつの給紙になります。

手差し給紙のときはピックアップローラーが停止しているため、原稿をフィードローラーで引き込まれる位置まで挿入します。



重要

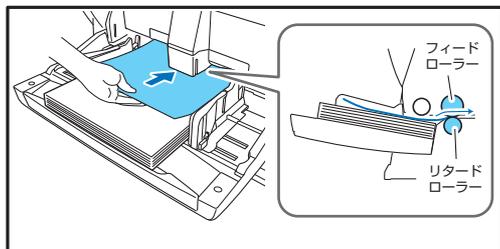
- 手差し給紙では、リタードローラーによる原稿の分離を行いません。複数枚の原稿をセットすると、まとめて搬送されて紙詰まりになる場合があります。
- 複数枚綴りの伝票をスキャンするときは、綴じられている側を給紙口に向け、「手差し給紙」でスキャンします。

ヒント

[Bypass Mode] キーは、ISIS/TWAIN ドライバーで設定する「給紙オプション」の「手差し給紙」と相互に連動しています。操作パネルの「Bypass Mode」キーを押す、または「給紙オプション」を「手差し給紙」に設定すると[Bypass Mode] キーが点灯して給紙トレイが上昇します。

連続手差しモード

連続手差しモードはユーザーモードで設定し、連続給紙で原稿の分離がうまくできないような原稿をスキャンするときに使用します。



重要

ユーザーモードで「連続手差しモード」を [ON] にしたときは、スキャンが終了したら必ず「連続手差しモード」を [OFF] に戻してください。他の人が使用するときには連続給紙ができなくなります。

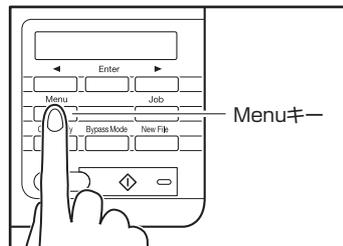
ヒント

通常の手差し給紙では、原稿の束をスキャナーの横に置いて、原稿を1枚ずつ取り上げて給紙するのに対して、連続手差しモードでは、原稿の束を給紙トレイに置いて1枚ずつ差し込むため作業が楽になります。

連続手差しモードの設定

連続手差しモードは、ユーザーモードの「レンゾク テザシ モード」で設定します。

1 操作パネルの「Menu」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

フ ザ ー セ ッ テ ィ
[ON 2] ON 1 OFF

2 [▶] キーを6回押して [レンゾク テザシ モード] を表示させます。(→ P.67)

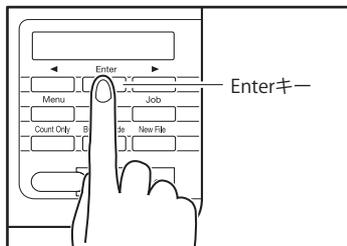
レンゾク テザシ モード
ON [OFF]

3 設定を確認します。

[ON] : ピックアップローラーを無効にし、セットした原稿は 1 枚ずつフィードローラーで搬送されるまで差し込みます。

[OFF] : 「BypassMode」キーが点灯している場合を除き、ピックアップローラーにより原稿が連続搬送されます。

4 [Enter] キーを押します。



設定値の [] が点滅します。

5 [◀], [▶] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。

6 ストップキーを押してユーザーモードを終了します。

スキャン

本機のスキャン方法には、本機に付属の「CapturePerfect 3.1」などのスキャンングアプリケーションでスキャンする他に、操作パネルの操作でスキャンを実行する「ジョブ機能」があります。

本項では、「ジョブ機能」と「CapturePerfect 3.1」の概略について説明します。

ジョブ機能について

ジョブ機能は、「ジョブ登録ツール」でジョブを登録し、操作パネルの [Job] キーで登録したジョブを選択 / 実行してスキャンを行う機能です。

ジョブには、スキャン条件や、保存する画像データのファイル形式、保存先が登録され、ジョブ機能でスキャンした画像データはジョブに登録されている条件で処理されます。

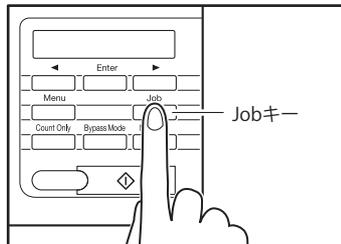
ヒント

ジョブ登録ツールは、ISIS/TWAIN ドライバーと一緒にインストールされる TWAIN 互換アプリケーションです。

ジョブの実行

ジョブ登録ツールで登録したジョブは、以下の手順で実行します。

1 操作パネルの「Job」キーを押します。



登録されているジョブが表示されます。

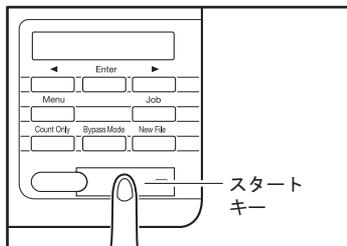
01 : A4 B / W 200
M y D o c u m e n t s

ヒント

ジョブが表示されないときは、ジョブ登録ツールでジョブを登録してください。

2 [◀], [▶] キーでジョブを選択します。

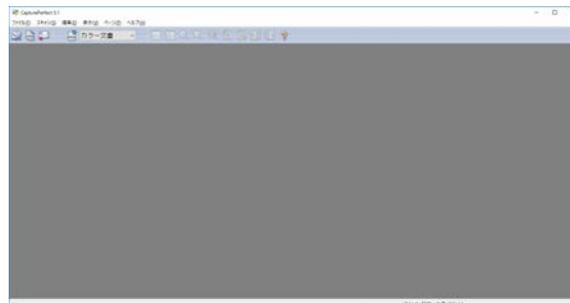
3 スタートキーでジョブを実行します。



4 指定されているフォルダーを開いて画像ファイルを確認します。

CapturePerfect 3.1 について

CapturePerfect 3.1 は、キヤノンドキュメントスキャナー専用の ISIS 互換アプリケーションです。CapturePerfect 3.1 の詳細については「CapturePerfect 3.1 操作ガイド」を参照してください。

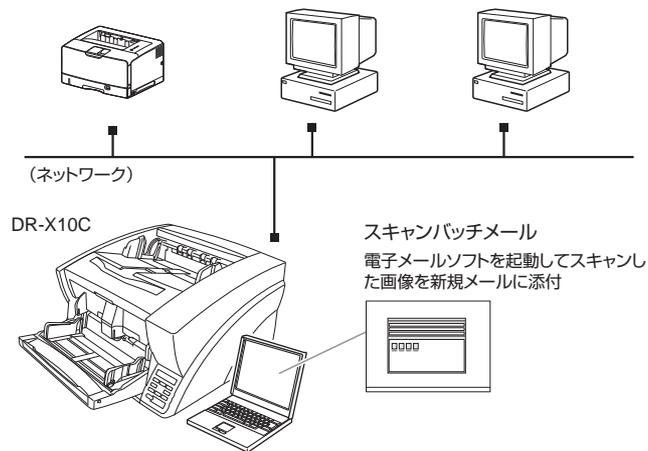


CapturePerfect のスキャン方法

CapturePerfect 3.1 には以下のスキャン方法がありスキャンメニューからスキャン方法を選択して実行します。

スキャンバッチプリント
スキャンした画像を指定したプリンタで印刷

スキャンバッチファイル
スキャンした画像を指定したフォルダーへ保存



スキャンして保存

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したフォルダーに画像ファイルを保存します。

スキャンしてプリント

設定した読み取り条件でスキャンを行い、指定したプリンタでスキャンした画像を印刷します。

スキャンしてメール

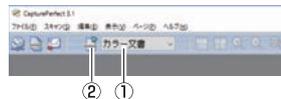
設定した読み取り条件でスキャンを行い、MAPI に対応した電子メールソフトを起動させて、スキャンした画像を新規メールに添付します。

1 ページのみスキャン

原稿を 1 枚スキャンして終了します。

よく使う設定

ジョブ機能と同様に、読み取り条件とスキャン方法（スキャンして保存、スキャンしてプリント、スキャンしてメール）をあらかじめジョブとして登録しておき、スキャンジョブの実行は、ツールバーからジョブを選択 (①) →実行 (②) の 2 つの操作で行います。



ヒント

スキャンジョブにはあらかじめ以下の 2 つのジョブが登録されており、最大 99 個のジョブを登録することができます。

- カラー文書
原稿を 24 ビットカラー、片面 300dpi でスキャンし、画像ファイルを [ピクチャ] フォルダーに PDF 形式で保存します。
- 白黒文書
原稿を白黒、片面 200dpi でスキャンし、画像ファイルを [ピクチャ] フォルダーに PDF 形式で保存します。

スキャンして Microsoft SharePoint サーバーに送信

Microsoft SharePoint Server が導入されている環境下で、スキャン画像を Microsoft SharePoint のサイトに送信できます。

プレゼンテーションモードでスキャン

小型のスキャナーをプレゼンテーションの会場などに持ち込み、大型ディスプレイやプロジェクタが接続された環境で使用する場合に有効なモードで、CapturePerfect を全画面表示に切り替えてスキャンを行い、スキャンした画像をディスプレイに表示します。



ヒント

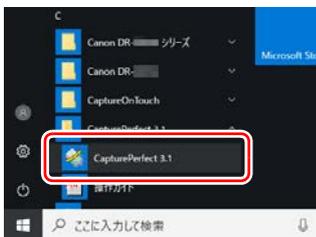
DR-X10C など、大型のスキャナーでの使用には適していません。

CapturePerfect の操作手順

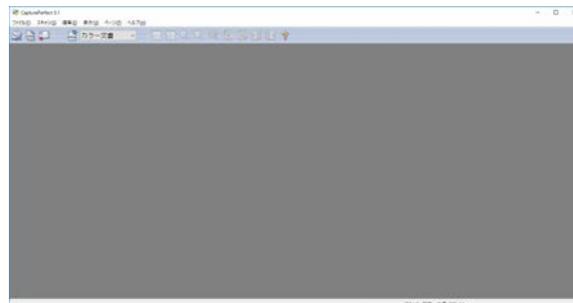
CapturePerfect 3.1 の起動から「スキャンバッチファイル」でのスキャン手順について説明します。

その他のスキャン方法の手順については「CapturePerfect 3.1 操作ガイド」を参照してください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[CapturePerfect 3.1]-[CapturePerfect 3.1] をクリックします。



CapturePerfect 3.1 が起動します。

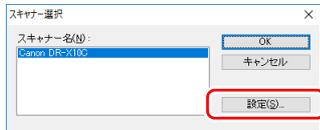


- 2 [スキャン] メニューから [スキャナーの選択] をクリックします。



[スキャナー選択] ダイアログボックスを表示します。

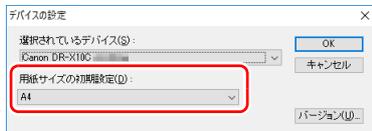
3 [Canon DR-X10C] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。



! 重要

[Canon DR-X10C] が表示されないときは、ISIS/TWAIN ドライバーのインストールをやり直してください。

4 用紙サイズの初期値を設定します。

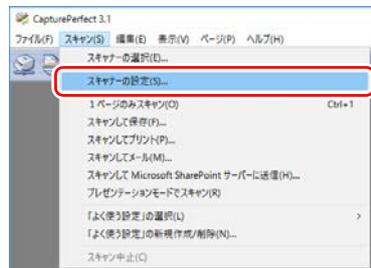


! 重要

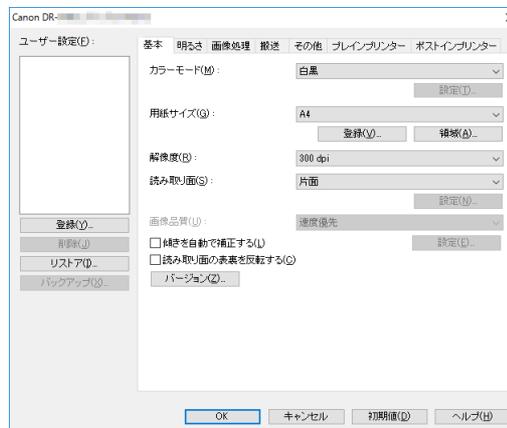
ISIS ドライバーの設定ダイアログボックスで [初期値] ボタンをクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。

5 [OK] をクリックしてスキャナーの選択を終了します。

6 スキャンメニューから [スキャナーの設定] をクリックします。



ISIS ドライバーの設定ダイアログボックスを表示します。

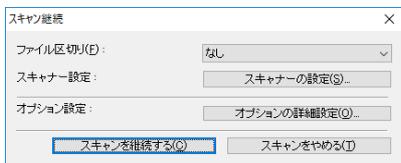


10 原稿をセットし、【保存】をクリックしてスキャンを開始します。

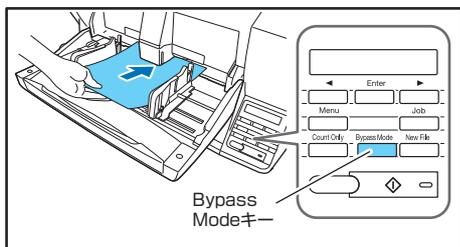
! 重要

読み取り条件の給紙オプションの設定によって、原稿のセットが以下のようになります。

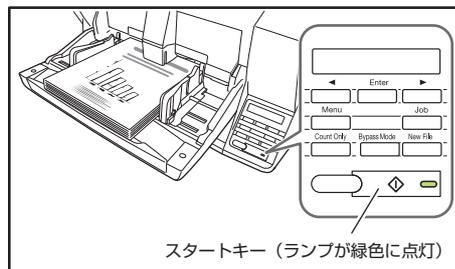
- 給紙オプションが「標準給紙」のときはスキャンを開始する前に原稿をセットし、原稿が無くなると「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。



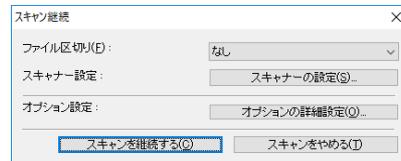
- 給紙オプションが「手差し給紙」のときは「Bypass Mode」キーが点灯して給紙トレイが上昇しています。原稿を1枚ずつ奥まで差し込みながらスキャンを繰り返し、ストップボタンを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。



- 給紙オプションが「自動給紙」、[パネルで給紙]の場合、スキャンを開始したときに原稿がセットされているとスキャンを行い、原稿がセットされていない時は待機状態になります。
- 給紙オプションが「自動給紙」の場合、給紙トレイのセンサーが原稿のセット検知する度にスキャンを行い、ストップキーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。
- 給紙オプションが「パネルで給紙」の場合、スタートキーのランプが点灯します。原稿をセットしてスタートキーを押すとスキャンを行い、ストップキーを押すと「スキャン継続」ダイアログボックスを表示します。



11 原稿の有無を確認し、【スキャンを継続する】または【スキャンをやめる】をクリックします。



-
- 12** スキャンが終了したら【ファイル】メニューから【アプリケーションの終了】を選択して CapturePerfect を終了させます。

CaptureOnTouch について

CaptureOnTouch は、画面のパネルを選択するだけの簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。



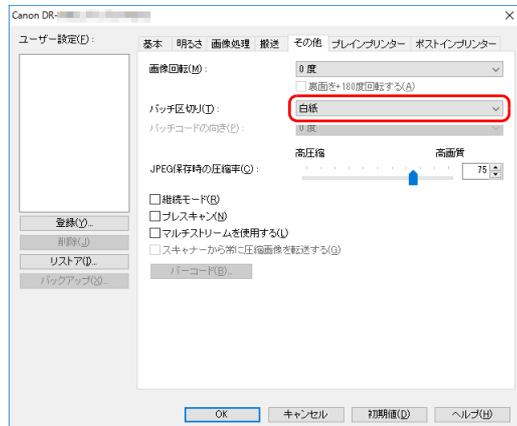
操作や機能の詳細は、CaptureOnTouch のヘルプを参照してください。

バッチ区切り

白紙を用いたバッチ区切り

白紙の原稿をスキャンした場合に、その原稿をバッチ区切り用紙と判定してバッチ区切りを行います。

ISIS ドライバーの「その他」タブにあるバッチ区切りの設定を「白紙」にします。



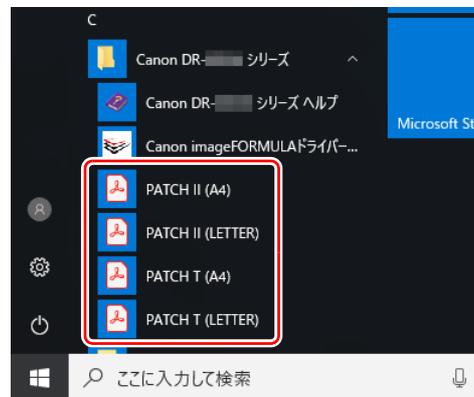
重要

- ・ [読み取り面] で [片面] が選択されているときは、読み取った面が白紙だった場合にバッチ区切り用紙と判定します。[読み取り面] で [両面]、[白紙をスキップする]、[半折り] が選択されているときは、原稿の表裏両面とも白紙だった場合にバッチ区切り用紙と判定します。
- ・ バッチ区切り用紙と判定された原稿の画像は保存されません。

パッチコードシートを用いたバッチ区切り（オプション）

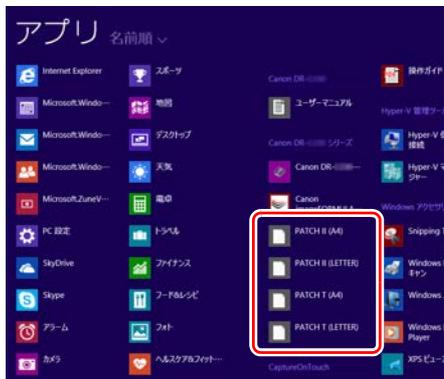
本機は、オプションのパッチコードデコーダーを装着することにより、原稿内に挿入されたパッチコードシートを検知してバッチ区切りを行う「自動ファイル区切り」に対応することができます。

パッチコードシートは、ファイルを自動区切りするためのパッチコードパターンが印刷されたシートで、ISIS/TWAIN ドライバーのインストールにより以下の場所にパッチコードシートのアイコンが登録されます。



💡 ヒント

Windows 8 では、パッチコードシートはアプリの一覧に登録されます。



❗ 重要

- パッチコードシートは、お使いのアプリケーションがパッチコードシートによる自動パッチ区切りをサポートしている場合に有効です。
- パッチコードシートは PDF 形式のファイルで、用紙サイズとパターンの組み合わせで [PATCH T (A4)]、[PATCH T (LTR)]、[PATCH II (A4)]、[PATCH II(LTR)] の 4 種類のシートが用意されています。

パッチコードシートの印刷

パッチコードシートは、CapturePerfect または、PDF 形式のファイルに対応したアプリケーションで開き、必ず等倍で印刷してください。

❗ 重要

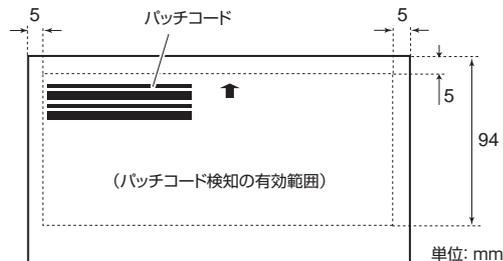
- [PATCH T (A4)]、[PATCH II (A4)] は A4 サイズの用紙、[PATCH T (LTR)]、[PATCH II (LTR)] はレターサイズの用紙に等倍で印刷してください。
- パッチコードシートを拡大、縮小して印刷した場合、パッチコードとして正様に認識できない場合があります。

パッチコードシートの作成

パッチコードパターンをコピーして他のサイズのパッチコードシートを作成するときは、以下に注意して作成してください。

❗ 重要

- パッチコードは、以下の有効範囲に入るように調整してください。



- パッチコードパターンをコピーするときは、オリジナルのパターンと同サイズになるようにしてください。
- 印刷または作成したパッチコードシートは、汚さないように注意してください。また、折り曲げたり、しわのあるシートは使用しないで、印刷または作成し直したものを使用してください。

パッチコードパターンの機能

パッチコードは「PATCH T」、「PATCH II」の 2 種類のパターンに対応し、パターンによって機能が異なります。

PATCH T



このパターンが印刷されたシートを認識したときは、このシートの次の原稿の画像からファイルが区切られ、アプリケーションによってこのシートの画像を保存する / しないを設定します。

PATCH II



このパターンが印刷されたシートを認識したときは、このシートの画像からファイルが区切られ、このシートの画像は、アプリケーションの設定にかかわらず必ず保存されます。

パッチコードシートの使い方

CapturePerfect 3.1 でのパッチコードシートの使用方法について説明します。

1 パッチコードシートをプリンタで印刷します。

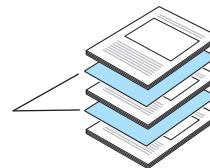


重要

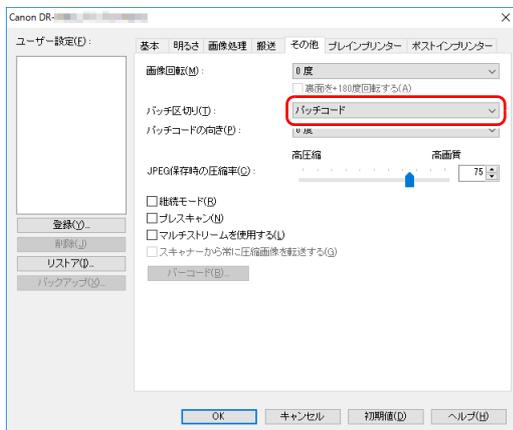
- [PATCH T (A4)]、[PATCH II (A4)] は A4 サイズの用紙、[PATCH T (LTR)]、[PATCH II (LTR)] はレターサイズの用紙に等倍で印刷してください。
- パッチコードシートを拡大、縮小して印刷した場合、パッチコードとして正常に認識できない場合があります。

2 パッチコードシートをファイルを区切る原稿の前に挿入してから給紙トレイにセットします。

パッチコードシートをファイル区切りを変更する原稿の先頭に入れてセットします。



3 ISIS ドライバーの「その他」タブにあるパッチ区切りの設定を「パッチコード」にします。



! 重要

パッチコードデコーダーが装着されていない場合、パッチ区切りの設定に「パッチコード」は表示されません。

4 「スキャンして保存」を実行します。

5 「パッチ区切りタイプ」の設定を「記録して、スキャン継続」または「記録せず、スキャン継続」にします。

💡 ヒント

- 「記録して、スキャン継続」は、パッチコードのパターンにかかわらず、パッチコードシートの画像を保存してスキャンを継続します。
- 「記録せず、スキャン継続」は、PATCH T のパターンを認識したときに、パッチコードシートの画像を保存しないでスキャンを継続します。

スキャンが途中で停止したときの処理

スキャン中にエラーが発生したときは、セットした原稿の搬送が途中で停止します。この場合の処理方法を説明します。

エラーメッセージの確認

原稿の搬送が途中で停止した場合、表示パネルにエラーメッセージが表示されます。

紙詰まり検知

カミカゝ ツマリマシタ
P 0 0 1

斜行検知

シャコウヲ ケンチシマシタ
J 0 1 8

ステープル検知

ステーフゝルヲ ケンチシマシタ
J 0 0 1

重送検知（継続モード無効）

シゝ ユウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 2

重送検知（継続モード有効）

シゝ ユウソウヲ ケンチシマシタ
[ムシスル] ヤリナオス

エラーに応じて下記を参照してください。

紙詰まり・斜行・ステープル検知の場合 → [「紙詰まり・斜行・ステープル検知の処理」](#) (→ P.54)

重送検知の場合 → [「重送を検知したときの処理」](#) (→ P.56)

紙詰まり・斜行・ステープル検知の処理

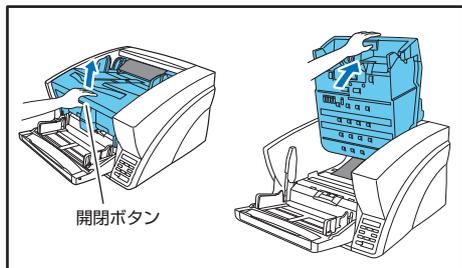
紙詰まり、斜行、ステープルが検知されたときは、排紙トレイやスキャナーの内部に残っている原稿を取り除きます。

注意

- スキャナーの内部に残っている原稿を取り除くときは、慎重に行ってください。原稿を破損したり、紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。
- スキャナーの内部に残っている原稿はすべて取り除いてください。破れた紙が内部に残っていると、紙詰まりや故障の原因になります。

1 排紙トレイに残っている原稿を取り除きます。

- 2** 開閉ボタンを押しながら上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。



! 注意

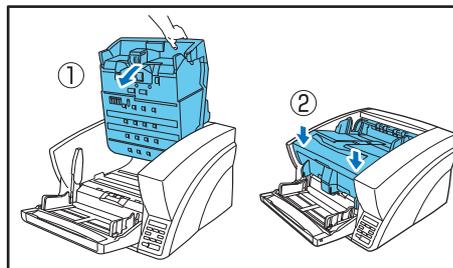
上部ユニットを開閉するときは、手を挟まないように注意してください。

- 3** スキャナーの内部に原稿が残っているときは、取り除きます。

! 重要

- 排紙トレイに途中まで排紙されている原稿は、上部ユニットを少し開いた状態にして取り除きます。
- 本体内部に残っている原稿は、上部ユニットを止まるところまで開いて取り除きます。

- 4** 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)



- 5** 保存されている最後の画像を確認して、スキャンをやり直します。

! 重要

- 排紙トレイに排出された原稿でも、スキャン画像が保存されていないことがあります。スキャンをやり直す前に、保存されている最後のスキャン画像を必ず確認してください。
- 斜行が検知された原稿は、まっすぐにセットしてスキャンし直してください。
- ステープルが検知された原稿は、ステープルを取り除いてからスキャンし直してください。

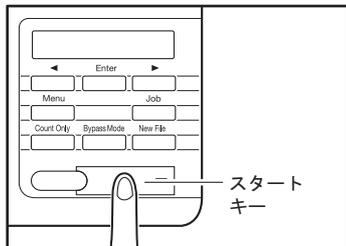
「スタートキー オシテクダサイ」が表示された場合

ISIS/TWAIN ドライバーの設定で「継続モード」が有効に設定されている場合、紙詰まり・斜行・ステーブルを検知した状態でスキャンが一時的に停止します。

スキャナーから原稿を取り除いた後で、表示パネルに以下のメッセージが表示されます。

スタートキー オシテクダサイ

スキャナー内部から取り除いた原稿を、給紙トレイに残っている原稿の先頭に返し、スタートキーを押してスキャンを継続できます。

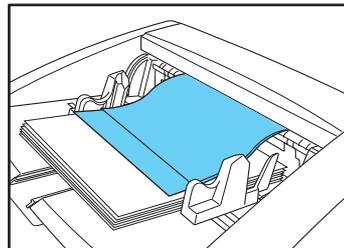


！重要

- スタートキーを押すと、紙詰まり・斜行・ステーブルの検知時にスキャンされていた原稿の画像は破棄されます。
- ストップキーを押すと、紙詰まり・斜行・ステーブルを検知する前までの画像が保存されてスキャンが終了します。この場合、検知時にスキャンされた原稿から、または最初からスキャンをやり直します。

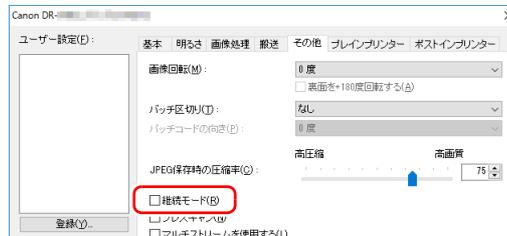
重送を検知したときの処理

スキャン中に重送を検知した場合、重送を検知した原稿を排紙口まで搬送し、表示パネルにエラーメッセージを表示して搬送を停止します。



！重要

ISIS/TWAIN ドライバーの「継続モード」の設定により、重送を検知したときのメッセージおよび画像ファイルの処理が以下ようになります。



継続モードを設定していない場合

- 継続モードを設定していない場合、重送を検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了し、以下のメッセージを表示します。

原稿の長さで重送を検知した場合

シ` ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 2

超音波で重送を検知した場合

シ` ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 4

重送を検知して排出された原稿が残っている原稿の先頭に戻してスキャンをやり直します。

継続モードを設定している場合

- 継続モードを設定している場合、重送を検知した状態でスキャンを中断し、以下のメッセージを表示します。

シ` ュウソウヲ ケンチシマシタ
[ムシスル] ヤリナオス

1 排出された原稿を確認します。

ヒント

- ラベル紙など原稿に貼付けられた用紙の隙間を重送として検知したときは重送検知を無視することができます。
- 原稿が重送して重なっているときは、重送した原稿のスキャンをやり直します。

2 [◀]、[▶] キーで処理を選択し、[Enter] キーを押します。

シ` ュウソウヲ ケンチシマシタ
[ムシスル] ヤリナオス

[ムシスル] :

重送を検知した時の原稿の画像を保存して、スキャンを再開します。

[ヤリナオス] :

表示パネルが以下の表示になります。重送した原稿をトレイに戻してスタートキーを押してください。

スタートキーヲ オシテクタ` サイ

重要

- スタートキーを押すと、重送を検知したときの画像を破棄してスキャンを再開します。
- ストップキーを押すと、重送を検知する前までの画像をファイルに保存してスキャンを終了します。この場合、重送した原稿から、または最初からスキャンをやり直します。

原稿の長さで重送を検知した場合

シ` ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 2

超音波で重送を検知した場合

シ` ュウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 4

その他の機能

その他の機能および設定

本機にはその他、以下のような機能があります。詳細については参照ページをお読みください。

	操作 / 設定方法			参照ページ
	パネル操作	ユーザーモード	ISIS/TWAIN	
SCSI 転送速度	－	○	－	P.71
USB ショートパケット	－	○	－	P.71
USB 連動スイッチ	－	○	－	P.28, P.73
インプリンター (オプション)	－	－	○	P.66, P.118
インプリンターテスト	－	○	－	P.73, P.97
カウンター (トータルカウンター)	－	○	－	P.73
カウンター (使用ローラー)	－	○	－	P.73
カウントオンリーモード	○	－	－	P.61
画面コントラスト	－	○	－	P.71
キー操作の制限	○	－	－	P.65
クリーニングモード	－	○	－	P.77
ゴミ検知機能	－	○	－	P.71
斜行検知 *常に有効	－	－	－	P.63
斜行補正	－	－	○	P.22
重送検知	－	－	○	P.62
重送検知 (カウントオンリーモード時)	－	○	－	P.69
重送リトライ機能	－	○	－	P.69
ステーブル検知	－	－	○	P.63

	操作 / 設定方法			参照ページ
	パネル操作	ユーザーモード	ISIS/TWAIN	
ステープル検知 (カウントオンリーモード時)	－	○	－	P.69
ステープル検知感度	－	○	－	P.63, P.70
スリープモード	－	○	－	P.70
オートパワーオフモード	－	○	－	P.70
長尺モード	－	○	－	P.31
トルクコントロール	－	○	－	P.72
トレイ位置調整	－	○	－	P.33, P.72
背景色指定	－	－	○	P.64
半折りスキャン	－	－	○	P.65
ブザー設定	－	○	－	P.69
ペリファイスキャン	○	－	○	P.61
連続手差しモード	－	○	－	P.40, P.70
枠検知エラーモード	－	○	－	P.72
薄紙給紙設定 (オプション)	－	○	－	P.72

ヒント

- 「操作 / 設定方法」は、以下の操作または設定を行います。
 パネル操作：操作パネルのキーにより操作または設定を行います。
 ユーザーモード：本機の機能をユーザーモードにより任意に変更します。
 ISIS/TWAIN：ISIS/TWAIN ドライバーの設定によりスキャン時の機能を設定します。
 CapturePerfect：本機に同梱されているアプリケーション「CapturePerfect 3.1」または、他のアプリケーションが対応していることによって設定できる機能です。
- 「ペリファイスキャン」は、パネル操作で枚数を設定し、ISIS/TWAIN ドライバーの「ペリファイカウント」の設定によりペリファイスキャンを実行します。

機能説明

その他の機能について説明します。ユーザーモードで設定する機能については「ユーザーモード」(→ P.67) を参照してください。

カウントオンリーモード

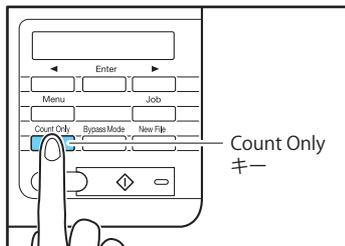
原稿の搬送のみを行い、セットされた原稿の枚数をカウントします。

ヒント

カウントオンリーモードは操作パネルの「Count Only」キーで実行し、原稿の枚数のカウントのみであれば、コンピューターの接続に関係なく使用することができます。

1 原稿をセットします。

2 操作パネルの「Count Only」キーを押します。



「Count Only」キーが青く点灯し、カウントオンリーモードになります。

スキャン カノウ

0 0 0 0 0

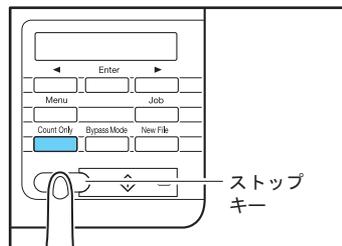
3 スタートキーを押すと原稿のカウントを開始します。

カウントチュウ . . .

X X X X X

重要

カウントした枚数は、「Count Only」キーが点灯した状態でストップキーを約 2 秒押し続けるとリセットされます。



ベリファイスキャン

カウントオンリーモードでカウントした枚数または、任意に設定した枚数と、セットした原稿の枚数を照合しながらスキャンを行い、設定した枚数とスキャンした枚数に相違がある場合にエラーを表示します。

1 カウンターを設定します。

スキャン カノウ

0 0 0 0 0



ヒント

カウンターの設定は、カウントオンリーモードでカウントした枚数を利用または、[◀]、[▶] キーを押してカウンターを設定します。

2 ISIS/TWAIN ドライバーの設定で、「ベリファイカウント」をチェックします。

3 スキャンを開始します。

ベリファイスキャン中の表示になります。

ベリファイチュウ...

X X X X X



ヒント

スキャン中に設定した枚数を越えたときや、設定した枚数に達しないでスキャンが終了したときにエラーを表示します。

設定した枚数でスキャンが終了しないとき

マイスイカ イッチ シマセン

U 0 0 1

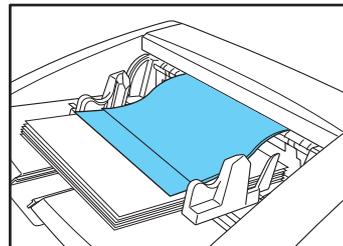
設定した枚数より少ない枚数でスキャンが終了したとき

マイスイカ イッチ シマセン

U 0 0 2

重送検知機能

原稿が重なって搬送されたことを検知します。重送検知には原稿の長さの比較と、超音波による原稿の隙間の検知による2つの検知方法があり ISIS/TWAIN ドライバーによって設定します。



重要

- 重送を検知したときは、原稿を排紙口まで搬送して停止します。
- 重送を検知したときのメッセージは、ISIS/TWAIN ドライバーの「継続モード」の設定により異なります。詳細については「[重送を検知したときの処理](#)」(→ P.56) を参照してください。

シ ユソウヲ ケンチシマシタ

D 0 0 4

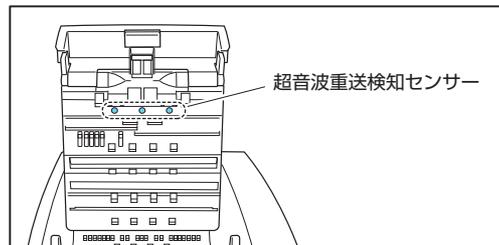
- カウントオンリーモード時の重送検知はユーザーモードで設定し、「超音波重送検知」で重送を検知します。
「[重送検知の設定](#)」(→ P.69)

原稿の長さで重送を検知

サイズの同じ原稿の束をスキャンする際に有効な検知方法で、1枚目の原稿の長さを基準として基準の長さより50mm以上長い、または短い原稿を検知したときに重送と判断して搬送を停止させます。

超音波重送検知

サイズの異なる原稿の束をスキャンする際に有効な検知方法で、重なって搬送された原稿を原稿の隙間を超音波で検知したときに重送と判断して搬送を停止させます。



重要

- 超音波重送検知は、原稿の重なりが 50mm 以上ある場合に有効です。
- 静電気などにより原稿が密着しているようなときは、超音波による重送検知が正常に機能しない場合があります。
- 付箋紙やラベルなどの隙間を重送として誤検知するようなときは、ISIS/TWAIN ドライバーの設定によって非検知領域を設定することができます。

重送リトライ機能

超音波重送検知で重送を検知した時に原稿を逆送させてスキャンをやり直す機能で、ユーザーモードで設定します。[「重送リトライ回数の設定」](#) (→ P.69)

斜行検知機能

長い原稿が斜行した場合、原稿が給紙口や搬送路の端に接触して原稿が破損することがあります。

本スキャナーは、斜行した原稿が搬送路の端に接触したことを検知したときにエラーメッセージを表示して搬送を停止させます。

シャコウラ ケンチシマシタ

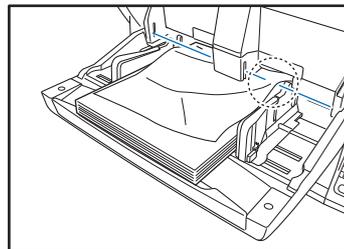
J 0 1 8

重要

- 原稿が搬送路の端に当たらない場合、斜行してもセンサーには検知されません。
- ISIS/TWAIN ドライバーには、画像から原稿の斜行を検知して、画像をまっすぐに補正する斜行補正機能があります。

ステーブル検知機能

ステーブル検知は、ステーブルで綴じられた原稿が給紙されたときに発生する原稿の跳ね上がりを給紙口の両側にあるセンサーで検知して搬送を停止させます。



ステーブル ケンチシマシタ

J 0 0 1

重要

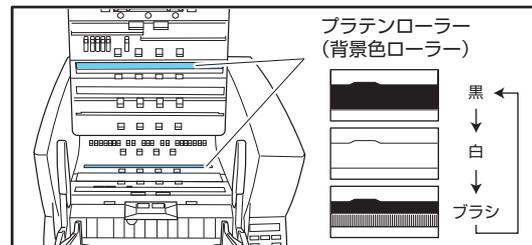
- ステابل検知は原稿の4 隅の1 箇所だけが綴じられている場合に発生する原稿の跳ね上がりを検知します。
- 以下の場合、原稿の跳ね上がりが発生しないためステابل検知が正常に動作しないことがあります。
 - 2 箇所以上綴じられた原稿
 - A5 サイズより小さい原稿
 - 左右の原稿ガイドの位置を変えて、原稿が右または左に寄っている場合
「原稿ガイドの調整」(→ P.35)
- ステابل検知の光路にあるガラスを汚さないように注意し、ガラスが汚れている時はガラスの汚れを拭き取ってください。

ヒント

- ステابل検知は、ISIS/TWAIN ドライバーによって設定し、ユーザーモードで検知精度を設定します。
「ステابل検知レベルの設定」(→ P.70)
- カウントオンリーモード時のステابل検知はユーザーモードで設定します。
「ステابل検知の設定」(→ P.69)

背景色設定

スキャンした画像の回りにできる背景色の色(白または黒)を設定します。背景色は白と黒に分けられたプラテンローラーの回転によって変更し、ISIS/TWAIN ドライバーで背景色を指定します。

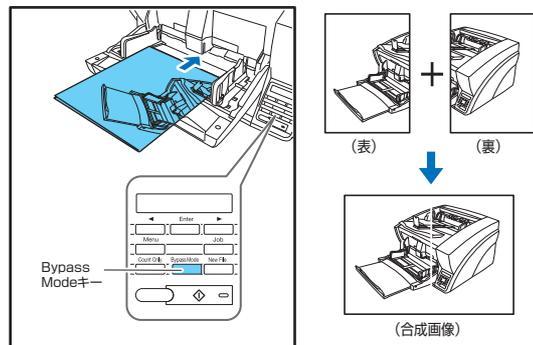


重要

背景色の色によって設定できる画像処理機能が異なります。

半折りスキャン

半折りスキャンは、大判の原稿（最大サイズ：A1）を半分に折った状態で両面スキャンを行い、スキャンした表裏の画像を1枚の画像に合成します。



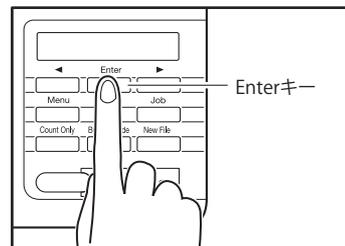
! 重要

- 半折りスキャンは、手差し給紙（Bypass Mode キーが点灯）で1枚ずつ給紙します。
- 原稿の折り目はしっかり付けてください。原稿の折り目によっては紙詰まりや画像のズレの原因になります。
- 原稿の折り目や原稿をセットした位置のズレなどにより、画像を合成したときのつなぎ目は残ります。
- おもて面の画像が合成された画像の左半分になります。
- 半折りスキャンできる原稿の最大サイズは A1 サイズの原稿です。
- A1 サイズの原稿は縦長で半折りにし、以下の設定でスキャンを行います。
スキャナー：長尺モード [ON1]
用紙サイズ：自動サイズ検知

- 読み取りモード、解像度の設定によっては画像が欠けることがあります。このような時は、解像度を低くしたり、カラーのときは白黒にしてスキャンしてください。

キー操作の制限

[Enter] キーを約 5 秒間長押しすることにより、キー操作を無効にすることができます。



ハ° ネル ソウサ ムコウ
OK [キャンセル]

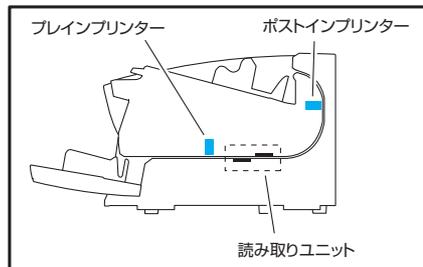
[◀] キーを押して [OK] を選択し、[Enter] キーを押すとキー操作が無効になります。

! 重要

- キー操作を有効にするときは、再度 [Enter] キーを約 5 秒間長押しして、キーの操作を確認します。または、スキャナーの電源を入れ直します。
- スキャナーの電源を入れ直すときは、電源をオフした後、10 秒間待ってから電源をオンにしてください。

インプリンター（オプション）

本機のインプリンターは、スキャン前の原稿に任意の文字列を印字する「プレインプリンター」と、スキャンした後の原稿に任意の文字列を印字する「ポストインプリンター」がオプションで用意されています。詳細については、お買い求めの販売店または、担当サービスにお問い合わせください。



ヒント

- 印字する文字列や印字位置は、ISIS/TWAIN ドライバーで指定します。
- ポストインプリンターを装着しない場合でも、設定した文字列を画像にアドオンすることができます。

ユーザーモード

ユーザーモードは、本機の機能の一部をユーザーが任意に変更することができる機能です。

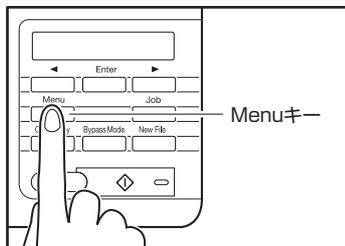
ユーザーモードの操作手順

ユーザーモードは以下の手順で操作します。

ヒント

ユーザーモードの機能によっては操作手順が異なります。詳細については、それぞれの該当ページを参照してください。

1 操作パネルの「MENU」キーを押します。



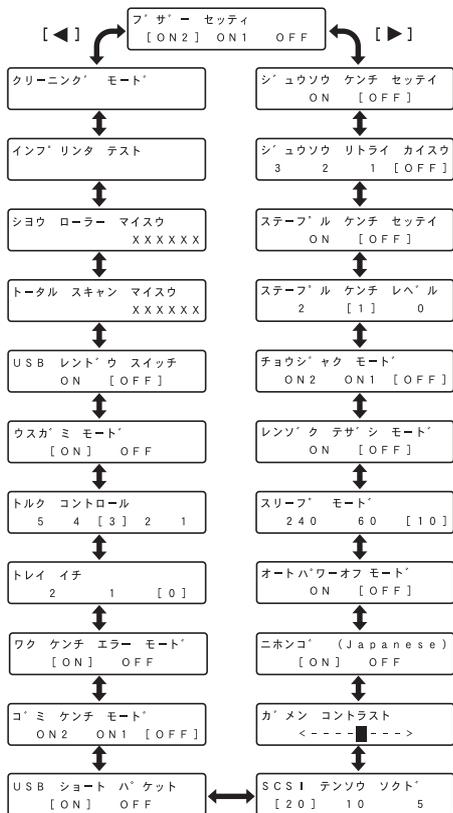
ユーザーモードになります。

```
フ ザ ー セ ッ テ ィ  
[ ON 2 ] ON 1 OFF
```

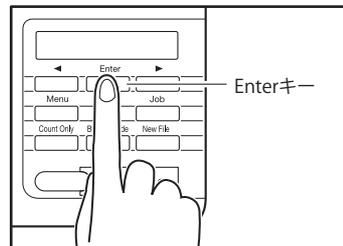
2 [◀], [▶] キーを押してユーザーモードを選択します。

```
チ ョ ウ シ ャ ク モ ー ト  
ON 2 ON 1 [ OFF ]
```

ユーザーモードは次の順に表示されます。



3 [Enter] キーを押します。



[] が点滅して設定モードになります。



4 [◀]、[▶] キーで選択し、[Enter] キーで確定します。



ユーザーモードの機能

ユーザーモードには以下の機能があります。

ブザーの設定

フ ザ ー セ ッ テ ィ
[ON 2] ON 1 OFF

操作パネルのキーを押したときや、本機がエラーを起こしたときにブザーを鳴らします。

ON2: スキャナーがエラーの時にブザーを鳴らします

ON1: スキャナーエラーと操作パネルのキーを操作したときにブザーを鳴らします

OFF: ブザー音なし

重送検知の設定

シ ュ ウ ソ ウ ケ ン チ セ ッ テ ィ
ON [OFF]

カウントオンリーモード時の重送検知機能の有効 / 無効を設定し、[ON] にするとカウントオンリーモードで搬送中の重送検知を有効にします。

重送検知機能については「[重送検知機能](#)」(→ P.62) を参照してください。

重送リトライ回数の設定

シ ュ ウ ソ ウ リ ト ラ イ カ イ ス ウ
3 2 1 [OFF]

重送リトライは超音波重送検知で重送を検知したときに、搬送を停止させる前に原稿を給紙口まで戻してスキャンをやり直す機能です。

! 重要

- リトライ回数を設定し、設定した回数リトライを実行しても重送を検知する場合は、メッセージを表示し、原稿を排紙口まで搬送して停止させます。
- スキャナー本体で重送リトライ回数を OFF 以外に指定した場合、プレインプリンターによる印字はできません。

ステープル検知の設定

ス テ ー プ ル ケ ン チ セ ッ テ ィ
ON [OFF]

カウントオンリーモード時のステープル検知を設定します。

ステープル検知機能については「[ステープル検知機能](#)」(→ P.63) を参照してください。

ON : カウントオンリーモード時にステープルを検知します。

OFF : カウントオンリーモード時にステープルを検知しません。

ステーブル検知レベルの設定

ステーブル	検知	レベル
2	[1]	0

ステーブル検知の感度を設定します。

出荷時は [1] (標準) に設定され、[2] で感度を強く、[0] で感度を弱く設定します。

長尺モードの設定

チョウシヤク	モード
ON2	ON1 [OFF]

用紙サイズを自動検知にしてスキャンしたときに、3,000mm までの長さの原稿を検知してスキャンできるようにします。

[「長尺モードの設定」](#) (→ P.31)

ON2 : 3,000mm までの長さの原稿を自動検知でスキャンできます。

ON1 : 1,000mm までの長さの原稿を自動検知でスキャンできます。

OFF : 432mm までの長さの原稿を自動検知でスキャンできません。

ヒント

自動検知でスキャンできる長さを越える原稿を搬送したときは紙詰まりで搬送を停止します。

連続手差しモードの設定

レンズ	テサシ	モード
ON	[OFF]	

ピックアップローラーによる原稿の引き込みを無効にし、セットした原稿の束を作業者が 1 枚ずつ手で送り込みます。

[「連続手差しモード」](#) (→ P.40)

ON : ローラーによる原稿の引き込みを無効にします。

OFF : ピックアップローラーで原稿を引き込みます。

スリープモードの設定

スリープ	モード
240	60 [10]

スキャナーを放置してからスリープモードに移行するまでの時間 (240 分、60 分、10 分) を選択します。

自動電源オフ機能の設定

オート	パワーオフ	モード
ON	[OFF]	

自動電源オフ機能を設定します。オンにすると、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過したときに自動的に本機の電源がオフになります。

オン : 自動電源オフ機能を有効にします。

オフ : 自動電源オフ機能を無効にします。

表示言語の設定

ニホンコゝ (J a p a n e s e)
[ON] OFF

パネルに表示させる言語（日本語 / 英語）を設定します。

ON : パネルを日本語表示にします

OFF : パネルを英語表示にします

画面コントラストの調整

カゝ メン コントラスト
< - - - - █ - - - - >

表示パネルのコントラストを調整します。

SCSI 転送速度の設定

S C S I テンソウ ソクトゝ
[2 0] 1 0 5

SCSI の転送速度を設定します。

SCSI の転送速度の初期値は [20] (20MByte/sec.) に設定されており、初期値の設定でスキャナーが正常に動作しない場合に転送速度を [10] (10MByte/sec.) または [5] (5MByte/sec.) に下げて使用します。

USB ショートパケットの設定

U S B ショート ハゝ ケット
[ON] OFF

USB インターフェースで使用し、スキャナーが正常に動作しないときに [OFF] に設定を変更します。

ゴミ検知モードの設定

コゝ ミ ケンチ モードゝ
ON 2 ON 1 [OFF]

スキャン開始時に読み取りガラスに付着しているゴミの有無を検知し、センサーの位置を前後に移動させることによりスキャンした画像へのゴミの写り込み（縦スジ）を回避します。

ON2 : エラーメッセージを表示して停止します。（スキャン不可）

ON1 : 通常表示とエラーメッセージを交互に表示します。（スキャン可）

OFF : ゴミの検知を無効にします。

！ 重要

ゴミ検知のエラーメッセージの表示または、通常の表示とゴミ検知のメッセージが交互に表示されているときは、読み取りガラスの清掃を行ってください。

枠検知エラーモード設定

ワク	ケンチ	エラー	モード*
[ON]		OFF	

[ON] に設定すると、画像の用紙サイズを正しく検知できないときにエラーメッセージを表示します。

正しい検知ができないときには、センサーに異常が発生している場合があります。

! 重要

- エラーメッセージが表示されるときは、センサーガラスと読み取りガラスの清掃を行ってください。[「ガラスの清掃」](#) (→ P.79)
- ガラスの清掃を行っても正常に画像をスキャンできないときは、ガラスにキズが付いている場合があります。このようなときは、お買い求めの販売店または、担当サービスに連絡してください。

トレイ位置の設定

トレイ	イチ
2	1 [0]

原稿台の基準位置をセットする原稿の量 (100 枚、300 枚、500 枚) に合わせて設定します。[「給紙トレイの準備」](#) (→ P.33)

- 0 : 500 枚以下
1 : 300 枚以下
2 : 100 枚以下

分離トルクの設定

トルク	コントロール
5	4 [3] 2 1

リタードローラーの磨耗などで原稿の分離性能が低下したときや、薄紙など、搬送性が悪い原稿を搬送する際にリタードローラーのトルクを調整します。出荷時は [3] (標準) に設定され、厚紙や滑りの悪い原稿などのスキャンでトルク強くするときは、[4] または [5] に設定します。薄紙などのスキャンでトルクを弱くするときは [2] または [1] に設定します。

薄紙給紙設定

ウスガ*	ミ	モード*
[ON]		OFF

オプションの薄紙対応キット (DR-X10C 用) がインストールされているときに表示されます。[ON] に設定すると通常より薄い紙の原稿を搬送することができます。薄紙対応キット (DR-X10C 用) の性能を十分に発揮させるため、基本的には [ON] に設定してお使いください。[「薄紙対応キット \(DR-X10C 用\) 仕様」](#) (→ P.112)

薄紙対応キット (DR-X10C 用) の詳細については、お買い求めの販売店または、担当サービスにお問い合わせください。

USB 連動スイッチの設定

USB レントウ スイッチ
ON [OFF]

USB ケーブルで接続したときに、コンピューターの電源のオン / オフに連動してスキャナーの電源をオン / オフさせます。

「電源スイッチについて」(→ P.28)

ON : コンピューターの電源のオン / オフに連動して、スキャナーの電源がオン / オフします。

OFF : コンピューターの電源スイッチに連動しません。

トータルスキャン枚数

トータル スキャン マイスウ
XXXXXXXX

本機が用紙を搬送した総枚数を表示します。

使用ローラー枚数

シヨウ ローラー マイスウ
XXXXXXXX

給紙ローラー (ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー) を交換し、カウンターをリセットしてからの搬送枚数を表示します。「カウンター (搬送枚数) の確認とリセット」(→ P.89)

インプリンターテスト

インフ リンタ テスト

オプションのインプリンターが搭載されているときに、インプリンターの印字テストを実行します。「インプリンターテスト」(→ P.97)

クリーニングモード

クリーニング モード

クリーニングシートを使用してローラーのクリーニングを実行します。「クリーニングシートによるローラーの清掃」(→ P.77)

メンテナンス

日常のお手入れ

本機の読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

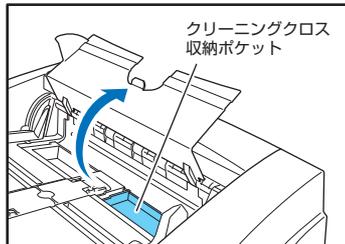
⚠ 注意

- 清掃の際は、スプレー容器は使用しないでください。精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり溶解する恐れがあり、故障の原因になります。
- 上部ユニットを開閉するときは手をはさまないように注意してください。

本体の清掃

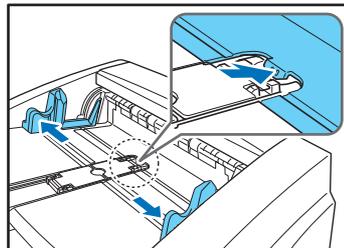
クリーニングクロスについて

本機に同梱されているクリーニングクロスは、本体の内部の清掃の際に使用してください。クリーニングクロスを使用しないときは、インプリンターカバーの内側のポケットに収納できます。



! 重要

- インプリンターカバーを開くときは、原稿ガイドを両側いっぱいを開き、矢印部を指で押し込んでロックを外してから開きます。閉じる際も同様に矢印部を指で押し込んでインプリンターカバーをロックします。



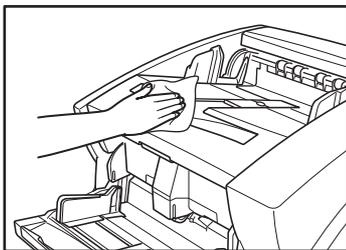
- インプリンターカバーを閉じたとき、インプリンターカバーがロックされて開かないことを確認してください。インプリンターカバーが開いているとエラーが表示されます。

カバー アイテムス

C 0 0 9

本体表面の清掃

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



給紙口、搬送路の清掃

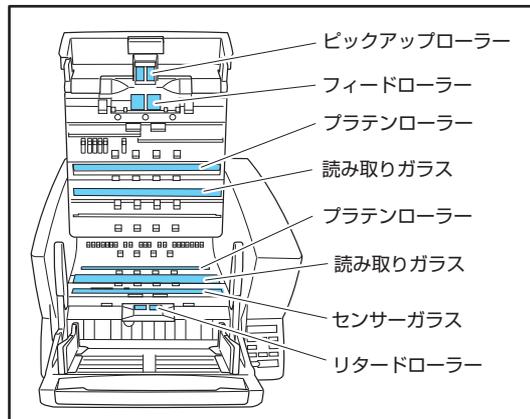
給紙口や本体内部の搬送路にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。給紙口や搬送路にたまったほこりや紙粉はブローアなどを使って定期的に取り除いてください。

また大量の原稿をスキャンした後は、必ず紙粉の除去を行なってください。

ガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にあるガラスや搬送ローラーが汚れている可能性があります。

主なガラスとローラーは以下の通りです。



清掃については、以下のページを参照してください。

- 読み取りガラス、センサーガラス「[ガラスの清掃](#)」(→ P.79)
- プラテンローラー「[プラテンローラーの清掃](#)」(→ P.80)
- ピックアップローラー、フィードローラー
「[ピックアップローラーとフィードローラーの清掃](#)」(→ P.81)
- リタードローラー「[リタードローラーの清掃](#)」(→ P.85)

上記以外のローラーの清掃は、クリーニングシートを使い、ユーザーモードの「クリーニングモード」で行います。「[クリーニングシートによるローラーの清掃](#)」(→ P.77)

上部ユニットの開閉

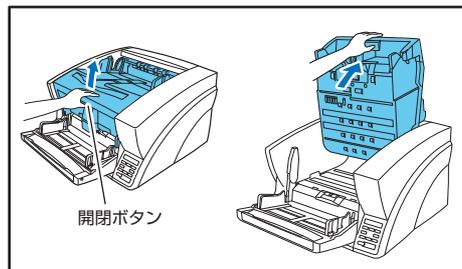
本体の内部を清掃する際、上部ユニットの開閉は以下の手順で注意して行ってください。

⚠ 注意

上部ユニットを開閉するときは手をはさまないように注意してください。

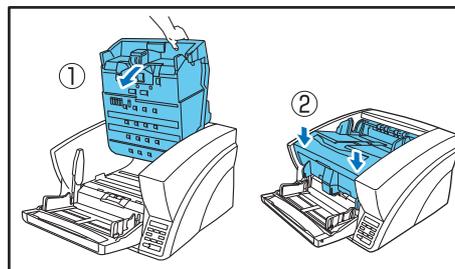
上部ユニットの開き方

開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。



上部ユニットの閉じ方

上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押し、確実に閉じたことを確認してください。(②)



💡 ヒント

上部ユニットが開いているとエラーが表示されます。

カハ[^]ーカ[^] アイテマス

C 0 0 1

クリーニングシートによるローラーの清掃

搬送路にあるローラーはクリーニングシートを使用し、ユーザーモードの「クリーニングモード」で清掃を行います。

ヒント

- クリーニングシートは、1枚のシートで片面のローラーのクリーニングを数回実行できます。
- クリーニングシートは消耗品です。詳細についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

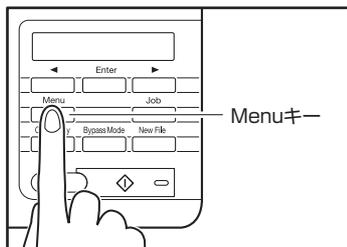
商品名：クリーニングシート (30 シート入り)

商品コード：2418B002

クリーニングモードの実行

「クリーニングモード」は以下の手順で実行します。

- 1 操作パネルの「MENU」キーを押します。



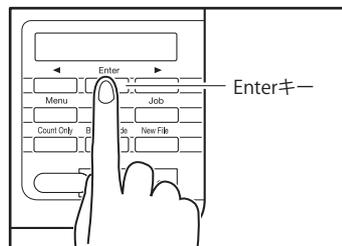
ユーザーモードの表示になります。

フ ` サ ` - セ ッ テ ィ
[ON 2] ON 1 OFF

- 2 [◀] キーを1回押して「クリーニングモード」を表示させます。

ク リ ー ニ ン グ ` モ ー ド `

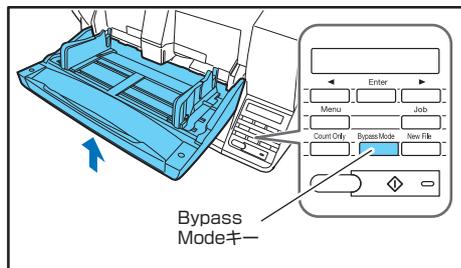
- 3 [Enter] キーを押します。



クリーニングモードになります。

ク リ ー ニ ン グ ` モ ー ド `
OK [キ ャ ン セ ル]

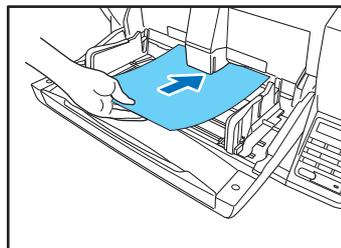
- 4** [◀] キーを押して [OK] を選択し、[Enter] キーを押します。
[Bypass Mode] キーが点灯し、原稿台が上昇して待機状態になります。



シートヲ イレテクダサイ

- 5** クリーニングシートの剥離紙をはがします。

- 6** クリーニングシートの粘着面を上にして、給紙口に挿入します。



クリーニングシートを搬送してクリーニングモードを終了します。

クリーニングモード

- 7** クリーニングシートの汚れを確認します。

- 8** クリーニングシートをセットする位置をずらし、手順 3 ~ 6 を繰り返して、同じ面でのクリーニングを数回実行します。

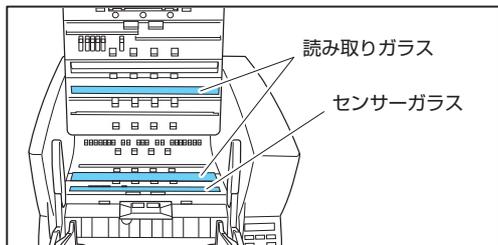
- 9** 新しいクリーニングシートを用意し、反対側の面の清掃を同様に行います。

! 重要

- 粘着面を下にしたときは、給紙トレイに触れないように浮かした状態で給紙口に挿入してください。
- クリーニングシートで除去できないような汚れは、水を含ませて固くしぼった布で汚れを取り除きます。

ガラスの清掃

本機には、原稿を検知するためのセンサーガラスと、読み取りガラスの 2 種類のガラスがあります。



ヒント

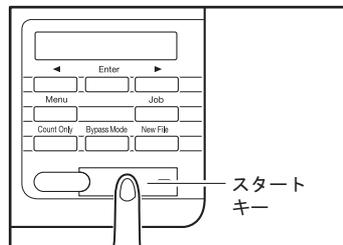
- スキャンした画像にすじが入るときは読み取りガラスが汚れている可能性があります。
- 読み取りガラスの清掃は、ガラスの下にあるランプを点灯させ、ガラスの汚れが見えるようにしてからガラスの汚れを拭き取ります。

重要

読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店または、担当サービスに連絡して読み取りガラスを交換してください。

1 上部ユニットを静かに止まるところまで開きます。

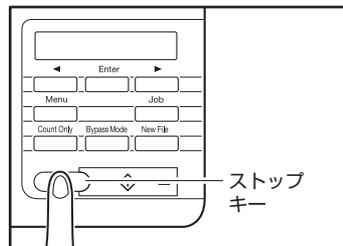
2 上部ユニットを開き、操作パネルのスタートキーを約 2 秒間押し続けます。



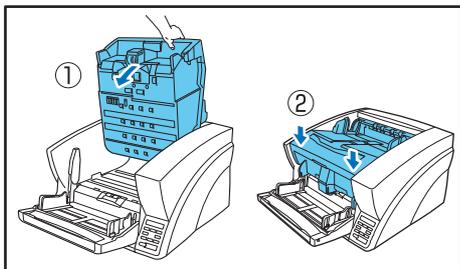
読み取りガラスの下にあるランプが点灯します。

3 きれいな乾いた布で、ガラスの汚れを拭き取ります。

4 ストップキーを押してランプを消灯します。



- 5** 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)



プラテンローラーの清掃

プラテンローラーは上下の読み取りガラスの対面に位置し、原稿の背景色（白または黒）の設定と、スキャン前のローラーの回転によりブラシで読み取りガラスのゴミの除去を行います。

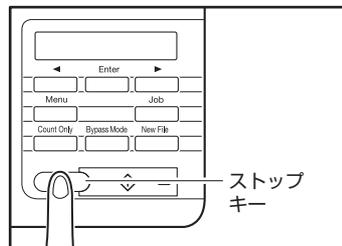
以下の手順にしたがってプラテンローラーの清掃を定期的におこなってください。

ヒント

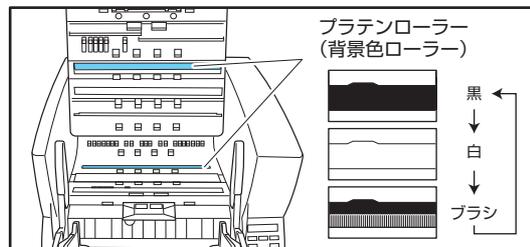
プラテンローラーの清掃は、ローラーを3段階に回転させて汚れを拭き取ります。

- 1** 上部ユニットを静かに止まるところまで開きます。

- 2** 操作パネルのストップキーを約2秒間押し続けます。



ストップキーを押すごとに上下のプラテンローラーが、黒→白→ブラシの順に回転します。



重要

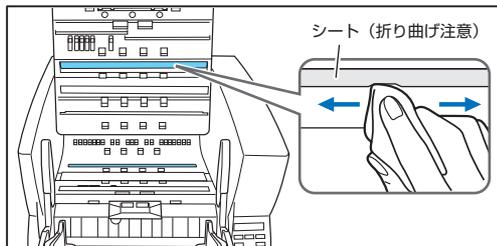
- プラテンローラーを回転させているときは、ローラーには手を触れないでください。
- プラテンローラーは、必ずストップキーを押して回転させてください。手で無理やり回転させると故障の原因になります。

- 3** 黒と白の部分は、水を染み込ませ固くしぼった布を横に動かしてローラーの汚れを拭き取ります。

! 重要

清掃する際に、ローラーの上に掛かっているシートを折り曲げないように注意してください。

下側のプラテンローラーの場合、シートの位置はローラーの手前になります。

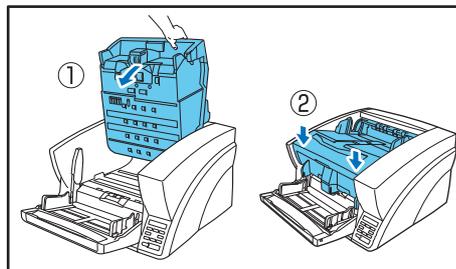


- 4** ブラシの部分は、ブラシにたまっている汚れを綿棒など柔らかいもので取り除き、下に落ちた汚れも清掃します。

! 重要

ブラシを清掃する際に、ブラシの毛を折り曲げないように注意してください。ブラシの毛を折り曲げた場合、清掃能力が低下します。

- 5** 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)



ピックアップローラーとフィードローラーの清掃

ピックアップローラーとフィードローラーの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

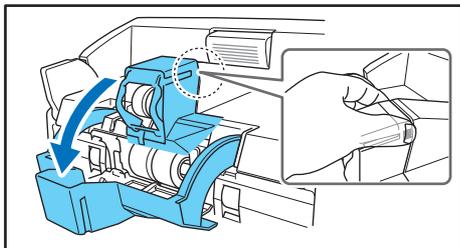
! 注意

ローラーの取り外し、取り付けを行うときはには、ローラーに無理な力を加えないでください。ローラーの変型による搬送エラーの原因になります。

ピックアップローラーとフィードローラーの取り外しと清掃

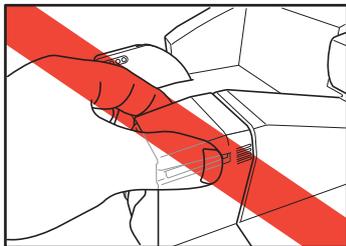
- 1** 上部ユニットを静かに止まるところまで開きます。

2 ローラーカバーを下図のように持ち、手前に倒します。

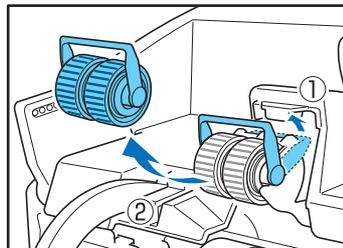


! 重要

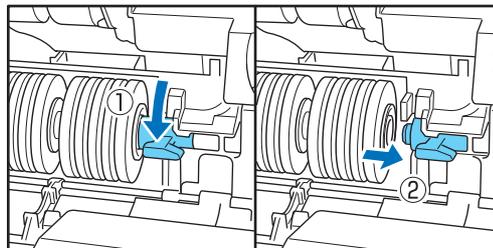
ローラーカバーを開閉する際、ガラスの部分（ステープル検知の光路）を持たないように注意してください。ガラスが汚れるとステープル検知の精度が低下します。



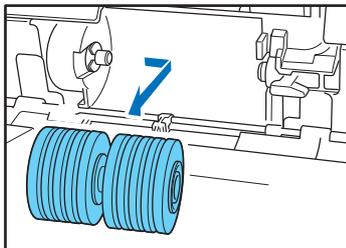
3 ピックアップローラーの固定レバーを手前に起こし①、ピックアップローラーを取り外します②。



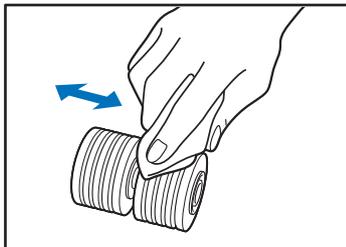
4 ローラー固定レバーを①→②の順に動かします。



- 5** フィードローラーを取り外します。

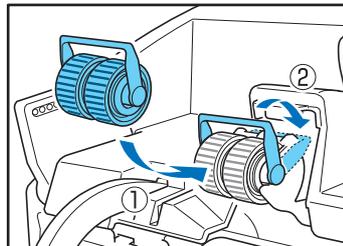


- 6** 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭きとります。

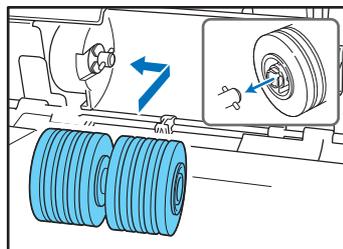


ピックアップローラーとフィードローラーの取り付け

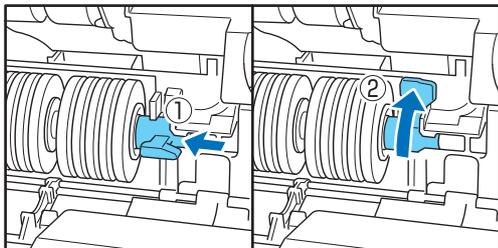
- 1** ピックアップローラーをセットし①、固定レバーを奥に倒してピックアップローラーを固定します②。



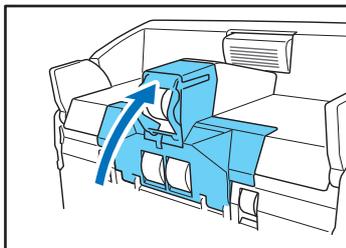
- 2** ローラーの軸の切り欠き部を本体の軸に合わせて、フィードローラーをセットします。



- 3** ローラー固定レバーを ① → ② の順に動かして、フィードローラーを固定します。

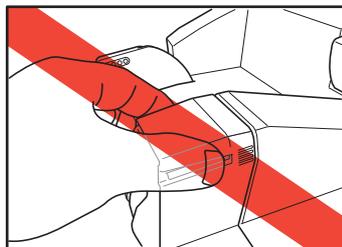


- 4** ローラーカバーを開めます。カチッと音がしてカバーが元の位置に戻ったことを確認します。

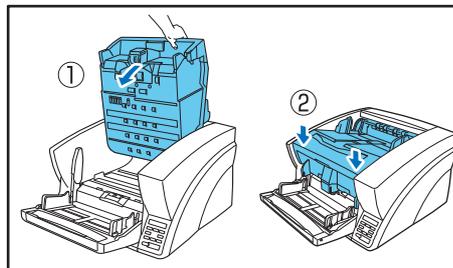


! 重要

ローラーカバーを開閉する際、ガラスの部分（ステープル検知の光路）を持たないように注意してください。ガラスが汚れるとステープル検知の精度が低下します。



- 5** 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)



リタードローラーの清掃

リタードローラーの清掃および交換の際は、以降の手順にしたがってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

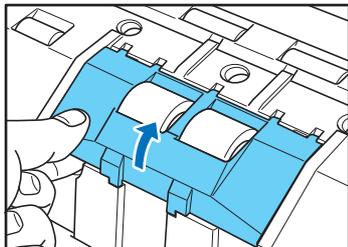
⚠ 注意

リタードローラーの取り外し、取り付けを行うときはには、ローラーに無理な力を加えないでください。ローラーの変型による搬送エラーの原因になります。

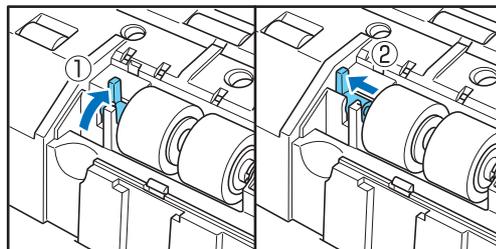
リタードローラーの取り外しと清掃

1 上部ユニットを静かに止まるまで開きます。

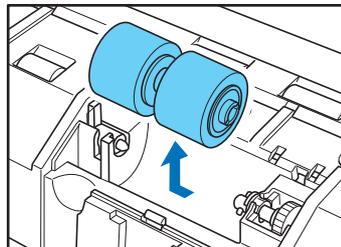
2 ローラーカバーに指をかけて取り外します。



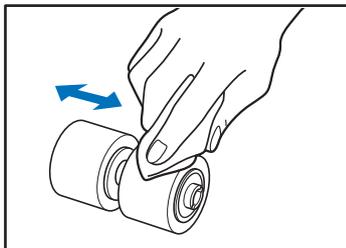
3 ローラー固定レバーを①→②の順に動かします。



4 リタードローラーを取り外します。

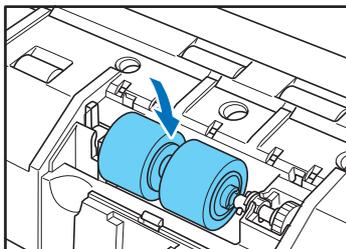


- 5** 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭きとります。

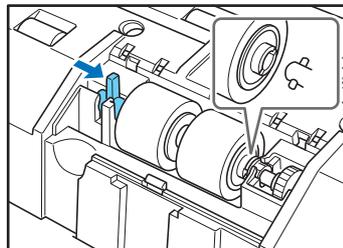


リタードロラーの取り付け

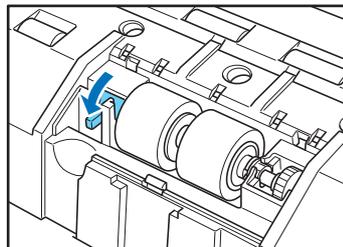
- 1** リタードロラーをセットします。



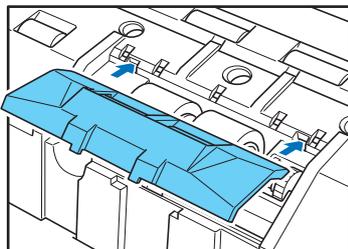
- 2** ローラーの切り欠き部を本体の軸に合わせて、ローラー固定レバーを矢印方向にスライドさせます。



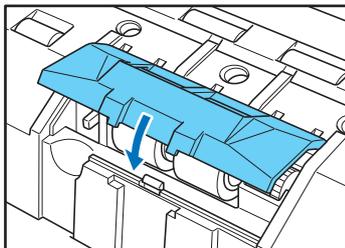
- 3** ローラー固定レバーを倒してリタードロラーを固定します。



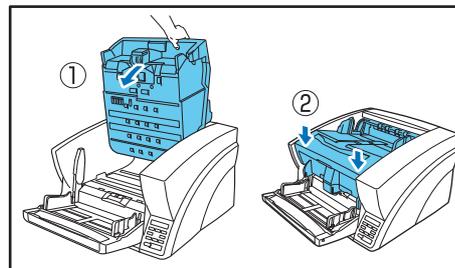
4 ローラーカバーをセットします。



5 ローラーカバーの手前を押し込み、カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



6 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押し込んで確実に閉じたことを確認してください。(②)



給紙ローラーの交換

給紙ローラーが磨耗してくると、搬送性能が低下して紙詰まりなど原稿の搬送エラーが起きやすくなります。ローラーの清掃を行っても原稿の搬送エラーの発生が改善されないようなときは、交換ローラーキットをお買い求めになり給紙ローラー（ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー）を交換してください。

ローラーの交換時期

給紙ローラーは消耗品で、搬送枚数 50 万枚を目安に交換が必要になります。ローラーの搬送枚数が 50 万枚を越えた場合、スキャナーの電源をオンにしたときにローラー交換のメッセージがパネルに表示されます。また、コンピューターを再起動してスキャナーを認識したときにコンピューターの画面にもローラー交換のメッセージが表示されます。

ローラー コウカンシ' キテ' ス

! 重要

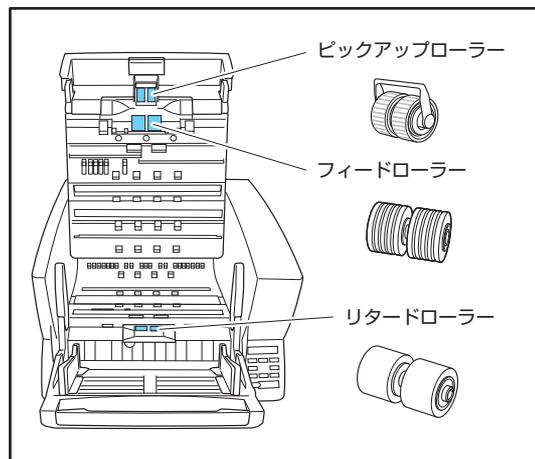
- ローラー交換のメッセージが表示されたら交換ローラーキットをお買い求めになり、清掃の手順に従ってローラーを交換してください。
 - ピックアップローラー、フィードローラー (→ P.81)
 - リタードローラー (→ P.85)
- ローラーが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは搬送枚数に関わらず、ローラーの交換を行ってください。
- パネルに表示されたメッセージは、ストップキーでクリアされます。ただし、ローラーカウンターをリセットするまではスキャナーの電源をオンにしたときに必ず表示されます。
- ローラーを交換したら、ローラーカウンターを必ずリセットしてください。「カウンター（搬送枚数）の確認とリセット」(→ P.89)

交換ローラーキットについて

交換ローラーキットは、ピックアップローラー、フィードローラーとリタードローラーの交換用キットです。詳細についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

商品名：交換ローラーキット

商品コード：2418B001



❗ 重要

オプションの薄紙対応キット (DR-X10C 用) をインストール後に給紙ローラーを交換する場合は、専用の薄紙対応キット用交換ローラー (商品コード: 2418B013) をお使いいただく必要があります。
給紙ローラーを交換する際は、事前にお使いのオプションをご確認ください。

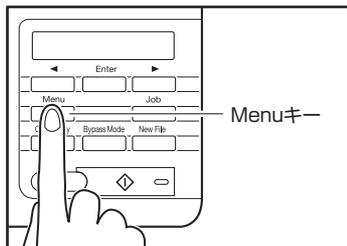
カウンター (搬送枚数) の確認とリセット

使用中のローラーのカウンターは、ユーザーモードの「シヨウローラー マイスウ」で確認とリセットを行います。

❗ 重要

- 「シヨウ ローラー マイスウ」は、交換したローラーの搬送枚数をカウントします。ローラーを交換したときは、カウンターのリセットを必ず行ってください。
- 「トータル スキャン マイスウ」は、搬送した原稿の累計枚数を表示し、「トータル スキャン マイスウ」はリセットできません。

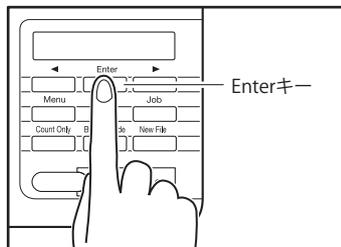
1 操作パネルの「MENU」キーを押してユーザーモードに入ります。



2 [◀] キーを2回押して [シヨウ ローラー マイスウ] を表示させます。

シヨウ ローラー マイスウ
5 0 1 0 2 9

3 ローラーの搬送枚数を確認し [ENTER] キーを押します。



カウンターのリセットモードになります。

シヨウ ローラー マイスウ
リセット [キャンセル]

4 [◀] キーを押して [リセット] を選択し、[Enter] キーを押します。カウンターが0にリセットされます。

シヨウ ローラー マイスウ
0

5 [STOP] キーを押してユーザーモードを終了します。

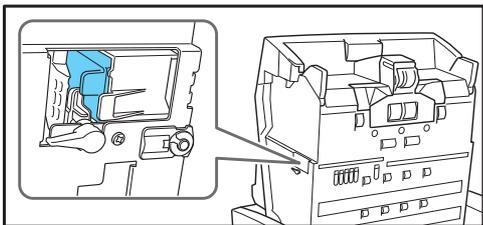
インクカートリッジの交換と清掃（インプリンターをお使いの場合）

オプションのインプリンターをお使いの場合、インクが消耗すると印字が擦れたり印字できなくなります。インクカートリッジは予備のインクカートリッジを用意することをお勧めします。

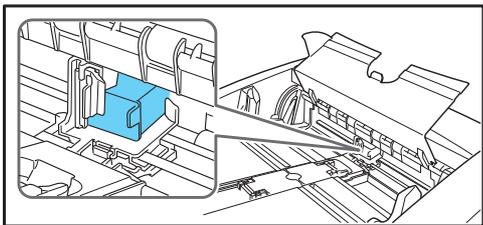
インプリンターについて

インプリンターには、スキャンする前の原稿に印字する「プレインプリンター」と、スキャンした原稿に印字する「ポストインプリンター」があり、インクカートリッジはそれぞれ以下の場所に収納されています。

● プレインプリンター



● ポストインプリンター



インクカートリッジの準備

インクカートリッジには HP 社製のインクカートリッジを使用します。詳細についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

商品名：インクカートリッジ（青）

商品コード：3693A002

商品名：インクカートリッジ（赤）

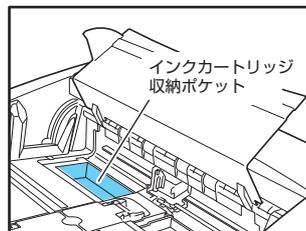
商品コード：3693A003

商品名：インクカートリッジ（緑）

商品コード：3693A004

! 重要

- 予備のインクカートリッジは、ポストインプリンターのインプリンターカバーの内側のポケットに袋に入れた状態で収納できます。



- 予備のインクカートリッジを収納するときは必ず袋に入れた状態で収納してください。袋から出して収納した場合、インクが漏れ出すこともあるので注意してください。

インクカートリッジの交換

インクカートリッジの交換は、以下の手順で行います。

❗ 重要

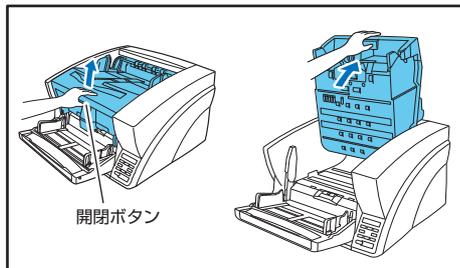
インクカートリッジを交換したら、テスト印字で印字状態を確認します。
「インプリンターテスト」(→P.97)

インクカートリッジの交換 (プレインプリンター)

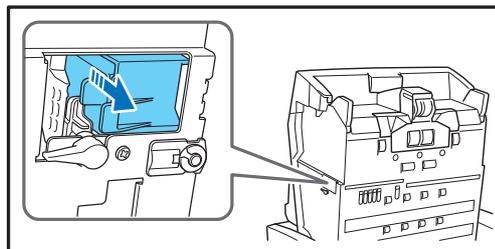
❗ 重要

上部ユニットを開くと、プレインプリンターのキャリッジがインクカートリッジの着脱口まで移動します。そのため、プレインプリンターのカートリッジを交換するときは、本体の電源をオンにした状態で行います。

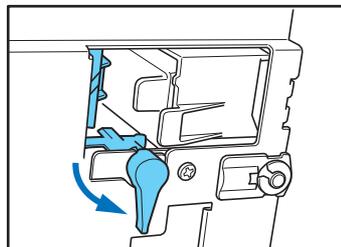
- 1 開閉ボタンを押しながら、上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。



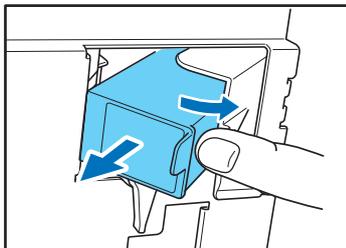
キャリッジが着脱口まで移動します。



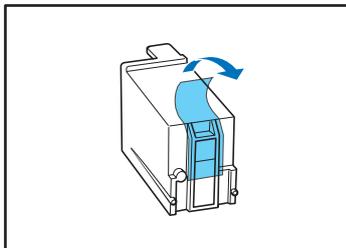
- 2 ロックレバーを下げます。



3 キャリッジを開いてインクカートリッジを取り出します。

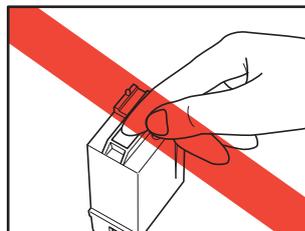


4 新しいインクカートリッジの吐出部を覆っているシールを剥がします。

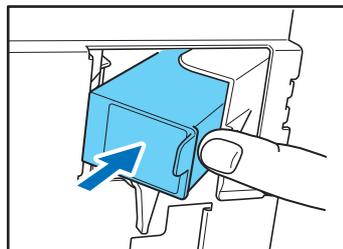


! 注意

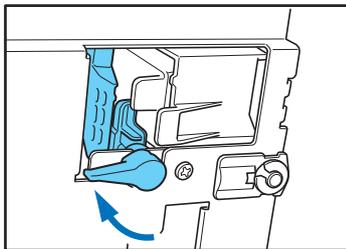
インクカートリッジの吐出部を覆っているシールは、使用するまで剥がさないでください。また、インクカートリッジの接点やインクの吐出部には絶対に触らないでください。



5 キャリッジを開いて新しいインクカートリッジをセットします。



6 ロックレバーを上げてインクカートリッジを固定します。



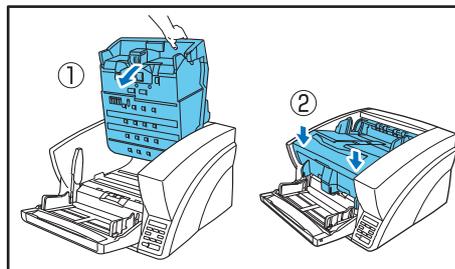
! 重要

- ロックレバーを上げる前にキャリッジを押し込んだ場合、ロックレバーが上がらなくなります。このようなときは、上部ユニットを一度閉じてから上部ユニットを開いてください。キャリッジが着脱口まで戻ります。
- ロックレバーでインクカートリッジが固定されていない場合、上部ユニットを閉じたときに「インプリンタエラー：H008」が表示されます。上部ユニットを開きロックレバーでインクカートリッジを固定してください。

インプ° リンタエラー

H 0 0 8

7 上部ユニットを静かに閉じます (①)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください。(②)

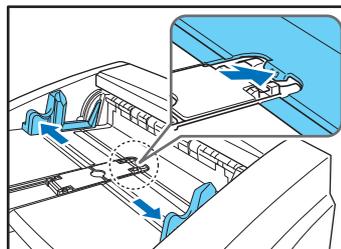


インクカートリッジの交換 (ポストインプリンター)

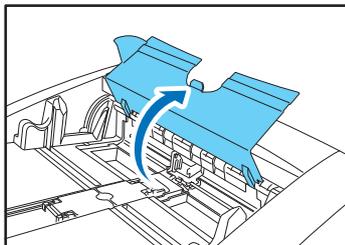
ポストインプリンターのインクカートリッジの交換は、以下の手順で行います。

1 原稿ガイドをインプリンターカバーから外れる位置まで開きます。

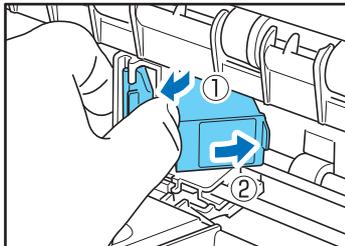
2 インプリンターカバーの矢印部を指で押し込んでロックを外します。



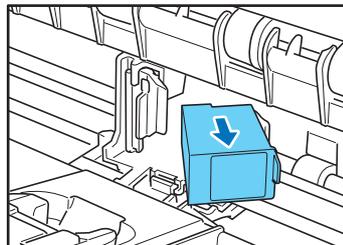
3 インプリンターカバーを開きます。



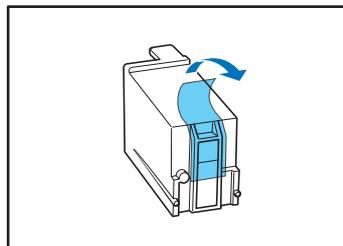
4 ロックレバーを手前に引いて ① インクカートリッジのロックを外します ②。



5 インクカートリッジを取り出します。

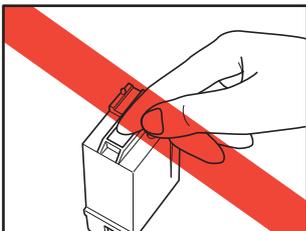


6 新しいインクカートリッジの吐出部を覆っているシールを剥がします。

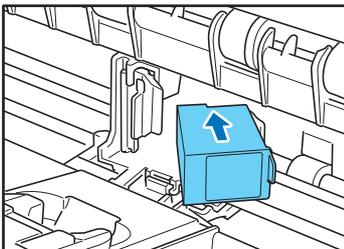


! 注意

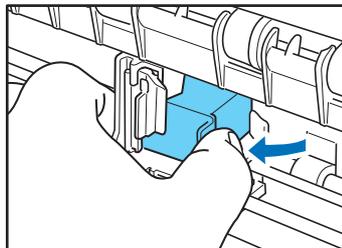
インクカートリッジの吐出部を覆っているシールは、使用するまで剥がさないでください。また、インクカートリッジの接点やインクの吐出部には絶対に触らないでください。



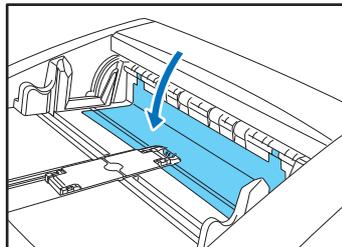
- 7** インクカートリッジの吐出部が右側にくるようにしてキャリッジにセットします。



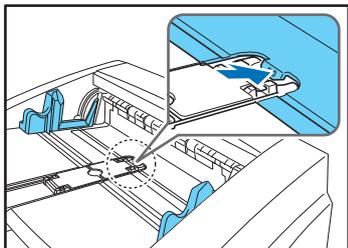
- 8** インクカートリッジを矢印の方向に「カチッ」を音がするまで押し込みます。



- 9** インプリンターカバーを静かに閉じます。



10 インプリンターカバーの矢印部を指で押し込んでロックします。



! 重要

インプリンターカバーを閉じたとき、インプリンターカバーがロックされて開かないことを確認してください。インプリンターカバーが開いているとエラーが表示されます。

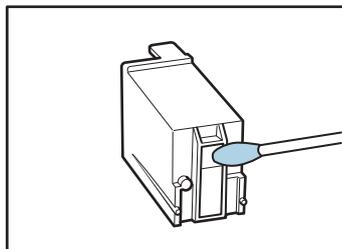
カバー カートリッジ アイテムス

C 0 0 9

インプリンターの清掃

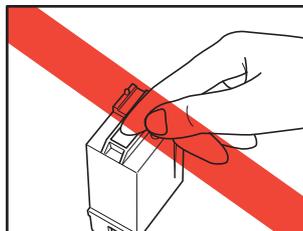
インクカートリッジの清掃

インプリンターのインクヘッドの吐出口がインクで汚れていると印字が擦れたり、原稿を汚す原因になります。インクヘッドは定期的に取り外して乾いた柔らかい布や綿棒などで清掃してください。



! 注意

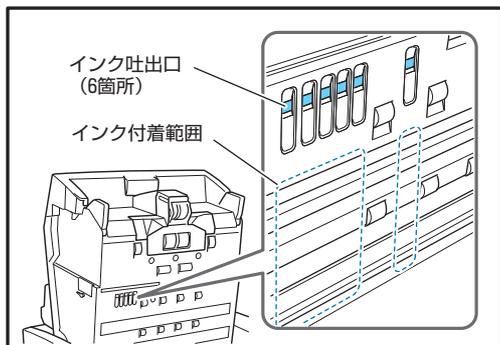
インクカートリッジの接点部には、手を触れないでください。接触不良やドット抜けの原因になります。



付着したインクの清掃 (プレインプリンター)

プレインプリンターを使用する場合、インクが乾く前に原稿が搬送されるためにプラテンローラーや読み取りガラスがインクで汚れ、画像にスジが入ったり原稿が汚れる原因になります。

プレインプリンターを使用しているときは、ローラーや読み取りガラスを含めてインクが付着している箇所を水を含ませて固くしぼった布で定期的にインクを拭き取ってください。



❗ 重要

インクを付着したままにすると、画像にスジが入ったり、原稿がよこれる原因になります。付着したインクの清掃は必ず定期的に行ってください。

- 1日に大量にスキャンする場合、10,000枚を目安に清掃を行ってください。
- 1日の終わりに定期清掃を行うことをお勧めします。

インプリンターテスト

インクカートリッジを交換したときや、インクヘッドを清掃したときにテスト印字を実行して印字を確認します。テスト印字は、ユーザーモードの「インプリンターテスト」で実行します。

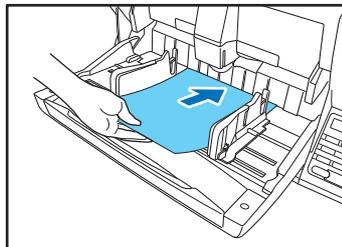
❗ 重要

「インプリンターテスト」を実行する前に、テスト印字をする用紙を用意して、給紙トレイにセットします。

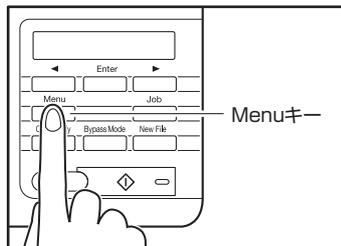
インプリンターテストの実行

「インプリンターテスト」は以下の手順で実行します。

- 1 給紙トレイに印字テストを行う用紙を1枚セットします。



- 2 操作パネルの「MENU」キーを押します。



ユーザーモードの表示になります。

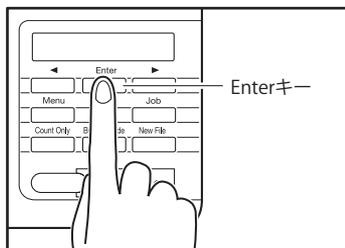
```

フ' サ' - セッティ
[ ON 2 ] ON 1 OFF
  
```

3 [◀] キーを2回押して「インプリンターテスト」にします。

インフ° リンタ テスト

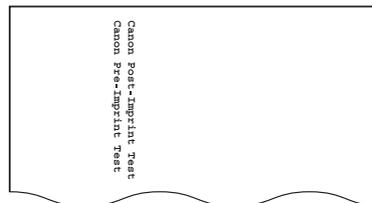
4 [Enter] キーを押します。



インプリンターテストモードになります。

インフ° リンタ テスト
OK [キャンセル]

5 [◀] キーを押して [OK] を選択し、[Enter] キーを押します。
セットされているインプリンターのテスト印字を実行して終了します。



! 重要

テスト印字をする用紙がセットされていない場合、テスト印字を実行しないで終了します。

6 [STOP] キーを押してユーザーモードを終了します。

メッセージ

表示パネルに表示されるメッセージには、スキャナーの状態を表示する「ステータス表示」と、スキャナーにトラブルが発生した時に表示する「エラーメッセージ」があります。

ステータス表示

スキャナーの状態によって表示パネルには以下のメッセージが表示されます。

● カウントチュウ...

```
カウントチュウ . . .
                    X X X X X
```

状態： カウントオンリーモードで動作中です。

● シートヲ イレテクダサイ

```
シートヲ イレテクダサイ
```

状態： クリーニングモードで、クリーニングシートの挿入を待機しています。

● スタートキーヲ オシテクダサイ

```
スタートキーヲ オシテクダサイ
```

状態： 待機中です。原稿をセットして、スタートキーを押してください。

● スキャン カノウ

```
スキャン カノウ
                    0 0 0 0 0
```

状態： スキャナーが使用可能です。

● スキャンチュウ...

```
スキャン チュウ . . .
                    X X X X X
```

状態： スキャン中です。

● スリープチュウ...

```
スリープ チュウ . . .
```

状態： スリープモードに移行しています。どれかキーを押すと復帰します。

● シバラクオマチクダサイ

```
シハ ラク オマチクダサイ
```

状態： スキャナーが処理中です。表示が変わるまでお待ちください。

● ベリファイチュウ...

ベリファイチュウ...
XXXXXXXX

状態：ベリフェイスキャン中です。

● ローラー コウカン ジキデス

ローラー コウカンシキデス

状態：使用中のローラーの搬送枚数が交換目安の 50 万枚を越えました。
ローラーの状態を確認してください。
[ローラーの交換時期] (→ P.88)

エラーメッセージ

表示パネルに以下のメッセージが表示された場合、本機にエラーが発生しています。対処方法に合わせて処理を行ってください。

インプリンター異常検知

インプリンターエラー
H001

エラーコード：H001

現象：ポストインプリンターにインクカートリッジが装着されていません。

対処：インクカートリッジを装着してください。

エラーコード：H008

現象：プレインプリンターにインクカートリッジが装着されていません または、インクカートリッジが固定されていません。

対処：インクカートリッジを装着し、レバーを上げてインクカートリッジを固定してください。(→ P.93)

カバーオープン検知

カバーオープンアイテムス
C001

エラーコード：C001

現象：上部ユニットが開いています。

対処：上部ユニットを閉じてください。(→ P.76)

エラーコード：C009

現象：インプリンターカバーが開いています。

対処：インプリンターカバーを閉じてください。
(→ P.74、P.96)

紙詰まり検知

紙詰まり検知
P001

エラーコード：Pxxx

現象：紙詰まりです。

対処：上部ユニットを開いて詰まっている原稿を取り除いてください。
(→ P.54)



ヒント

エラーコードは、詰まった原稿の位置によって変わります。

ゴミ検知

コ` ミヲ ケンチシマシタ
J 0 5 0

エラーコード：J050

現象：読み取りガラスに検知したゴミを回避できませんでした。

対処：読み取りガラスを清掃してください。(→ P.79)

ゴミ検知 (通常の表示と交互に表示)

コ` ミヲ ケンチシマシタ
X X X X X

現象：ゴミを検知した状態でスキャンをしています。

対処：スキャン終了後、読み取りガラスを清掃してください。

サービスコールエラー

サービ` ス コール エラー
E 0 0 0

エラーコード：Exxx (E021 を除く)

現象：スキャナーの内部エラーです。

対処：電源を入れ直してください。電源を入れ直してもエラーが表示される
ときにはエラーコードを控えて、担当サービスに連絡してください。
(→ P.113)

斜行検知

シャコウヲ ケンチシマシタ
J 0 1 8

エラーコード：J018

現象：原稿が斜行して搬送路の壁に接触しました。

対処：原稿を取り除いて確認してください。(→ P.54)

重送検知

シ` ユウソウヲ ケンチシマシタ
D 0 0 4

エラーコード：D002

現象：原稿の長さで重送を検知しました。

対処：排紙口まで搬送されている原稿を確認し、スキャンをやり直してください。(→ P.56)

エラーコード：D004

現象：超音波で重送を検知しました。

対処：排紙口まで搬送されている原稿を確認し、スキャンをやり直してください。(→ P.56)

重送検知（継続モード時）

シ ュウソウヲ ケンチシマシタ
[ムシスル] ヤリナオス

現象： 継続モードでスキャン中に原稿の重送を検知しました。

対処： 排紙口まで搬送されている原稿を確認し、スキャンを継続してください。（→P.54）

ステーブル検知

ステーフ° ルヲ ケンチシマシタ
J 0 0 1

エラーコード：J001

現象： ステータブルで綴じられた原稿を検知しました。

対処： ステータブルを取り除いてからやり直してください。（→P.56）

給紙トレイエラー検知

トレイ イチ エラー
E 0 2 1

エラーコード：E021

現象： 給紙トレイの動作エラーです。

対処： 電源を入れ直してください。

ベリファイカウントエラー検知

マイスウカ° イッチ シマセン
U 0 0 1

エラーコード：U001

現象： 設定した枚数でスキャンが終了しません。

対処： 原稿の枚数を確認してからやり直してください。

エラーコード：U002

現象： 設定した枚数より少ない枚数でスキャンが終了しました。

対処： 原稿の枚数を確認してからやり直してください。

困ったときは

スキャナーを使用するときに起こりうるトラブルと対処方法について説明します。

トラブルの種類

トラブルには以下のような現象が考えられます。

- 電源が入らない
- スキャナーが認識されない
- スキャナーの電源が勝手にオフになる (→ P.104)
- スキャンできない (→ P.104)
- スキャン速度が遅い (→ P.104)
- 正常に搬送されない (→ P.105)
- 保存した画像ファイルが開けない (→ P.105)
- スキャン結果がおかしい (→ P.105)

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または担当サービス、サービス窓口にご相談ください。

現象と対処方法

電源が入らない

スキャナーの電源が入らない時は最初に次のことを確認してください。

- ✓ 電源コードが正しく接続されているか？
- ✓ 電源プラグがコンセントに差し込まれているか？

その他、以下のような現象と原因が考えられます。

現象	コンピューターの電源をオンにしてもスキャナーの電源がオンにならない (USB 連動スイッチ)
原因	SCSI 接続で使用している
対処方法	SCSI は、連動スイッチに対応していません。連動スイッチを使用するときは USB 接続でお使いください。
原因	ユーザーモードで USB 連動スイッチが [OFF] になっている
対処方法	ユーザーモードで USB 連動スイッチを [ON] にします。

スキャナーが認識されない (USB 接続の場合)

USB 接続でスキャナーが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナーと PC がケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナーの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	お使いの USB インターフェースにスキャナーが対応していない
対処方法	本製品は、すべての USB インターフェースでの動作を保証していません。詳細については、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。
原因	USB ケーブルがスキャナーが対応していない
対処方法	同梱の USB ケーブルをお使いください。
原因	USB ハブを使用している
対処方法	USB ハブを取り外してお使いください。

スキャナーが認識されない (SCSI 接続の場合)

SCSI 接続でスキャナーが認識されないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナーと PC がケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナーの電源がオンになっているか？
- ✓ お使いの SCSI カードが正常に動作しているか？
- ✓ PC の電源をオンにしてからスキャナーの電源をオンにしているか。

重要

SCSI の場合、スキャナーの電源を後からオンにすると PC が正常に認識できない場合があります。

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	お使いの SCSI インターフェースにスキャナーが対応していない
対処方法	推奨の SCSI カードをお使いください。(→ P.7)

原因	SCSI ID の重複
対処方法	ディジーチェーン接続で使用している他の SCSI 機器と SCSI ID が重複しないように設定してください。

原因	SCSI ターミネータの設定ミス
対処方法	本機と PC の間に SCSI 機器を接続する場合、ターミネータは必ずオフに設定してください。

原因	ディジーチェーン接続による不具合
対処方法	ディジーチェーン接続を中止してお使いください。

スキャナーの電源が勝手にオフになる

本機の自動電源オフ機能が有効になっていると、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過したときに自動的に電源がオフになります。ユーザーモードの自動電源オフ機能の設定を確認してください。(→ P.70)

スキャンできない

読み取りの操作を行ってもスキャンできないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ スキャナーと PC がケーブルで正しく接続されているか？
- ✓ スキャナーの電源がオンになっているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	ISIS/TWAIN ドライバーとジョブ登録ツールが正常にインストールされていない
----	---

対処方法	ISIS/TWAIN ドライバーとジョブ登録ツールをアンインストールして、インストールを最初からやり直してください。
------	--

重要

- システムエラーなどによりスキャナーがまったく動作しなくなったときは、スキャナーの電源をオフにし、10 秒以上待ってからスキャナーの電源をオンにしてください。その後、エラーが続けて発生するようときは、スキャナーとコンピューターを再起動してください。
- コンピューターのメモリ容量を多く使用する設定でスキャンした場合、1 回目のスキャンでは正常にスキャンできますが、同じ設定でもう一度スキャンするとメモリ不足エラーとなってスキャンできないことがあります。この場合は、使用するアプリケーションを再起動し、設定を変更してから再度スキャンしてください。

スキャン速度が遅い

スキャン速度が遅いときは最初に次のことを確認してください。USB インターフェースが Hi-Speed USB2.0 の速度を得られていない環境では、スキャン速度が低下します。

- ✓ USB インターフェースに USB Full-Speed (USB1.1 相当) を使用していないか？
- ✓ USB ケーブルは同梱品 (Hi-Speed USB2.0 に対応) を使用しているか？
- ✓ USB ハブで USB1.1 相当のデバイスを同時に使用していないか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	他のアプリケーションが起動している
対処方法	起動中のアプリケーションを終了させてください。
原因	ウィルス対策アプリケーションなど常駐しているアプリケーションによりメモリが不足している
対処方法	常駐しているアプリケーションを終了させてください。
原因	ハードディスクの空き容量が少ないため、TEMP フォルダーに一時ファイルを作成できない
対処方法	ハードディスクのファイルを整理して空き容量を増やしてください。

正しく給紙されない

原稿が正しく給紙されないときは、最初に次のことを確認してください。

- ✓ 静電気などで原稿が密着していないか？
- ✓ スキャナーが対応していないサイズや紙厚、紙質の原稿を使用していないか？「[原稿について](#)」(→ P.30)
- ✓ 給紙ローラーが汚れていないか？
- ✓ 給紙ローラーが磨耗していないか？

❗ 重要

- 原稿が密着していると重送の原因になったり、紙厚や紙質によっては紙詰まりの原因になります。原稿をセットする前には、原稿をよく確認してからセットしてください。
- ローラーは消耗品です。ローラーを清掃しても改善が見られないときは、お買い求めの販売店または担当サービスに連絡し、「交換ローラーキット」をお買い求めになり給紙ローラー(ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー)の交換を行ってください。「[給紙ローラーの交換](#)」(→ P.88)

その他、以下のような現象と原因が考えられます。

現象	原稿を搬送しない
原因	連続手差しモードになっている
対処方法	ユーザーモードで連続手差しモードを [OFF] にします。 「 連続手差しモードの設定 」(→ P.40)

保存した画像ファイルが開けない

CapturePerfect 3.1 で保存した画像ファイルが他のアプリケーションで開けないときは最初に次のことを確認してください。

- ✓ 開こうとしたアプリケーションが CapturePerfect 3.1 で保存した画像ファイル (*.bmp, *.tif, *.jpg, *.pdf) に対応しているか？

その他、以下のような原因が考えられます。

原因	マルチページ TIFF ファイルに対応していない
対処方法	マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションで開いてください。または、CapturePerfect 3.1 で保存する TIFF ファイルをシングルページ TIFF ファイルで保存してください。
原因	CapturePerfect 3.1 で設定する圧縮形式に対応していない
対処方法	CapturePerfect 3.1 で画像ファイルを開き、圧縮形式を [なし] にして保存し直してください。

スキャン結果がおかしい

スキャンした画像がおかしかったりするときは、ISIS/TWAIN ドライバーの設定が適切でない場合が多くあり、また、お使いのアプリケーションによっては、本機の機能に対応していないためにスキャンした画像がおかしくなる場合があります。

現象	スキャンした画像が濃い（または薄い）
原因	明るさの設定が適正な値になっていない。
対処方法	画像が濃いときは明るさの設定値を高く、画像が薄いときには明るさの設定値を低く調整してください。
現象	原稿の裏面の文字が写り込む
原因	明るさの設定値が低い。
対処方法	明るさの設定値を高くします。または、「裏写り / 地色除去」の設定を有効にします。
原因	紙厚が薄い
対処方法	複写機で原稿をコピーしてからスキャンします。
現象	両面スキャンができない
原因	読み取り面の設定が「片面」になっている
対処方法	読み取り面を「両面」にてスキャンします。 読み取り面の設定を「白紙スキップ」にすると、白紙の面の画像が保存されません。
現象	スキャンした画像の周りに黒い枠ができる
原因	指定したサイズより小さい原稿をスキャンした。または、セットした原稿の位置がズれている。
対処方法	以下の対処方法から選択します。 (1) 用紙サイズの設定を「自動検知」にする (2) 背景色の設定を「白」にする (3) 背景色の設定が「黒」の場合、「黒枠消し」を有効にする
現象	スキャンした画像がななめになる（斜行）
原因	原稿ガイドの位置が原稿より広がっています。
対処方法	原稿ガイドの位置を原稿の幅に合わせます。
現象	画像にスジや汚れが入る
原因	読み取りガラスやローラーが汚れています
対処方法	読み取りガラスおよびローラを清掃してください。「日常のお手入れ」(→ P.74) 読み取りガラスにキズが付いている場合にも画像にスジが入る原因になります。このようなときは、お買い求めの販売店に連絡してください。

現象	原稿によって画像が異常になる
原因	黒枠消しなどの検知機能を有効にしてスキャンした原稿の中に、原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれている（原稿の端を正常に処理できない）
対処方法	原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれているときは、検知機能をオフにしてスキャンするか、原稿を分けてスキャンしてください。
現象	アプリケーションによって画像が異常になる
原因	アプリケーションが対応していない機能を使用した
対処方法	自動サイズ検知などの設定は、アプリケーションが対応していない場合があり、このような機能を使用してスキャンした場合、スキャン結果が異常になることがあります。 アプリケーションによって画像が異常になるときは、検知機能をオフにしてスキャンしてください。

ソフトウェアのアンインストール

スキャナーが正常に動作しないようなときは、ソフトウェアを再インストールすることにより解決することがあります。ソフトウェアを再インストールするときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてから再インストールを行ってください。

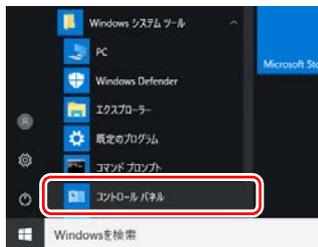
ISIS/TWAIN ドライバーのアンインストール

本項では ISIS/TWAIN ドライバーの手順を例に説明します。ジョブ登録ツール、CapturePerfect 3.1 についても同様の手順で行います。それぞれの手順に置き換えてお読みください。

重要

ソフトウェアをアンインストールするときは、必ず Administrator 権限のアカウントで Windows にログインしてください。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[Windows システム ツール] - [コントロールパネル] をクリックします。

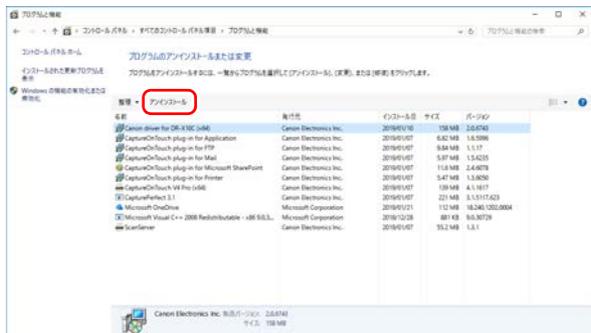


コントロールパネルが表示されます。

- 2 [プログラムのアンインストール] をクリックします。



3 プログラムの一覧から削除するアプリケーションを選択し、[アンインストール] をクリックします。



ファイル削除の確認画面が表示されます。



4 「はい」 ボタンをクリックしてアンインストールを実行します。

仕様

本体仕様

形式	卓上型シートスルースキャナー		
読み取り原稿サイズ			
幅	50.8 - 305 mm		
長さ	70 - 432 mm		
厚さ	52 - 128g/m ² (0.06mm - 0.15mm)		
	(連続給紙)		
	42 - 255g/m ² (0.05mm - 0.3mm)		
	(手差し給紙)		
給紙方法	連続給紙 / 手差し給紙 / 連続手差し給紙		
最大積載枚数	上質紙約 500 枚以下 (80g/m ² 紙)		
	積載高さ 48mm まで		
読み取りセンサ	コンタクトイメージセンサ		
光源	LED		
読み取り面	片面 / 両面		
読み取りモード	白黒、誤差拡散、アドバンスドテキストエンハンスメント、アドバンスドテキストエンハンスメント II、256 階調グレー、24 ビットカラー		
読み取り解像度	100dpi /150dpi /200dpi /240dpi /300dpi /400dpi /600dpi		
読み取り速度 (A4 縦送り)	片面	両面	
白黒	200dpi	100 枚 / 分	200 面 / 分
	300dpi	100 枚 / 分	200 面 / 分
	400dpi (速度優先)	82 枚 / 分	82 面 / 分
	600dpi (速度優先)	82 枚 / 分	82 面 / 分
	600dpi (画質優先)	25 枚 / 分	50 面 / 分
グレー	200dpi	100 枚 / 分	200 面 / 分
	300dpi	100 枚 / 分	200 面 / 分
	400dpi (速度優先)	84 枚 / 分	84 面 / 分
	600dpi (速度優先)	82 枚 / 分	82 面 / 分
	600dpi (画質優先)	25 枚 / 分	50 面 / 分
カラー	200dpi	100 枚 / 分	200 面 / 分
	300dpi	100 枚 / 分	170 面 / 分
	400dpi (速度優先)	76 枚 / 分	76 面 / 分
	600dpi (速度優先)	46 枚 / 分	46 面 / 分
	600dpi (画質優先)	25 枚 / 分	18 面 / 分

読み取り速度 (A4 横送り)	片面	両面
白黒	200dpi	130 枚 / 分
	300dpi	130 枚 / 分
	400dpi (速度優先)	82 枚 / 分
	600dpi (速度優先)	80 枚 / 分
	600dpi (画質優先)	32 枚 / 分
グレー	200dpi	130 枚 / 分
	300dpi	130 枚 / 分
	400dpi (速度優先)	84 枚 / 分
	600dpi (速度優先)	82 枚 / 分
	600dpi (画質優先)	32 枚 / 分
カラー	200dpi	130 枚 / 分
	300dpi	130 枚 / 分
	400dpi (速度優先)	76 枚 / 分
	600dpi (速度優先)	46 枚 / 分
	600dpi (画質優先)	32 枚 / 分
その他	重送検知機能、斜行補正、背景色指定、ゴミ対策	
	USB 運動スイッチ、ユーザーモード、長尺モード、半折りスキャン	
外形寸法	528 (W) × 563 (D) × 375 (H) mm	
最大外形寸法 (給紙トレイ、排紙トレイを開いた状態)	528 (W) × 861 (D) × 432 (H) mm	
質量	約 39kg	
電源	AC100V 50/60Hz 125W	
消費電力	動作時 (最大) : 125 W	
	スリープモード時 : 4.2 W	
騒音	72 dB 以下	
使用環境	温度 : 10 °C -32.5 °C	
	湿度 : 20%-80%RH	

* インプリンターを使用している場合の使用環境は、インクカートリッジの使用環境に準ずる

* 製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

別売品

ブレインプリンターユニット (商品コード: 2418B003)
スキャン前の原稿に任意の文字列を印字するためのインプリンターユニットです。【インプリンター (オプション)】 (→ P.66)

ポストインプリンターユニット (商品コード: 2418B004)
スキャンした後の原稿に任意の文字列を印字するためのインプリンターユニットです。【インプリンター (オプション)】 (→ P.66)

パッチコードデコーダ (商品コード: 2418B005)
原稿内にあるパッチコードを検知するためのユニットです。
【パッチ区切り】 (→ P.50)

薄紙対応キット (DR-X10C 用) (商品コード: 2418B012)
通常より薄い紙の原稿をスキャンするためのユニットです。
【薄紙対応キット (DR-X10C 用) 仕様】 (→ P.112)

バーコードモジュール (商品コード: 1922B001)
二次元コードモジュール (商品コード: 1922B003)
原稿上に印刷されたバーコードをスキャン時に認識するための追加モジュールです。

フラットベッドスキャナーユニット 102 (商品コード: 2152Cxxx)
DR スキャナーに取り付けて使用するフラットベッドスキャナーユニットです。本機に取り付けることで、ADF 付きフラットベッドスキャナーとして本機を活用できます。

フラットベッドスキャナーユニット 201 (商品コード: 6240Bxxx)
DR スキャナーに取り付けて使用する A3 サイズ対応のフラットベッドスキャナーユニットです。本機に取り付けることで、ADF 付きフラットベッドスキャナーとして本機を活用できます。

消耗品

交換ローラーキット (商品コード: 2418B001)
給紙ローラー (ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー) の交換用キットです。【給紙ローラーの交換】 (→ P.88)

！ 重要

- 給紙ローラーは消耗品です。ローラーが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは搬送枚数に関わらず、ローラーの交換を行ってください。
- 交換ローラーキットについての詳細については、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。
- オプションの薄紙対応キット (DR-X10C 用) をインストール後に給紙ローラーを交換する場合は、専用の薄紙対応キット用交換ローラー (商品コード: 2418B013) をお使いいただく必要があります。
給紙ローラーを交換する際は、事前にお使いのオプションをご確認ください。

クリーニングシート (商品コード: 2418B002)
搬送ローラーを清掃するためのクリーニングシートです。
【クリーニングシートによるローラーの清掃】 (→ P.77)

インクカートリッジ
ブレインプリンター、ポストインプリンターで使用するインクカートリッジです。

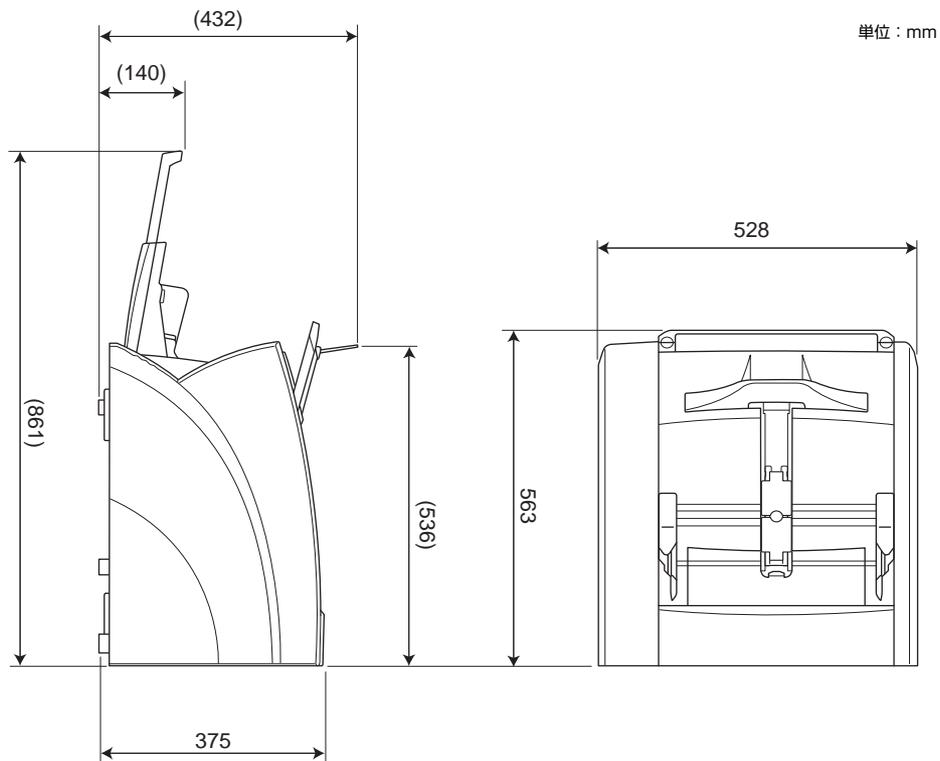
【インクカートリッジの交換】 (→ P.91)

インクカートリッジ: 青 (商品コード: 3693A002)

インクカートリッジ: 赤 (商品コード: 3693A003)

インクカートリッジ: 緑 (商品コード: 3693A004)

外形寸法図



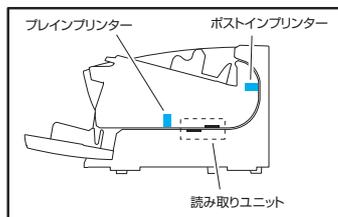
オプション仕様

本項では、「別売品」(→ P.110) のインプリンターの仕様について説明します。パッチコードデコーダで検知するパッチコードの仕様については「パッチ区切り」(→ P.50) を参照してください。

インプリンター仕様

印字タイミング

ブレインプリンター：スキャン前
ポストインプリンター：スキャン後



印字面
印字位置

おもて面
ISIS/TWAIN ドライバーで設定
ブレインプリンター：6 箇所
ポストインプリンター：17 箇所

印字内容
印字フォント

ISIS/TWAIN ドライバーで設定
12x12 ドット、12x8 ドット

文字間設定

あり (ISIS/TWAIN ドライバーで設定)

印字桁数

最大 32 文字

印字紙

撥水処理をしていない普通紙

インクカートリッジ

HP 社製インクカートリッジ
色：青、赤、緑 (→ P.90)

画像密度

12 ノズル / スラント 1 列 (96dpi)

インク

水系インク

動作環境

インクカートリッジの使用環境に準ずる

薄紙対応キット (DR-X10C 用) 仕様

読み取り原稿

厚さ：27 - 128 g/m² (0.03mm - 0.15mm)
(薄紙対応キット (DR-X10C 用) を使用しない場合：
52 - 128 g/m² (0.06mm - 0.15mm))

読み取り速度

薄紙モード [ON] 時には通常より速度が低下する可能性があります。

* 薄紙対応キット (DR-X10C 用) をインストール時に薄紙モード [OFF] (→ P.72) でスキャンを行うと、給紙性能が十分発揮されない可能性があります。

保証とアフターサービス

保証とアフターサービス

■ 保証登録について

保証登録サイト (<http://canon.jp/biz-regists>) にて保証登録ができます。保証登録をしていただくと、以下のようなサービス（情報）をお受け取りになることができます。

– お買い上げ日から 1 年間の無償保証および「保証書」電子発行（ウェブサイト上での閲覧および印刷）

* 消耗品（フィードローラー、リタードローラー、分離パッドなど）については、保証期間内であっても保証の対象とはなりません。

– 登録機器の「機器情報」の確認、および保証期間の確認

– キヤノンサービスパック（キヤノン製品パッケージ型保守サービス。以下、CSP）をご購入のお客さまの「お客さま登録」および更新

ご使用中の機器情報を一覧で閲覧できるほか、登録機器の保証期間の有無をご確認いただくことができます。また、お客さまがご使用中の製品、その他キヤノンからの最新情報をご提供いたします。

保証登録の際は、本製品に付属されている「保証登録のお願い」の内容を併せてご確認ください。

※ 保証登録のお願いページ URL
<<http://canon.jp/biz-regists>>

■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または お客さま相談センターへご相談ください。

■ 修理を依頼される前に

『ユーザーマニュアル（機能詳細編）』（同梱のセットアップディスクに収録）の「トラブルシューティング」にそって故障かどうか確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■ 補修用性能部品について

保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 5 年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

サービス&サポートのご案内

■ お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター  **050-555-90072**
全国共通電話番号

受付時間：＜平日＞9:00～17:00

（土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。）

※ 携帯電話・PHSをご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部のPHSからはご利用いただけませんのでご了承願います。

※ 上記番号におかけになってもつながらない場合は、NTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、043-211-9156におかけくださいますようお願いいたします。

※ お客様相談センターの詳細につきましてはキャノンホームページ (<http://cweb.canon.jp/e-support/rc/>) をご参照ください。

■ 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキャノン製品取扱店およびキャノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

■ キャノンホームページ <http://canon.jp/>

※ <http://canon.jp/support> では、製品情報、最新ドライバーのダウンロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。

※ ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ 通信料はお客様のご負担になります。

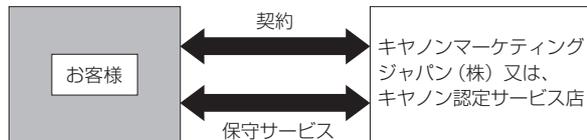
保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナーをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナーの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キャノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキャノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キャノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キャノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キャノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

キャノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）



■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起ってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキャノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

※ 天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。

※ 消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

購入時契約のおすすめ

ご愛用品を安心してお使いいただく為に、保守契約に加入をお勧めいたします。また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。

キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いします。

ISIS/TWAIN ドライバーの設定

スキャナードライバーの設定

ドライバーを最初にロードした際、選択したスキャナーと用紙の初期値選択ダイアログが表示されます。

ヒント

- ISIS ドライバーの設定ダイアログボックスで [初期値] をクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。
- TWAIN ドライバーの場合、初期値は「A4」に設定され、変更することはありません。

CaptureOnTouch などのアプリケーションで原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーを開いてスキャン条件などを設定します。
ここでは、スキャナードライバーの構成と機能について説明します。

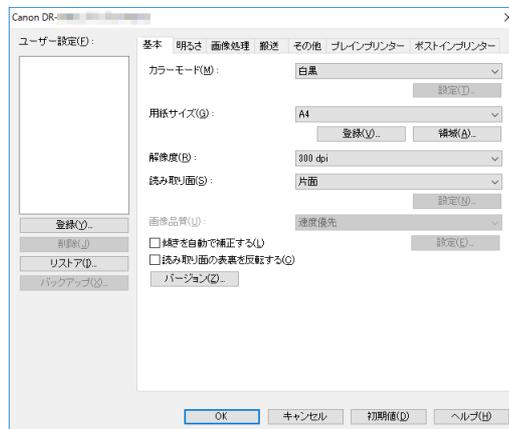
スキャナードライバーの構成と機能

スキャナードライバーは次のタブで構成されています。

ヒント

設定画面についての詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。ドライバーの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのタブやダイアログボックスに関するヘルプが表示されます。

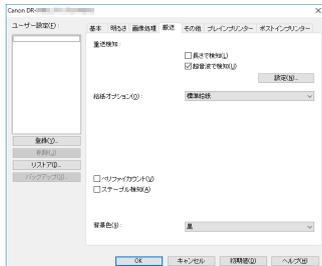
[基本] タブ



モードや用紙サイズ、解像度、読み取り面などの基本的なスキャン条件を設定します。

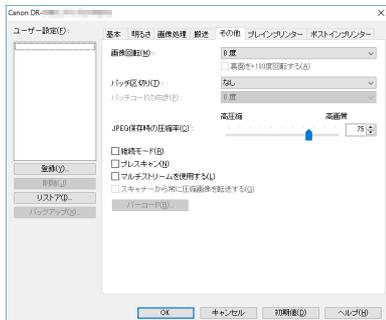
[用紙サイズ] の [登録] ボタンをクリックして、カスタム用紙サイズの登録、[領域] ボタンをクリックして、スキャンする領域の設定を行うこともできます。

【搬送】 タブ



原稿の給紙に関するスキャナーの動作を指定します。

【その他】 タブ



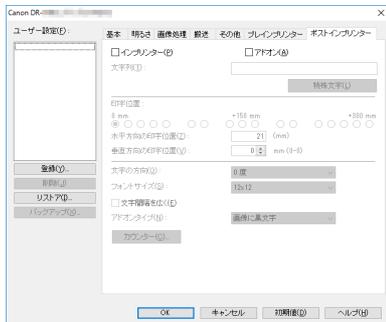
特殊なスキャン方法や画像処理に関する設定をします。

【プレインプリンター】 タブ



【プレインプリンター】 タブはオプションのプレインプリンターユニットを装着しているときに表示されるタブで、スキャンする前の原稿に任意の文字列やカウンターを印字するための設定を行います。

[ポストインプリンター] タブ



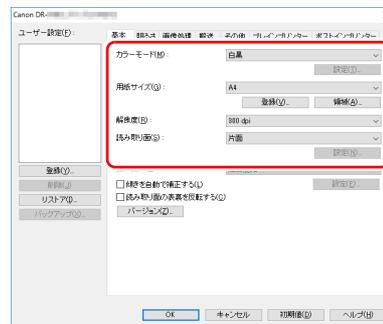
[ポストインプリンター] タブはスキャンした原稿および画像に任意の文字列やカウンターを印字 / アドオンするための設定を行い、[インプリンター] チェックボックスは、オプションのポストインプリンターユニットを装着しているときに有効になります。

基本的なスキャン条件の設定

読み取りの設定を行う際に最低限必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

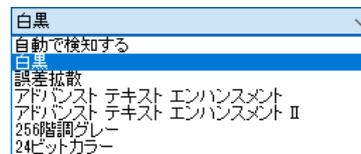
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「カラーモード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



カラーモード

スキャンするモードを選択します。



- [アドバンスドテキストエンハンスメント] および [アドバンスドテキストエンハンスメント II] は、文字の周りや地色の背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。[アドバンスドテキストエンハンスメント II] を選択したときは、[明るさ] タブでコントラストを調整することで、スキャンした画像の文字が読みやすくなるように調整できます。
- [自動で検知する] は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。[設定] をクリックすると、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

用紙サイズ

スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。

A4	▼
原稿のサイズに合わせる	
A3	
A4	
A4R	
A5	
A5R	
A6	
A6R	
B4	
B5	
B5R	
B6	
B6R	
DOUBLE LETTER	
LEGAL	
LETTER	
LETTERS	
最大サイズ	

[原稿のサイズに合わせる] を選択すると、原稿の端を検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

解像度

スキャンする解像度を選択します。

300 dpi	▼
100 dpi	
150 dpi	
200 dpi	
240 dpi	
300 dpi	
400 dpi	
600 dpi	

解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。

片面	▼
白紙をスキップする	
片面	
両面	
半折り	

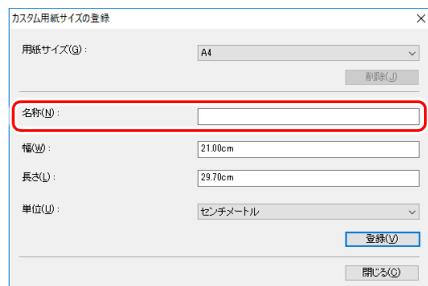
読み取り面を [白紙をスキップする] にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズに登録されていない非定形サイズの用紙を、カスタム用紙サイズとして名前を付けて登録することができます。

[基本] タブで [用紙サイズ] の [登録] ボタンをクリックし、[カスタム用紙サイズの登録] ダイアログボックスを表示します。

非定形サイズの用紙を登録してください。



カスタム用紙サイズの登録

用紙サイズ(S): A4

名前(N):

幅(W): 21.00cm

長さ(L): 29.70cm

単位(U): センチメートル

登録(Y)

閉じる(C)

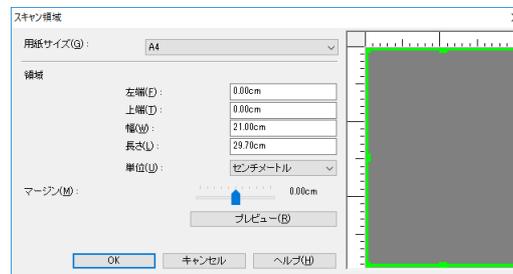
スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[基本] タブで [用紙サイズ] の [領域] ボタンをクリックし、[スキャン領域] ダイアログボックスを表示します。

領域を指定してください。



スキャン領域

用紙サイズ(S): A4

領域

左端(D): 0.00cm

上端(T): 0.00cm

幅(W): 21.00cm

長さ(L): 29.70cm

単位(U): センチメートル

マージン(M): 0.00cm

プレビュー(B)

OK キャンセル ヘルプ(H)

こんなときは

読み取りの設定を行う際の、目的に合わせて設定する項目と概略について説明します。設定の詳細については「[\[ISIS/TWAIN ドライバーの設定\] \(→ P.116\)](#)」を参照してください。

用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

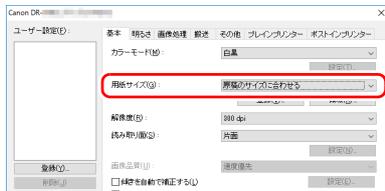
432mm より長い原稿の読み取り（長尺モード）

432mm より長い原稿を読み取るときは、本機の設定を長尺モードに設定し、用紙サイズの設定を「自動検知」に設定することにより 3,000mm まで長さの原稿を読み取ることができます。

- 1 ユーザーモードで本機の「長尺モード」の設定を [ON1] または [ON2] にします。「[長尺モードの設定](#)」(→ P.31)

チ ョ ウ シ ャ ク モ ー ド
O N 2 [O N 1] O F F

- 2 読み取りサイズを「原稿のサイズに合わせる」にして読み取ります。

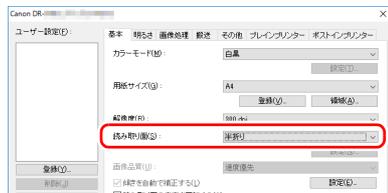
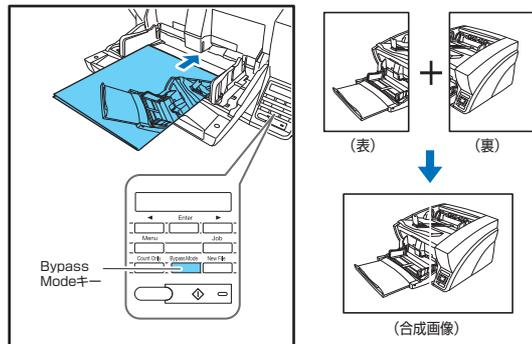


重要

- 長い原稿をスキャンするときは、原稿を 1 枚ずつセットしてスキャンしてください。
- 長尺モードを [ON1] に設定してスキャンする場合、読み取りモードをカラー、画像品質を「画質優先」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、白黒にしたり、画像品質を低くしてスキャンしてください。
- 長尺モードを [ON2] に設定してスキャンする場合、400/600dpi でスキャンしたり、読み取りモードをカラー、読み取り面を「両面」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、解像度を低くしたり、白黒にしたり、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。
- モード、解像度の設定によっては画像が欠けることがあります。このような時は、解像度を低くしたり、カラーモードのときは白黒モードにしてスキャンしてください。

給紙口より幅の広い原稿の読み取り（半折りスキャン）

給紙口より幅の広い原稿を読み取る時は、原稿を2つ折りにして給紙トレイにセットし、読み取り面の設定を「半折り」に設定することにより給紙口より幅の広い原稿を読み取ることができます。（→ P.65）

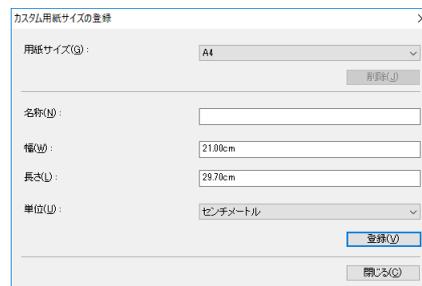


ヒント

半折りスキャンでは、長尺モードとの組み合わせにより最大でA1サイズの原稿をスキャンすることができます。

用紙サイズに登録されていない非定形サイズの登録

用紙サイズに登録されていない非定形サイズの原稿は、基本タブの「登録」ボタンから開く「カスタム用紙サイズの登録」ダイアログボックスで、用紙サイズに登録されていない非定形サイズの用紙をカスタム用紙サイズとして名前を付けて登録することができます。

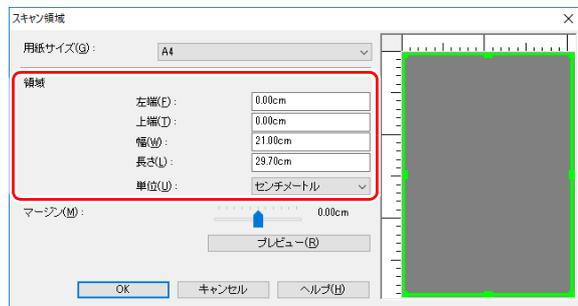


スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

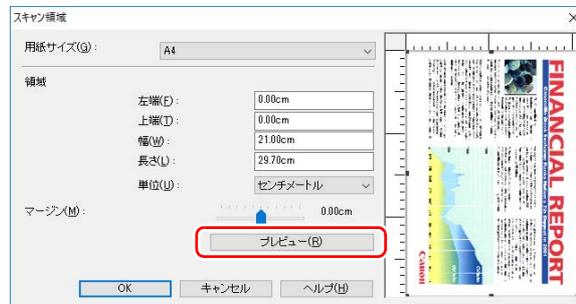
領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、スキャン領域ダイアログボックスで領域を指定します。



ヒント

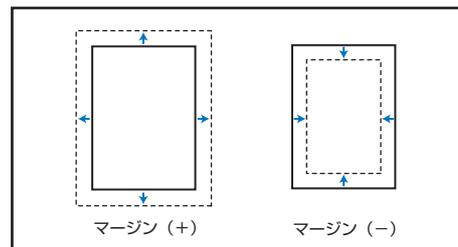
- TWAIN ドライバーでは、領域を指定する原稿をセットして [プレビュー] ボタンを押すと原稿をスキャンして領域ウィンドウにプレビュー画像を表示します。表示されたプレビュー画像から領域を指定することができます。



- CapturePerfect 3.1 では、最後にスキャンした画像がプレビューウィンドウに表示されます。領域を設定する原稿を「スキャン 1 ページ」でスキャンすると、プレビューウィンドウに画像を表示させることができます。

マージン調整

原稿がずれて画像が欠けたり、画像の周りに黒い枠ができるとき（背景色が黒の場合）はマージンでスキャンする領域を調整します。

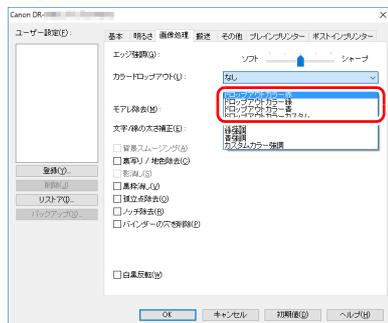


目的に合わせたスキャナー設定

スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

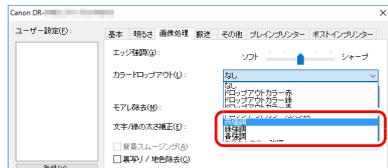
色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい。

画像処理タブにあるカラードロップアウトの設定でドロップアウトさせる色(赤、青、緑)を指定すると、指定した色がスキャンされません。



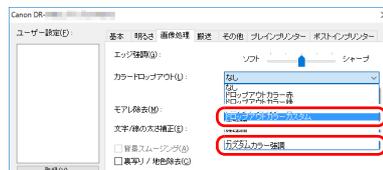
特定の色を強調させたい。

画像処理タブにあるカラードロップアウトの設定で強調させる色(赤、青、緑)を指定すると、指定した色が強調されます。

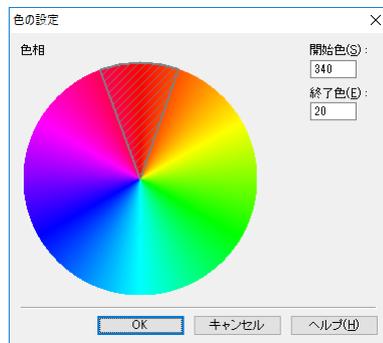


中間色を読み飛ばし、または強調させたい。

画像処理タブにあるカラードロップアウトの設定でカスタムカラーを指定します。

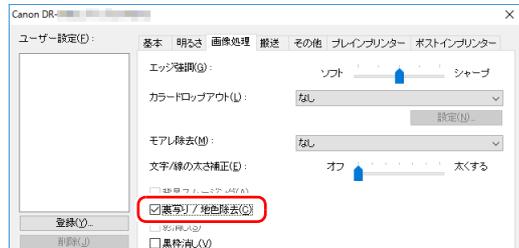


「色の設定」ダイアログボックスが表示され、色の範囲を指定して中間色をドロップアウト、または強調することができます。



薄紙の裏面の文字などの写り込み（裏写り）や原稿の地色を除去したい。

画像処理タブで【裏写り / 地色除去】をチェックします。薄紙での裏写りや地色が除去されます。



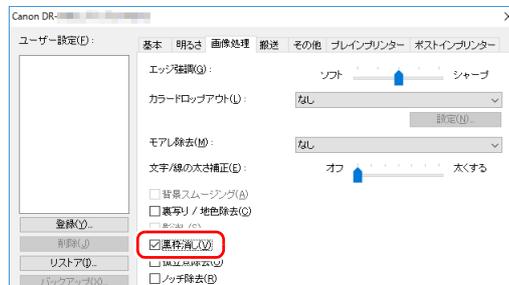
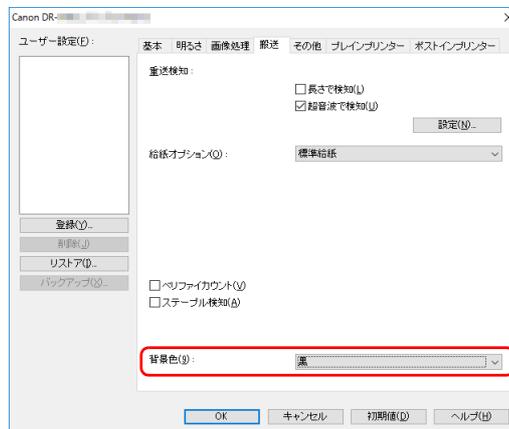
画像の輪郭をはっきりさせたい。

画像処理タブでエッジ強調の設定を調整します。



原稿の回りにできる黒い枠を除去したい。（背景色の設定が黒のとき）

搬送タブの背景色の設定が黒のとき、画像処理タブで【黒枠消し】をチェックします。背景色を【黒】にしてスキャンしたときにできる原稿の周りの黒い枠の部分が削除されます。

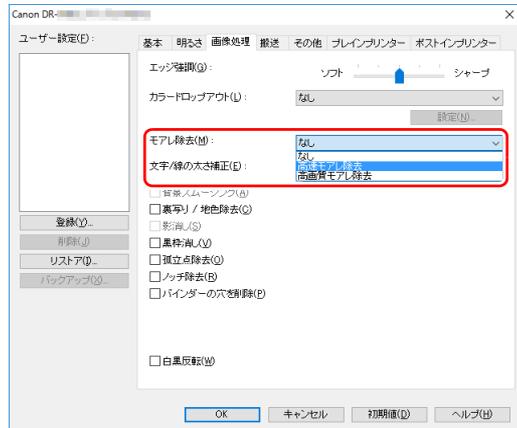


ヒント

背景色が【白】のとき【黒枠消し】は無効になります。

雑誌などのカラー写真を低解像度でスキャンしたときにできるモアレを低減したい

画像処理タブにあるモアレ除去を設定すると、カラー写真を低解像度でスキャンしたときに発生するモアレを押さえることができます。

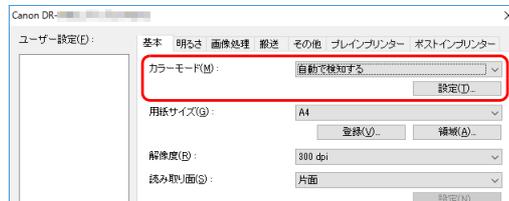


ヒント

モアレ除去は解像度が 300dpi 以下のときに有効になり、[高速モアレ除去] は解像度が 240dpi 以下のときに表示されます。

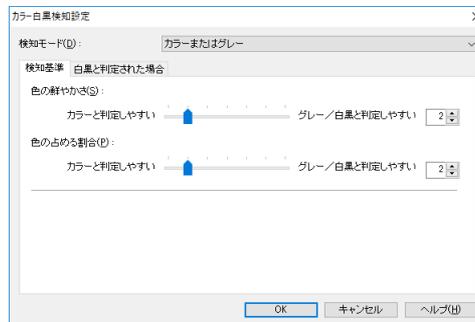
白黒原稿とカラー原稿が混在した原稿をスキャンするときに白黒画像とカラー画像に分けて保存したい。

基本タブにあるモードの設定を [自動で検知する] にしてスキャンすると、原稿の色を検知してグレー画像とカラー画像、または、白黒画像とカラー画像に分けて保存されます。



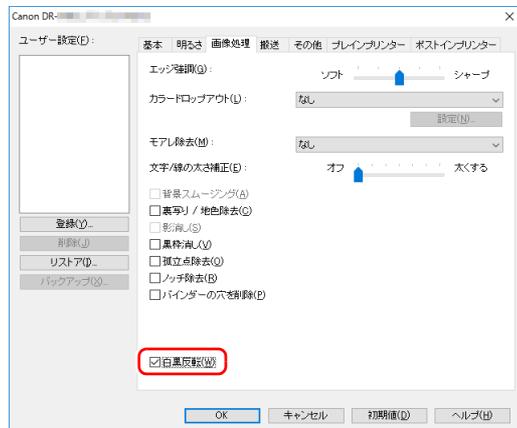
ヒント

自動で検知するを選択すると [設定] ボタンが有効になり、検知モードとカラー原稿を判断するための設定、白黒と判断した時のモードを選択します。



スキャンした画像を白黒反転させたい。

画像処理タブにある「白黒反転」をチェックします。スキャンした画像を白黒反転して出力します。



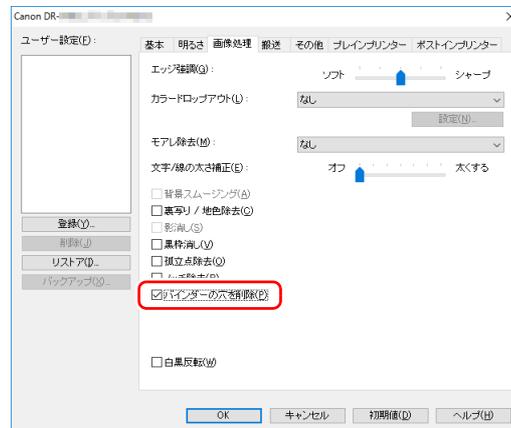
背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい。

基本タブにあるモードの設定で「アドバンスドテキストエンハンスメント」を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。



バインダに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分を削除したい。(背景色の設定が黒のとき)

搬送タブの背景色の設定が黒のとき、画像処理タブで「バインダの穴を削除」をチェックします。原稿の穴の開いた黒い部分が削除されます。

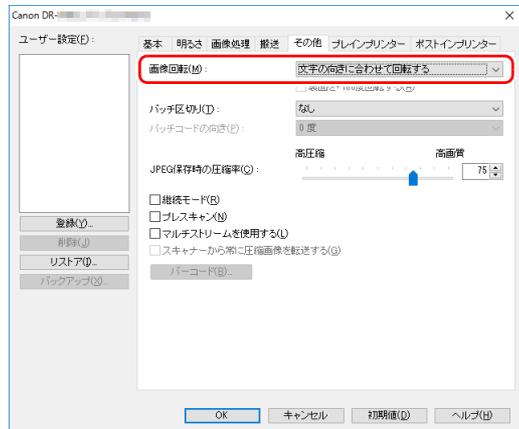


💡 ヒント

背景色が「白」のとき「バインダの穴を削除」は無効になります。背景色が「白」にして穴の開いた原稿をスキャンしたときは、穴の部分のエッジが画像に残る場合があります。

文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい。

その他タブにある画像回転から [文字の向きに合わせて回転する] を選択します。

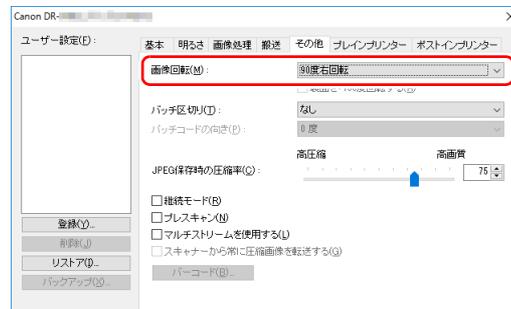


原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるようにスキャンした
が画像を 90 度単位で回転させます。

文字の向き	↑ ABC	↑ ABC	↑ ABC	↑ ABC
出力画像	ABC	ABC	ABC	ABC

横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい。

その他タブにある [画像回転] で回転させる角度を指定します。



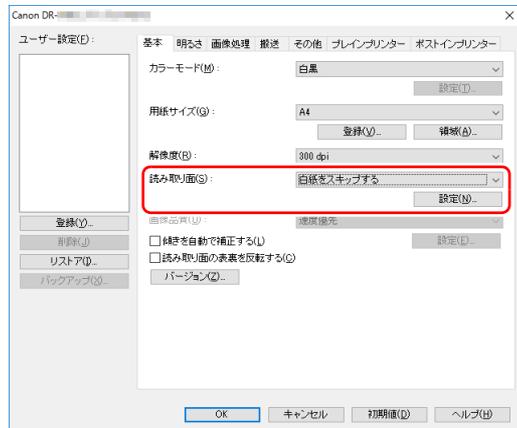
ヒント

セットした原稿の向きと指定した角度によって画像が以下のように回転します。

原稿の向き	↑ ABC	↑ ABC	↑ ABC	↑ ABC
画像回転	0度	90度	180度	270度
出力画像	ABC	ABC	ABC	ABC

両面原稿の間にある白紙ページの画像を削除したい。

基本タブにある読み取り面の設定を「白紙をスキップする」にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。



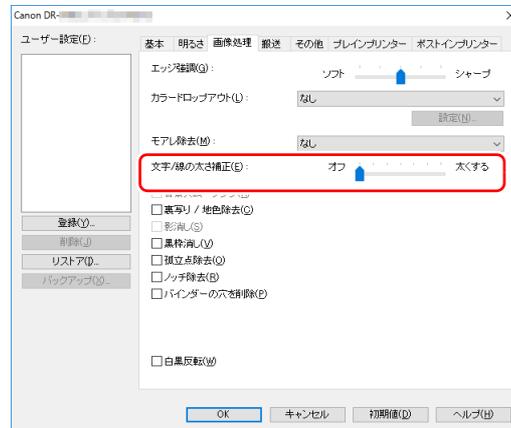
ヒント

白紙スキップを選択すると「設定」ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルが調整できます。



スキャン画像の線や文字を太くしたい

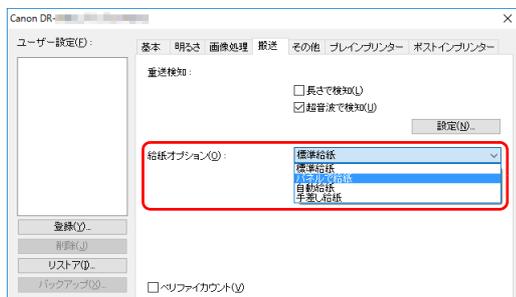
【画像処理】タブの【文字 / 線の太さ補正】にあるスライダーをドラッグして、スキャン画像の線や文字を太くすることができます。



バッチ区切りでスキャンしたい

原稿を複数の束に分けてスキャンするときに、続きの原稿をセットしてスキャンするタイミングでバッチを区切ることができます。(バッチ区切りに対応したアプリケーションソフトでのみ有効です。)この場合はスキャナードライバーを次のように設定します。

- [搬送] タブの [給紙オプション] を [パネルで給紙] または [自動給紙] に設定します。



- [その他] タブの [バッチ区切り] を [自動] に設定します。



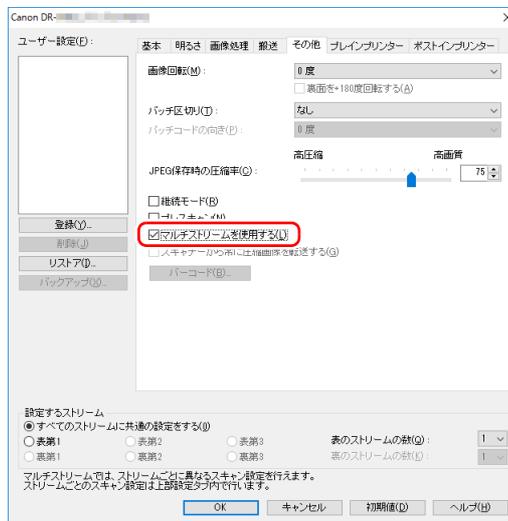
[バッチ区切り] を [自動] に設定したときは、続きの原稿をセットしてスキャンを継続したときにバッチが区切られます。

白紙やバッチコードシートを検知してバッチ区切りを行うこともできます。

[バッチ区切り] (→ P.50)

マルチストリーム設定でスキャンしたい

1 回のスキャン操作で複数の異なるスキャン画像を出力したり、表面と裏面ごとにスキャン条件が異なるスキャン画像を出力できます(マルチストリーム設定)。マルチストリーム設定を使用してスキャンするときは、[その他] タブの [マルチストリームを使用する] チェックボックスをオンにし、マルチストリームに関する設定項目を表示させ、次の順に設定します。



- ① 原稿の表面と裏面ごとに異なるスキャン条件を指定するときは、あらかじめ【基本】タブの【読み取り面】で【両面】を選択します。
- ② 【表のストリームの数】で、適用するスキャン条件の数を指定します。3 つまで指定できます。
- ③ 【表第 1】を選択し、他のタブを開いてスキャン条件を設定します。【表のストリームの数】で指定した数に応じて、残りの【表第 2】、【表第 3】も同様に設定します。
- ④ 裏のスキャン条件を指定するときは、手順②～③と同様に設定します。この場合、【裏のストリームの数】を指定してから、【裏第 1】～【裏第 3】のそれぞれに対してスキャン条件を設定します。

ヒント

マルチストリーム設定での設定が可能なスキャン条件は次のとおりです。

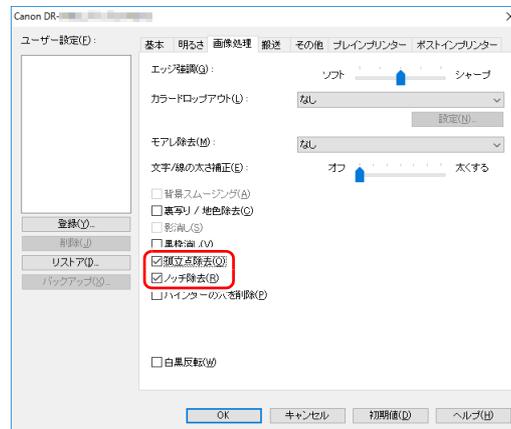
タブ	設定が可能な項目
【基本】タブ	【カラーモード】および【解像度】 (どちらも【自動で検知する】を除く)
【明るさ】タブ	【明るさ】および【コントラスト】
【画像処理】タブ	【カラードロップアウト】、【文字 / 線の太さ補正】 および【エッジ強調】
【搬送】タブ	なし (すべて無効)
【その他】タブ	なし (【マルチストリームを使用する】のみ有効)
【ブレイプリンター】タブ	なし (すべて無効)
【ポストインプリンター】タブ	なし (すべて無効)

バーコードをスキャンしたい

同梱のバーコードモジュールをインストールすると、原稿上のバーコードをスキャンできます。【その他】タブの【バーコード】ボタンをクリックして、バーコードのスキャン条件を設定できます。設定の詳細は、ヘルプを参照してください。

原稿上の孤立点や輪郭からはみ出た部分を取り除きたい

原稿上にある孤立点や、輪郭からはみ出た部分をスキャン画像から除去できます。



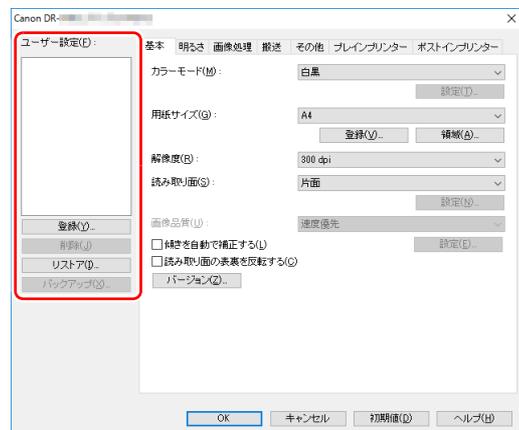
- 【孤立点除去】チェックボックスをオンにすると、白地の中で孤立した 3×3 ドットの黒い点 (または黒地の中で孤立した 3×3 ドットの白い点) を自動的に除去します。
- 【ノッチ除去】チェックボックスをオンにすると、輪郭から飛び出している部分 (ノッチ) がスキャン画像から除去されます。

設定の登録

設定したスキャン条件を登録して次回も使用することができます。

スキャナードライバーの設定を保存したい

設定が終わったときに、[ユーザー設定] の [登録] ボタンをクリックして設定内容を保存できます。



保存した設定内容は、一覧に登録されます。[削除] ボタンで一覧から削除したり、[リストア] または [バックアップ] ボタンで設定内容をファイルに保存したり読み込むことができます。

カラーモードの設定による機能制限

[基本] タブの [カラーモード] の設定に応じて、次のようにドライバーの各タブの設定項目の一部が無効になります。

[明るさ] タブ

設定値	コントラスト
自動で検知する	○
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	×
アドバンスドテキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可または自動)

[画像処理] タブ

設定値	カラー ドロップアウト	文字 / 線の 太さ補正
自動で検知する	×	○ ³⁾
白黒	○	○
誤差拡散	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメントII	○	○
256 階調グレー	○	×
24 ビットカラー	×	×

(○：設定可 ×：設定不可または自動)

【画像処理】 タブ

設定値	エッジ強調	背景スムージング	裏写り / 地色除去	孤立点除去	ノッチ除去	白黒反転
自動で検知する	○	○	○ ¹⁾	○ ²⁾	○ ³⁾	×
白黒	○	×	○	○	○	○
誤差拡散	○	×	○	×	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○	×	×	○	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント II	×	×	×	○	○	○
256 階調グレー	○	○	○	×	×	×
24 ビットカラー	○	○	○	×	×	×

(○：設定可 ×：設定不可または自動)

1) [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの設定が下記の条件のすべてに合致する場合は設定不可

- [検知モード] が [カラーまたはグレー] 以外
- [白黒と判定された場合] タブの [白黒の場合のモード] が [アドバンスドテキストエンハンスメント] または [アドバンスドテキストエンハンスメント II]

2) 以下の二つのいずれかに合致する場合は設定不可

- [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの [検知モード] が [カラーまたはグレー] の場合
- [白黒と判定された場合] タブの [白黒の場合のモード] が [誤差拡散] の場合

3) [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの [検知モード] が [カラーまたはグレー] の場合は設定不可

[その他] タブ

設定値	プレスキャン
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンステキストエンハンスメント	○
アドバンステキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可または自動)

索引

あ			
アンインストール	107		
安全にお使いいただくために	18		
い			
インクカートリッジ	90		
交換	91		
清掃	96		
インクカートリッジの交換	91		
ブレイプリンター	91		
ポストインプリンター	93		
インクヘッドの清掃	96		
インストール	7		
インプリンター	90		
カバー	90		
清掃	96		
テスト印字	97		
う			
薄紙対応キット (DR-X10C 用)	112		
え			
エラーメッセージ	99		
か			
カウンター	89		
カウントオンリーモード	61		
各部の名称と機能	25		
紙詰まり	54		
き			
キー操作の制限	65		
給紙トレイ	33		
		ホームポジション	33
		給紙方法	39
		手差し給紙	39
		連続給紙	39
		連続手差しモード	40
		給紙補助トレイ	35
		給紙ローラーの交換	88
		交換時期	88
く			
		クリーニングクロス	74
		クリーニングシート	77
		クリーニングモード	77
け			
		継続モード	24
		原稿ガイド	35
		調整	35
		原稿について	30
		現象と対処方法	103
こ			
		交換ローラーキット	88
		困ったときは	103
		コンピューターとの接続	10
し			
		自動電源オフ	29
		斜行検知機能	63
		重送検知	56
		重送検知機能	62
		重送リトライ	63

上部ユニット	76
ジョブ機能	42
す	
スキャナードライバー	116
基本的な設定	119
目的に合わせた設定	125
スキャナーの移動	19
スキャン	42
ジョブを選択してスキャン	42
CapturePerfect でスキャン	43
ステータス表示	99
ステープル検知	63
せ	
清掃	74
ガラス	75
ピックアップローラー	81
フィードローラー	81
プラテンローラー	80
本体	74
リタードローラー	85
ローラー	75
設置場所	18
そ	
操作パネル	27
その他の機能	59
ソフトウェア	7, 107
アンインストール	107
インストール	7
ち	
超音波重送検知	63
長尺モード	31

て	
ディジーチェーン接続	11
電源スイッチ	12
電源について	18
に	
日常のお手入れ	74
ガラス	75
センサー	75
本体	74
ローラー	75
日常の取り扱い	19
は	
廃棄	20
背景色	64
排紙ストッパー	38
排紙トレイ	38
排紙補助トレイ	38
はじめに	14
パッチ区切り	131
パッチコードシート	50
パッチコードパターン	52
半折りスキャン	65
ふ	
フラットベッドスキャナーユニット 102	110
フラットベッドスキャナーユニット 201	110
ブレインプリンター	66
へ	
ベリファイカウント	61
ベリフェイスキャン	61
ほ	
ポストインプリンター	66

ま	
マニュアルの構成	14
マルチストリーム設定	131
め	
メッセージ	99
ゆ	
ユーザーモード	67
操作手順	67
ユーザーモードの機能	69
ろ	
ロックレバー	93
C	
CaptureOnTouch	49
CapturePerfect 3.1	43
S	
SCSI コネクタ	10
SCSI 接続	11
U	
USB コネクタ	10
USB 接続	10
USB 連動スイッチ	28

Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER

PUB. 6T3-0050-J1.00

© CANON ELECTRONICS INC. 2007